滿洲日報
十一月廿一日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

愈々けふ開く理事會

日支代表演説後休會し 次の公開會議迄私的交渉

【ジュネーヴ二十日發】理事會議長デ、ヴァレラ、聯盟事務局長ドラモンド兩氏は今朝打合せの結果

一、**理事會は二十一日午前十一時**（滿洲時間午後六時）**開會**

一、先づ非公開會議を開き議事手續を協議す

一、公開會議は**劈頭滿洲問題を扱ひ松岡全權の演説を以て開始す**

と決した、松岡全權に次いで支那代表も演説すべきも顧維鈞事故にて顔惠慶代らん

【ジュネーヴ二十日發】二十一日の理事會は公開會議で **日支代表の演説聽取後暫く公開會議を休む段取**になる筈だが次回の公開會議迄の期間における私的交渉こそ最も重大でわが代表部では萬善の用意を整へて居る

滿洲問題の解決困難

報告書の一部を條件附で採擇か 理事會大國側の觀測

【ジュネーヴ二十日發】理事會は開會を前に暗雲に閉ざされて居り、大國筋の態度では**理事會の手で紛糾せる滿洲問題は解決困難**と觀測されてゐる、日本が滿洲の自治、滿洲からの歩兵撤收に反對し滿洲國獨立承認を固守せば、**結局リットン報告書を全部拒否**することゝなると見らる、さればとつて聯盟側は支那の領土保全を國際義務において維持する途は日本を除外しては不可能と認め、又**極東の平和維持はリットン報告書よりも日本の提示する方法が有効**なることを承認してゐる、斯くてヂレンマに陥つた聯盟理事會は結局報告書の**第八章迄を日支兩國の意見書及び保留條項附きで採擇し第九、十、兩章共に總會の解決に廻す**ことにならう

我松岡代表の第一聲

卅分に亘り堂々所信開陳

【ジュネーヴ二十日發】我代表部は今朝九時半から佐藤大使議長となり、松岡、長岡、松平三代表を除く**首腦者の參與會議を開催し**、正午過ぎまで約三時間に亘り事務上の打合せを遂げた、代表部は何れも**愼重一糸亂れざる統制の下に協調一致**仕事に當つてゐる、松岡代表は誰よりも早く起床午前八時から十時過ぎまでレマン湖畔を散策しホテルに歸るや、演説の準備に着手したが二十一日の演説は我代表部の理事會における第一聲なるに鑑み特にこれを重視しリットン報告書に對する政府の意見書を基礎とし**堂々三十分餘に亘つて我所信を力説聲明**する豫定である

正面衝突を覺悟して

【ジュネーヴ廿日發】我代表部の理事會に臨む根本方針は東京との打合せで

一、一時的遷延策に絶對反對し、今次會議中に總てを結末つける

一、理事會をして充分に報告書審議を遂げしむ

一、若し右方針と相容れぬ態度を執らるゝ場合日本は何時迄も之に拘つてゐる必要を認めず、自主的に斷乎たる處置を執るのみ

との三根本方針を決定したが、その貫徹方針につき今朝九時半から參與會議を開き詳細研究を重ねた而して松岡全權が如何に努力するも聯盟側が主張通り滿洲問題から手を引くことは期待し難く手續問題においても

一、我意見を無視し遮二無二總會に移す場合

一、我認め得ざる決議を附し總會に移す場合

は日本は到底理事會出席を繼續し得ざるは明かで、この場合正面衝突は免れ難しと決心しその具體策一についても充分の研究を重ねた

仲よく並んだ張學良とリットンさん

この寫眞は去る日リットン卿一行が張學良の歡待を受けて北平北方の十三陵見物に出かけた時、調査團隨員の一人が撮つたもので、學良の最近の寫眞として御覽の通り全盛當時の面影はなく親讓りの大滿洲を棒に振つて阿片で露命をつないでゐるその哀れな姿がそのまゝ寫つてゐる【寫眞は石像の前で仲よく並んだ學良とリットン卿】

三國代表訪問

【ジュネーヴ二十日發】二十一日理事會に出席すべき佛伊獨の三理事國代表は二十日夜又は二十一日早朝何れもジュネーヴ着の豫定で松岡代表は理事會開會前にこれ等代表を訪問する筈

日支の支持を確信してゐた

◇リットン卿語る

【ジュネーヴ二十日發】二十一日開會される聯盟理事會に出席すべきリットン卿は今朝ジュネーヴに到着した、理事會には委員長としてリットン卿のみが出席の模樣で説明を求められゝばリットン卿が答辯するが、重大問題に關しては他の諸委員と打合せの上答辯する模樣だ

【ジュネーヴ二十日發】理事會出席のため二十日到着したリットン卿は記者に語る

調査團は未だ解散された譯でないので、今回の理事會總會で報告書に關し疑義の生じた場合を考慮し調査團一同が召集された譯だ、余が報告書を起草する時は日支兩國は勿論凡ゆる部分の支持も受けるものと確信してゐた、日本で惡評を買つたのは意外であつた、日本が滿洲國を遠からず承認するといふ事は既に外相より明瞭に聞いて知つてゐたから滿洲國承認によつて報告書の結論を修正しなければならぬとは考へない

記者が更に「日本の滿洲國承認を取消されるつもりで結論を書いたのか」と突込むと

そんな明瞭な考へで書いたものではないと力む譯には行かぬだらう

と語つた

眞實と誠、必ず通る

けさ松岡全權放送要旨

【東京二十一日發】壽府からの松岡全權の放送は今朝六時半から行はれた、空電のため感度惡く聽取困難だつたが、その要旨左の如し

ラヂオを通じて故國の皆樣に御挨拶の出來る事は何ともいへぬ喜びです、私が此處に來て毎日思ひ出す事は故國を出づるに臨み、國民から熱誠且つ熱烈な激勵と可憐な少年諸君の日の丸を振つて「しつかりやつて下さい」と後援を受けた光景であります如何なる決心で會議に臨み、如何にするかは出發前既に申した通りで、この決心と精神とは變りませぬ、然し眞實と誠は必ず通ると確信する、吾々は只神樣の前に立つて少しもやましきところなく少しも恐れるところもなく邁進するのみである

支那は條件附で報告書を受諾

【ジュネーヴ二十日發】支那全權顔惠慶は記者團に對し左の如く述べた

支那は聯盟規約の新條項に訴ふるを餘儀なくされやう、支那はリットン報告書を或る條件附で受諾した

【ジュネーヴ二十日發】支那側では今日迄リットン報告書に對する意見書提出の模樣なく日本の意見書を見た上で提出する事になる模樣

【ジュネーヴ二十日發】松岡全權のジュネーヴ入り以來各國代表は意外に強硬なる日本の態度を知り驚愕困惑の色あり、殊に支那代表部は狼狽して緊急會議を開き日本の意見書に對抗して今晩中に支那も意見書をでつち上げ盛返しを圖ることを決定した模樣である

わが四代表 祖國へ放送

【ジュネーヴ二十日發】松岡、長岡、佐藤、松平の四代表は二十日より四日間故國に向け放送を行ふ事になつた、時間は午後五時半（滿洲時間二十一日午前零時半）からで二十日は先づ松岡代表の第一聲が放送される

排日先鋒の西國代表

マ氏更迭決定

【ジュネーヴ二十日發】理事會スペイン代表は外相ヅルエッタ氏と決定し、從來排日の先鋒と見られてゐたマダリアガ氏は代理として臨時出席し得ることゝなつた、ヅルエッタ氏は今朝當地に到着した

理事國代表諸公の公正なる態度希望

謝外交部總長の聲明

滿洲國政府は二十一日謝介石外交總長の名を以て内外に對し重大聲明を發した、右は日支紛爭解決が既に治安の回復し獨立國としての内容を整備し將來への永續性を確認された滿洲國を無視しては不可能でありこれを認むる外東洋の平和を維持する道なきを確言した極めて重視さるべきものである、

聲明書の内容

今期の聯盟理事會において新たに滿洲問題が討議の中心となるものと考へられるけれどもわが**滿洲國の獨立は嚴然たる事實**にして、國基は既に鞏固となり獨立國家としての機能を充分に發揮しつゝあり、百般の政治は堅實に進行しつゝあり、過去八ケ月間における治績はこれを雄辯に語り居る、我國は建國聲明せる如く空論を捨て、内國力の充實を圖り、一方對外的には王道による外交政策の完成を期し、外國と友好關係を結び、極東平和を確立するを以て唯一の途と信ず國政參與人員は熱意と鞏固なる決心を有し、國務に從事してゐる、然るに**リットン報告書は滿洲國の獨立を否認するが如き提議**をなしてゐるが、同氏の誤謬はこれに對し最近勃然として興つた我國民の反駁及び意思表示によるも顯然と立證せられ、國家に對する全國人民の熱誠には今更ながら我々も感激してゐる、賢明なる聯盟理事會代表諸公は單なる對面とか從來の行きがゝりに拘泥することなく、我國の堅實の歩みを正視し**公正に我立場を理解し我等を信頼して正當且圓滿なる落着を期する**やう努力せらるるものと信ずる【新京電話】

各派の意見書批評

【東京二十一日發】リットン報告書に對する帝國政府の意見書に對する各派の批評左の如し

政友 リットン報告書の認識不足なる事は周知の事であるがわが意見書はこの認識不足の諸點を充分明瞭にし日本の盟主たるべき使命を宣示して餘す處がない、聯盟は誤謬だらけの報告書を審議するに當つて、充分わが意見書を尊重その責任を盡すべきである

民政 帝國政府の意見書はリットン報告の認識不足を訂正し聯盟の審議を正しく導くことを目的とするもので誠に妥當なものである、わが根本方針については、これは當然の主張であるから兎や角言ふ必要はない、然し特にリットン報告書の誤謬中最も甚だしい點、即ち

一、九・一八事件の日本軍の行動は自衛手段と認むるを得ずと附言せる事

二、滿洲の獨立は日本の使嗾に基くとせる事

は滿洲の實情を無視せる認識不足の報告である、從つて二十一日よりの聯盟理事會においては帝國としては此等の點を明かにする必要あり、その結果萬一日本全權と列國側との主張に相違來すやうなる事があるも帝國としては飽く迄既定方針を以て邁進すべきのみである

國同 帝國が極めて穩健なる意見書を提出しリットン報告の誤謬を指摘し支那とは何ぞや、滿洲とは何ぞや、何故滿洲國を承認せざるべからざるかを教へ斷乎たるわが決意を明かにしたるは當然であるが、更にわが全權が

一、支那自身の結べる日支條約の侵犯により九・一八事件の生じたこと

二、支那の排日言動は國民政府の背景に基くこと

三、滿洲國獨立は東洋平和に不可缺にして聯盟規約九ケ國條約等に合致する事を特に力説して欲しい

貴院 貴族院は曩にリットン報告書の發表ありし時より之が斷乎たる排撃の必要を感じてゐたが、今回の政府の意見書は何れの部分について見るも帝國政府は當然いふべき事を記述したもので反駁的意見書といふには多少不足を感ずる位なるも誠に適切穩當なるものといふ外ない

硫安工場案審議

けふの滿鐵重役會議

滿鐵重役會議は二十一日午前十時一より開會、林、八田正副總裁、村上、竹中、山崎の各在連理事に來連中の新波、永谷兩顧問を加へ、緊急問題たる硫安工場案につき審議し正午休憩した、午後は更に同問題を上程討議の後八田副總裁、村上、山崎兩理事より新京訪問の報告および竹中理事より旅順訪問の報告がそれぞれある筈、なほ硫安工場問題は既に政府と内地同業者側との諒解も濟んで居り滿鐵の最終的意思表示をまつのみとなつてゐるので重役會議においても決定を急いで居り恐らく同日中には決定を見るものと見られてゐる

號外發行

廿日午前零時ジュネーヴにおいて發表した「リットン報告書に對する帝國政府の意見書」を號外として本紙讀者に配布しました

蛇角

◇ リ報告に對するわが政府の意見書堂々公開、言ふことは言ふて涼しき男かな、の感あり。

◇ リ報告の木ッ端微塵ぶり痛快。これで奴らにや判らぬ奴が悪い。

◇ それにしてもリットン卿一派の感想は如何。

◇ 在ジュネーヴ聯合記者問ふて曰く「日本の滿洲國承認を取消すつもりで結論を書いたのか」

◇ リットン曰く「そんな明瞭な考へで書いたものではない」

◇ と辯解すると思ひきや「……と力むわけにも行かぬだらう」は一寸解せぬ言ひ分。

◇ 支那側、驚愕狼狽、一夜作りの意見書發表の説あり。

◇ そのお粗末ぶり、われ等いづれ批評仕らん。

◇ お次は松岡代表、いよいよ本舞臺の正面へ、聽かも欲し、その歷史的大雄辯。

人事

▲宮水能雄氏（滿鐵鞍山製鐵所次長）二十一日午前七時着來連

▲右近又雄氏（同上庶務課長）同上

▲羽田彦四郎氏（前代議士）同日午前八時着來連

▲闞鐸氏（四洮鐵路局長）同日午前九時發北行

▲高岡又一郎氏（高岡組常務取締役）同上

▲坂西利八郎氏（豫備陸軍中將）同日午後一時出帆長平丸にて天津へ

▲池田毅氏（長崎毎日新聞社長）廿日入港のはるびん丸にて來連廿四日出發北方視察の由

▲奥山信夫氏（同上總務）同上

ほんこん丸 二十二日午前八時半大連港外着豫定

小磯參謀長けさ着京

【東京二十一日發】小磯關東軍參謀長は有富副官を隨へ二十一日午前八時三十五分着京した、同參謀長は午前九時參謀本部で閑院參謀總長宮殿下に拜謁、滿洲國全般の狀況特に兵匪討伐の現況、滿洲里人監禁事件、熱河問題その他につき詳細御説明申し上げた後、眞崎次長以下首腦部と會見、同樣報告協議更に午後一時より官邸で陸相、次官等陸軍省首腦者と會見報告する筈、滯京五六日の豫定

駐日通商代表更迭

【モスクワ二十日發】モスクワ政府は本日附駐日通商代表アスタキ氏を更迭しウラジミール、コーチエトフ氏を後任に任命した

有吉公使歸任

【東京廿一日發】有吉駐支公使は淺賀書記生同伴廿日午後九時半東京驛發上海へ歸任の途に就いた

滿蒙の戰慄（159）

直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（九ノ三）

（店をよした）

西城は、自分の立場を考へると

（女はいい。すぐ、次の店が、手を受けて待つてゐる。俺の方は――）

と、思ふと、會計から、サラリーを前借して行かうと考へてゐたことが、躊躇されてきた。何かしら、それが、自分の首と關係してゐるやうに感じられた。

（首がとんだつて、今日、金なしに遊びに行けるか）

席へ戻つてくると

「隣から、やいのやいのだな」

「ちがふよ。あの給仕、人を欺しやがつて」

「ではないでせう、ちやんと、こゝまで聞えてきてるよ」

「君、いくらか餘裕があるかい」

「何の？」

「何のつて」

「金を貸してくれるなら、いくら高利でも借りるぞ」

「ぢや仕方がない。一つ、會計と大事闘をやるか」

「俺は、俺のも頼む」

西城は、時計へ、振り向いてみて

「思ひ立つたが、吉日か、よしつ」

と、叫ぶと、立上つた。何の部屋の、何の顔も、何の眼も、熱心に、忙しそうに働いてゐた。大きい金庫と、二人の女事務員が、算盤を彈いてゐる所へ行つて

「今井さん」

と、聲をかけた。

「何んだ」

「一寸」

「今、忙しいんだ。もつと、あとにしてくれ。何うせ、碌なことぢやないんだらう」

さう云つて顔を上げると、西城がぢろつと見て

「君か――君はいかんぞ」

「何がです」

「近頃、カッフエへ出入して、困つとるといふぢやないか。カッフエへ入れ揚げる金なんぞ、俺ば、あづかつてならんぞ」

「さうぢやないです」

「嘘つけ、顔が赤くなつてるぢやないか」

二人の事務員が、鉛筆で、何かかきつゝ、笑つた。

「病院へ支拂ふんです」

「その傷か、そも〳〵、その傷がんぞ――」

と、云つて、事務員から、ノートを受取つて、算盤をいぢりつゝ、

「身體髪膚はこれを親より受く、これを傷けざるは孝の始めなり、と云つてな。君ら、若い奴は、こういふ神經の文句を知らんから、女の爲に、引つかゝれたり――いかんぞ」

「二十圓だけ――」

「いかん」

「病院の支拂ひですから」

「カッフエに病院がいつできた」

「本當ですよ、この傷が――」

「そんな傷は、猫のくそをつけておいても癒る」

「そんな事云つたつて」

「君も、腕がないね、女から捲き上げろ、この邊の女は、金庫の近くにゐるから、こういふのを誘惑すると、いくらでも、金が自由になる」

「そんな事云はないで――」

「總務長の印がありや出す。さもないと、少し、君など、監督してやらんと、物にならん」

會計は、出しさうにもなかつた。

健康週間中の大催物 變裝者探しと寶探し

二十三日新嘗祭當日午後一時 電氣遊園内で開始

健康週間中の大催し物である戸外デーは既報の如く來る二十三日の新嘗祭當日に電氣遊園に於て擧行するが、當日の呼び物である變裝者探し並びに寶探しは何れも午後一時より五發の煙火を合圖に一齊に開始されることゝなつた

その方法は、先づ變裝者探しは合圖の煙火と同時に五名の變裝者が場内に現はれ、參集の人々の間に紛れ込むことになつてゐるが、右五名の變裝者は目下主催者側で適任者を物色中で、當日の朝刊に變裝者の素顔の寫眞を掲載して一般に知らしめることになつてゐる

變裝者發見の場合はこれを場内音樂堂の戸外デー事務所に連行して委員によつてその眞僞を決定し、眞物の場合左の如き賞金を授與することゝなつてゐる

▲第一番發見者　賞金十圓
▲第二番發見者　賞金八圓
▲第三番發見者　賞金七圓
▲第四番發見者　賞金六圓
▲第五番發見者　賞金五圓

右によつて五名とも發見されたる時には煙火二發を打上げて一般に知らせる筈である

又寶探しは會場内の歩行禁止區域、屋内、樹上等を除いた普通歩行區域に二百の寶券を隱しておくが、この寶券が木であるか石であるか、或ひは又、紙、竹であるかは午後一時の合圖の煙火と共にその見本を場内音樂堂の戸外デー事務所に於て一般に發表することになつてゐるが、寶券は本社苦心のもので、婦女子にも解り易いものである

この寶券發見者はこれを戸外デー事務所に持參して抽籤券を引き賞品を受領することになつてゐるが二百名の幸運者に贈呈する寶は左の如くである

桐タンス一棹、粒セピア高級トランク、松坂屋製上等毛布、デワー新型腕時計、高級組合せ文房具、美活石鹸等二百點

尚當日は滿鐵地方部の好意によつて電園の人氣もののメリーゴーランドを七歳以下の子供さんに限り無料で解放することになつたが、この開放は整理上一人一回に限り無料である、ともかくも、寶探しと云ひ、變裝者探しと云ひ、又メリーゴーランドの無料開放と云ひ戸外デーにはいよいよ興味を添へ當日の盛況は今より豫想されてゐる

健康診斷の受診者 物凄いほどに激増

本年は昨年とは一變

健康週間第三日の二十日は、日曜日ではあり、珍しい好天氣ではあり、健康診斷の受診者は俄然激増して、譚家屯の赤十字醫院だけでも僅か二時間の間に百七十九名の受診者があり、ほか當日の受診者總計大連市中だけで四百名以上と概算され物凄い激増ぶりは各醫院を驚かしてゐたが、この健康週間なる催しが如何に全市民の期待に副ふものであるかを實證せるものである、受診者は内科が最も多く小兒科、皮膚科之に次ぐが、内科に於ては既報の如く呼吸器病の早期發見が多く非常に注目されてゐる、又皮膚科は昨年の健康週間には受診者が非常に少かつたが本年は激増し、何れも病氣昂進する前に僅かな治療によつて全治され得ることを諭され受診者も大喜びで歸つて行つたが、健康週間の眞の目的を果すものとして有識者より多大の稱讃をうけるに至つた

全滿戸外デー 一週間延期

滿鐵社會主事會議

全滿戸外デーはさきに一月十五日に擧行することに決定したが、十九日の滿鐵社會主事打合會において一月二十二日に延期することに決し地方部次長の許可を得て近く發表を見ることゝなつた、延期の原因は十五日は奉天に全滿氷滑大會があり、戸外デーの花形たるスケート選手が奉天に集まるので戸外デーを淋らす虞れあるのと奉天においても當日二つの催しが對立する結果共倒れになるとの意見が出たゝめである、これに對し氷滑大會を廿二日に延期すべしとの意見が出たが、同大會は二十九日に鴨緑江に開催される全日本氷滑大會の滿洲豫選をなすもので是非二週間前に開きたき旨體育主事よりの希望出で結局戸外デーの方を一週間延期して二十二日に全滿一齊に盛大に擧行することゝなつた

滿鐵地方部の社會主事會議

滿鐵地方部社會主事會議は十九日午前午後に亘り聚屋地方課長、中根社會施設係主任以下地方課關係者、沿線各地社會主事全員出席のうへ開いたが、先づ十月から實施の御下賜金を基礎として貧困者に行つてゐる救療事業につき實行上の貫徹を期するため種々協議するところあり、各主事より實施狀況の報告あつて今後連絡を充分にすることを申し合せ次いで一月中旬實施決定の第二回全滿戸外デーの打合せに移り、先づ地方部から實施要項案を提示說明し社會主事から沿線の希望を具陳結局沿線から十五日の實施は奉天でのスケート大會に衝突するため廿二日に變更方を希望し結局地方課で再考慮することゝなつて散會した

伊勒克特の邦人 八名の行方

難を避け山中彷徨か

【チチハル廿一日發】廿日西部線を徒歩でチチハルに着いた一露人の話によれば伊勒克特にある札免採木公司の日本人男五人、女三人は今回の事變を知るや九月廿七日より同地を脱出して北方の山中に避難し雪深い大興安嶺中を山越え川越えにさ迷ひ歩き人生の最大悲慘をなめつゝ十月中旬ハイラル東北方の某村落まで辿り着いたことは判つてゐるがその後の行方は杳として不明になつた、尚右八名の日本人男女が難を避けた後の札免公司は暴兵のため掠奪された後燒き拂はれ同公司に使用されてゐたロシア人及ポーランド人等は日本人を逃がしたとて捕縛投獄されたが未だ生死不明であると

在滿の各義勇軍に 反學良熱擡頭

間隙に馮系部下活躍

【洮南二十一日發】熱河各地の義勇軍連絡員と稱する李某の談によれば滿洲各地に散在する義勇軍の間には最近學良排斥の熱が優勢になり義勇軍に對しては數ケ月事實彈藥を支給されぬのみかこの寒季に向つて防寒具も與へられざるため現に各地の義勇軍は學良から前進の命令を受けてゐるが何れも馬鹿々々しいとして應ぜない有樣である、この空氣を見てとつて活動を開始したのが馮玉祥で腹臣の部下數名を熱河に潜入せしめ各義勇軍反學良熱を煽動し既に學良を見棄て馮玉祥に寢返らんとしつゝある義勇軍も相當多く學良の威令は全く行はれない狀態である

永井署長歡迎會

實業同志會は來二十一日午後六時半よりヤマトホテルに新任の永井民政署長を招待し歡迎會を催すさ

日滿聯合賣出し

既に抽籤券二割四分を賣り 成績良好、當業者樂觀

建國記念日滿聯合賣出しは三千圓の福券付が人氣を呼んで市中の小賣商は本年掉尾の販賣戰に是を利用して景氣回復を期してゐるが輸入組合内事務所にては既に加盟商店、邦商三百三十店、滿商六十店計約四百店を數へ既に抽籤券十二萬枚を賣盡してゐる、賣上豫定數五十萬枚中二割四分を賣盡したわけであるが、この勢ひでは年末までに豫定數抽籤券賣上確實とみて組合事務所においては樂觀してゐる、たゞ市中邦商中三越、濱華洋行の知き大商店で形勢觀望中のものあり、中には獨自にて景品付賣出しを計畫する向もあるが是等は結局不可能にて組合に加盟するものとみられてゐる

蘇家屯驛表彰 二月來無事故

滿鐵々道部長は今回蘇家屯驛に對し左の無事故表彰狀を授與することゝなつた

昭和七年二月十三日以降場内走行粁十五萬粁に達しその間運轉責任事故皆無なりしは畢竟驛員一同常に克く職責を盡し協心戮力注意周到の致すところにして他の模範とするに足る仍て驛區無事故表彰内規に依りこれを表彰す

滿鐵旅客列車追突

けふ萬家嶺關子間で 乘客中にも負傷者

廿一日午前十時四十分ころ旅客第一九列車（大連七時發大石橋行）が萬家嶺、關子間一四二キロ二〇〇附近に差掛つたとき折柄停車中の四五四列車（單機で八〇列車の後押をなし引返しの途同所に停車中のもの）に追尾衝突し機關車一輛脱線、客車機關車各一輛破損した、このため旅客第十一列車より同所は上線による單線運轉を行つてゐるが、乘客には打撲者がある模樣で目下取調中、なほ滿鐵々道部から係員直に原因調査のため現場に赴いた

交通訓練デー けふ第一日

市民の注意を喚起

大連四警察署聯合の交通訓練デー第一日、二十一日は午前九時から交通係員、非番警官がごつと繰出して繁華な街頭に立つて

幼兒を道路で遊ばすな
無暗に道路に飛出すな
道路は綺麗に物置くな

等々の標語を刷込んだ宣傳文を歩行者に配布する、別動隊はタクシー業者を中心に諸車取扱ひの方面へ

一、常にブレーキ檢査して規定速度の制限守れ
一、街角通過は音響器鳴らし徐行の習慣必ず付けよ
一、左小さく、右大廻り、路上停車は妨害するな

の交通安全標語の刷込みビラを撒布して廻る、かくて第一日は完全に官傳の實を擧げ市民の注意を喚起した

昨夜來連の 川島芳子孃

突如大連署長に 嚴重抗議に及ぶ

聞いて見れば何のこと

二十一日午前八時すぎ出勤したばかりの石井大連署長の卓上電話のベルがけたゝましく鳴る——

「モシ〳〵私川島です」

艶福家ならざる石井署長へ嬌ッぱらから女の聲、小首かしげた署長「一體貴女はどなたです」と相手の正體を確むれば鈴を振つたやうな

◇…女聲 ながら急に「僕です」と男の言葉に變る、電話の主こそ二十日夜特急「はと」で多田少將と一緒に突然來連した川島芳子さんなんである、石井署長への用件は何んでもけさほど大連署の警官がサイドカーで芳子さんの宿所に乘りつけさきに芳子さんが上海から持つて來た自家用自動車を某所に預けて置いたところ所有者不在で秋期檢査も受けなかつた不都合なぢつたものらしい、そこで芳子さんが石井署長への抗議——「私は只今日滿兩國のため奔走してゐる身です

◇…些細 のことで文句を云はれるのは困ります」

藪から棒に嚴しい抗議を申込まれた、石井署長面喰つて「早速調べて見ます」で保安主任に命じて各派出所に就いて調べて見たがどうも芳子さんに警告を發した形跡がない、よく〳〵調べて見るとどうやら警官違ひらしく芳子さんに叱られた石井署長「何んだ僕が犧牲者になつた譯か」と苦笑

芳子さんと自動車と警察との因念はさても深いものでかつては沙河口署でスピード違反で告發したこともあり、つい先日は舊清朝の皇后樣が來連の折檢査證明書がなく大連交通係河原部長から油を絞られたことがある、その時も芳子さん

◇…柳眉 を逆立て廣石保安主任を電話で呼び出し「不都合な警官です、私に謝らせて下さい、私はいゝけれど皇后樣にすみません」との強談判眞面目一方の廣石警部も敢てならず「いくら何んでも關東州には關東州の規則がある、それによつて取締つた警官を貴女に謝らせることは出來ぬ」とこゝで警官の謝罪問題はどうやらケリが付いたがこの調子だと自動車をめぐつてこんな事件が起きぬとも限らぬので警官連中「どうか芳子さんが自動車で蒙古旅行と出かけて呉れぬかなア……」

奉天の工業用地 貸下は明春

眞實の企業家を選擇 土地政策確立も考慮

奉天滿鐵西の工業用地に對する土地貸下希望は奉天の工業熱に煽られて非常な盛況を呈しほとんど全面積に達するに至つたが今年は滿鐵側の準備が整はざると眞實の企業家を選擇する意味で遂に貸下げ行はれず一切

明春 に持ち越されるに至つた、しかし交通上および關稅上奉天は將來の工業中心地たるべくこの方針は大體關係各方面に一致してゐるので今後は同地に各種工業が族生するものと豫想されてゐる、殊に鐵西は過去に於いても工業用地に豫定されただけ最も適當な條件を備へ、交通上よりも動力水利等よりするもこれ以上の適地はなしとされてゐる、故に滿鐵ではさきに鐵西に隣接して約四十萬坪の土地を買收して將來の發展に添へるところがあつたが、他方邦人中にも將來を見越して滿鐵買收地に

接續 して土地を買ふ者續出するに至つた、かくてこれら土地買收者は滿鐵に對してこれら土地の買收方につき交渉を進めつゝあり、滿鐵も明春よりの起業熱を控へてこの冬中に奉天鐵西に對する土地政策を確立しておく必要に迫られてゐる、しかし本問題は單に滿鐵のみに關聯したものでなく滿洲國の實業計畫とも至大の關係があるので各方面で熱心に研究されてゐるが、第一に事變後附屬地の意義は著るしく變つて來たので必ずしも附屬地内にのみ工業用地を收容する要なく、むしろ滿鐵は滿洲國において買收して

適當 な施設をなすべきであるとの議も起りつゝあり、滿鐵社内においても買收價格は第二として買收すべきか否かの根本問題について審議されんとする模樣で又たとひ買收するにしても現在の滿鐵買收地の境界の不整を整理する程度に止められるものと見られてゐる

抵當詐欺 告訴狀提出

市内監部通り丹野仁三郎氏は市内惠比須町一番地關口慶次(五二)を相手取つて小崗子署へ文書僞造詐欺の告訴を提起した、右は昭和四年關口は自己所有の市内櫻花臺一番地家屋一棟が既に一番抵當に入り登記完了しあるものを民政署の登記證書公文書を破毀し抵當權順位は第一位であると稱して前記告訴人丹野氏を詐稱し右家屋を抵當として金一千五百圓を借りたのが最近に至り丹野氏は右家屋は既に前抵當者のため競賣に附され自己所有證書は二番抵當權であることが判明告訴に及んだものであるが關口は他にも同樣借用證僞造並に詐欺橫領多數あるので同署で引續き取調べ中

哈市依蘭河一帶 賊影を見ず

楊の部下六千敗走

【ハルビン廿一日發】依蘭附近に蟠居してゐた兵匪は自稱吉林自衞軍中路で楊耀鈞の指揮する第一軍曹慶林、第二軍李福亭、第三軍胡鳳林、總兵力約六千と傳へられたが先般甲村、松田兩枝隊の砲撃に遭つてその大部分は敗滅し

東方 の山地に逃げ込んだものは一千六七百なるが彼等は食糧彈藥缺乏のため士氣沮喪し胡は部下三百を率ゐて帽兒山南方の椴子房附近に遁入し、他の一千餘は楊及李等が指揮して十二三日頃東部線を越え黑龍宮方面に逃れた、それがためハルビンから依蘭河に至る一帶の地區には賊の影を沒し自衞團の組織により著るしく平穩となり特產出廻り期によつて馬車の往復盛となり活氣を呈し來り住民は我軍の活動に心から

感謝 してゐる、なほ前記黑龍宮方面に逃げ込んだ楊軍敗殘兵討伐は先に歸順で吉林軍に歸順せる李景福に屬する四千の兵力で徹底的に大掃除をなすことに決定した

ロシア石油船 大連に入港

ロシア石油の滿洲市場へのダンピングは本春來注目すべきものがあり既に英、米物を壓倒せんとして船毎に多量輸入されてゐるが、中東鐵路扱ひキングベルト號は滿鐵より廿一日朝入港寺兒溝棧橋に繋留、同船は石油十萬五千箱を積卸する筈で曾て同船は今春約十八萬箱の石油をダンピング用として揚卸してスタンダード石油會社に脅威を與へたものである

徳洋丸に注意

去る十八日渤海甲海中に墜死した東川勇太郎(■)に對しては同人乘組の徳洋丸より水上署に屆出あつたが肝心の監督官廳たる海務局には何等手續きがなかつたので廿一日同船主内山常吉に對し同局より注意を促すところあつた

山西丸復航

大汽臺灣航路の第一船山西丸は目下復航につき大連に向つて航行中だが、同航路が成功した一證左として同船は天津向の生果六百噸を積載してゐる、今後は同航路を經て臺灣、天津間の貿易に少からざる影響を與ふるべく注目されてゐるが、同船は廿四日朝入港の豫定

天氣豫報　二十二日
北西の風　晴
滿潮（午前三時 午後三時三十分）
干潮（午前十時十分 午後九時四十五分）

各地溫度　廿一日午前十一時
大連 一三　奉天 九
旅順 一三　新京 五
營口 九

けふの小洋相場（正午）　金百圓は一一八圓二〇錢

國難日本刀 (161)

高桑義生作 京極佳夕畫

風雲けはし（八）

窓には、豪華なカーテンがひかれてあつた。外は、雨脚みだれるうろしの闇である。

その窓下に、うごめく者があつた。人間だ。怪しい人影である。恐らく室内の話をぬすみ聞かうとする者であらう。が、ぴつしり閉ぢた洋室のうちの、しめやかな話聲は、殆ど聞きとれないに違ひない。それで、聞かうとする努力と、カーテンのはしから中の二人の樣子を、窺はうとするために、雨の闇にうごめくものだつた。

人影は覆面をしてゐた。足もとに何か積んで、その上に乘つて、それから、手に器具を持つて、何事かはじめた。

カリカリ……異樣な音がきこえた、きはめてかすかではあるが——多分窓をこぢ開けようとするものに違ひない。大膽である。案内では——淡路守が。

「承知いたした。が、如何でござらう、その御希望は、大體どういふ筋のものか、なるべくならば、人交ぜず、貴下と拙者と、二人だけで解決したい。只今お洩らし願へないものでござるか?」

「それは、まだ考へてゐないのです。あの人——サンダースンは御承知の人格者、どんな秘密も守る御安心なさい」

「それはさうだが……」

「わたしには、まだ決心がつかない。だから何ともいばれません。わたしは、わからぬ事が出來るとあの人に相談する、あの人の智慧を借り、教へを受ける」

「しかし、御心持の一端なりとも……」

淡路守はホールの野心をはかりかねた。小松にかはるべき條件は何か? 相當の事であらう。彼の希望が何であるか、彼一個人として言ふことが出來ない——淡路守は少からぬ不安を感じた。しかし、さういひ切るものを、どうする事が出來よう。淡路守は服するほかはないのだつた。

カリカリカリ……

淡路守はその物音を聞きつけた彼はぎよつとして、おびえた眼を上げた。音は高い天井のあたりに聞えた。

ホールも眼を上げた。二人が聲もなく、しいんとした沈默裡に、依然として、怪しい物音は、聞える。

「何であらう?」

と淡路守はつぶやいた。

「鼠……」

とホールは答へた。さういへば鼠のやうである——と思ふと、淡路守はほッと安心した。

「しからば、その節、お伺ひいたさう。時に、貴下は小松について何かお心あたりはござらぬか?」

といふと、ホールは即座に首を振つて、

「ありません。わたしは何も知りません」

「貴下は、御自分では、全然搜索なさらぬ……」

「さうです。搜したところで何になりませう。むだなことです」

きつぱり答へた。

「フウム」

それほど小松に愛着をもつてゐながら、如何に他人の責任であるとはいへ、人情として、自分としても、多少は小松の行方を搜索しなくてはならないものだ。が、それについてホールは無關心である。なるほど土地風俗になれない、むだな努力であるかも知れぬが——。

淡路守は少からぬ疑問を感じた小松に對するホールの心理がわからなかつた。日本人の感情から、ホールの冷淡さを解釋することが出來なかつた。

「や!」

と淡路守はさけんだ。

「おゝ?」

とホールも振返つた。

「曲者ッ」

けたゝましい聲に、ガタンと扉をおして警戒の者が入つて來た。

「外だ、庭だ。取押へよ」

と淡路守は命令した。

警戒の人々は廊下を走り去つた淡路守は眞青な顔で、カーテンをひいて、ガラス窓から、雨脚のみだれる闇を睨んだ。

纏をおろした厳重な窓がこぢ開けられてあつた。

ひろじ會納會

ひろじ會では二十一日午後六時から連鎖街事務所内ホールにて納會を開くが番組左の如し

▲御祝儀入登▲先代綱玉▲太十柳風▲酒埼圓希▲合邦長門▲沼津國路▲先代仙龍▲忠四喜龜▲壺阪勇▲岸姫團子▲紙治松若▲布四五月▲布四松花三味線竹本廣治

異彩を放つ 可愛い少女舞踊

大劇の大檢秋の踊り

本紙讀者は優待割引

大檢女紅場並に本社主催の「大檢秋の踊り」大連シャンソン發表はいよく廿二、三日兩夜六時から大連劇場にて開催、今シーズン最後の華やかな催しとして果然人氣沸騰してゐるが、既報のプログラムのうち可愛い演しものとして期待されてゐるものに新舞踊「花まつり」童謡舞踊「證城寺の狸囃子」小唄舞踊劇「貴夫次第で笑つて泣いて」がある「花まつり」は今までも藤間勘奈津師匠の會心の新舞踊として定評のある作品であり、出演者の顔觸れが興味を呼んでゐる「證城寺の狸囃子」も亦、童謡舞踊として既に好評の作品を更に出演者を増加して面白く按舞したもので、北村席高子吉田席花子八千久席幸子井藤雪子秋山常子の踊りはいよく圓熟して充實した舞蹈を見せてゐる、また「貴夫次第で笑つて泣いて」は流行小唄を舞踊化したもので少女舞踊家としてその天分を認められてゐる吉田席花子と北村席高子のコムビによるもので、その表情の巧なこと觀衆を魅了すべく可愛い呼び物として爾演の曉は大喝采を博するであらうなほ入場料は一般一圓五十錢、本紙刷込優待券を持參すれば一圓である【寫眞は證城寺の狸囃子】

全滿日本人時局大會で開放した日曜日書間の各映畫館は果然物凄い入りで只ほど恐ろしいものはないと各館ともダアとなる常盤座に出演するマネキン女優はいよく本日からモギに立つて有難う御座いますとプロを渡し▲舞臺に立つて來連の挨拶をするが、興行價値百パーセントのビラを撒いて宣傳▲中央映畫館の「不如歸」に對抗して映樂館が「浪子」で再映大衆興行▲あちらの武男さんは北海警備へ、こちらの武男さんは上海へ、臺灣へ行く武男さんは居ない▲ミルトンの「靴屋の大將」に次いで今度はシュバリエの「君と[illegible]」▲「陽氣な巴里ッ子」で人氣を呼んだミルトンと「陽氣な中尉さん」で騒がれたシュバリエの主演もの▲大檢秋の踊りの呼び物の一つ、高チヤンと花チヤンの名コムビで「貴夫次第で……」が上演されるので花チヤンのオトウサン吉田映樂館主、嬉しいやら忙しいやら愛娘のために小唄舞踊劇の解説を印刷して兩夜大劇で配る

本社特選 新棋戰（其一）

先 四段 △塚田正夫
平手 四段 ▲市川一郎

【圖は五四歩迄の局面】塚田氏 持駒ナシ

△七六歩 ▲三四歩
△二六歩 ▲四四歩
△二五歩 ▲三三角
△四八銀 ▲四二銀
△五六歩 ▲五四歩
△五八金右 ▲四三銀
△三六歩 ▲二二飛
△三七桂 ▲六二玉

【土居八段講評】兩君は現在棋界に於ける青年選手中での花形なれば定めし活氣ある局面を現出させるであらう、さて市川君の四三銀以下の手段は古風の向ふ飛車の戰法であるが、此の型は變化に乏しいから現在は餘り用ひられてゐない、向飛車の方針なれば五三銀以下四三金の構へで對抗する方が種々の變化が多い。

【萩原六段解説】市川氏の四四歩は變化激しき急戰の相懸り戰を避け極力防戰して十分に力戰せんとする趣向である、次に四二銀は三二銀と上り次に四二飛又は五二金右、四三金と構へ合ひにする趣向もあるので四二銀よりも三二銀の方が作戰が廣いのである、塚田氏の五六歩は敵の模樣により五筋の位を取る意味と次に七八銀七九角と引角模樣にする意味で五六歩と突いたのである、市川氏の四三銀は初め四二銀と上つたからには五三銀と上り次に二二飛以下四三金の構へにする方が古來よりの定石を避けて變化に富んでゐる

日米爲替軟調 鈔票奔騰
滿鐵株社債決定に暴騰
前週に於ける市況

十四日 休日明銀塊倫敦同事、紐育八分一高と區々、米日十二仙高、日米一回八分一安乍ら當市は三五錢安の四圓四五錢と寄り高値は寄より一圓高と伸んだが日米二回八分一高、三回十六分一高と續騰に三圓八五錢と安値止めし後場日米十六分一安に五十錢高と小踉りに引▲特産 大豆は銀の軟弱輸出筋現物買に強調、豆粕は大豆高と邦商買に強含み高粱強調に引け後場も大豆は一般買氣に強保合を呈した▲株式 北濱休市、東京短期東新不冴に當市の五品定期四十錢安、延三四十錢安、新豆錢鈔二十錢安と軟調に引けたが後場内地變らず當市も保合

十五日 日米一回四分一安二回八分一安(三回同事)と續落に俄然活氣を呈し一圓四五錢高と寄り高値六圓七五錢まで上伸強調に引け後場爲替續落に高値八圓丁度と續騰▲特産 大豆外各品共銀の急騰に伸び悩み軟調に引け後場も依然軟弱乍ら高粱のみ邦商買に堅調に引け▲株式 内地株一齊に昂騰し當市も五品三四十錢高、外各株共小踉りのところ後場も内地續騰に五品定期六八十錢高、延七十錢高と續騰

十六日 日米一回八分三急落の二〇弗四分一を入れ當市は一圓五十錢高と上放れて寄つたが第二回八分一高、三回同事に安値は二圓搦落したが後場人氣強く九圓三十錢と高値止め▲特産 大豆は邦商の現物買を眺め強調、豆油、豆粕も強調、高粱は邦商大手筋の買に昂騰

十七日 日米第一回八分一高に當市一圓六十錢安と奔落に寄り安値六圓八十五錢迄落したが引際大地震説等の流言飛び急騰十圓五十錢迄伸び十圓丁度と引け後場も人氣強く七十錢高に引▲特産 大豆は品薄と買氣構に銀高利かず強調、豆油、豆粕も伴ひて強調を示したが後場一般氣乘薄に各品とも無味凡調▲株式 内地強保合を入れて當市の五品十錢高、延三十錢高、他株も小踉りに引け後場も強調を呈す後場大豆は邦商の買長續き續騰▲株式 内地株寄強調と好勢を示したが引區々に當市は保合商狀後場内地の踉りを入れて當市強保合

十八日 日米一、二回各八分一安と續落したが昨後場上過ぎに却つて一圓二十錢安の九圓五十錢と寄り伸悩み、第三回四分一急騰に八圓臺に崩れ結局九圓四十錢と引け後場爲替同事乍ら別電二十弗大關門割を報じ一圓二十錢迄伸んだが引際利喰にて押す▲株式 内地株強調、東新百八十六圓臺乘せと昂騰に當市五品定期五六十錢高、延三十錢高、外一齊小踉りに引けた尚滿鐵社債二千萬圓決定に好感滿鐵株五圓六十錢高、新三圓七十錢高と暴騰し當市も一舉に新四十三圓に狂騰した、後場引轉の報に當市五品三十錢安、新豆十錢安と弱保合

十九日 日米一回八分一安の二十弗丁度、第二回四分一高、第三回八分一安と浮動に當市氣迷ひ人氣で弱保合、後場爲替半休乍ら小踉商狀▲特産 大豆は外商の賣に軟調を示し豆油邦商買に強調、高粱賣物多く軟調のところ後場大豆は賣物薄に強調を示す▲株式 内地株不味を入れ當市五品、延期共四七十錢安外一齊引緩む

	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日
倫敦銀塊	一六片八分一	一七片八分七	一八片〇分〇	一八片〇分〇	一八片八分一	一八片八分一
同先物	一六片四分一	一八片〇分〇	一八片八分一	一八片八分一	一八片十六分三	一八片十六分三
紐育銀塊	二七仙八分一	二七仙〇分〇	二七仙〇分〇	二七仙〇分〇	二七仙〇分〇	二六仙四分三
スチール	三九弗八分一	三八弗〇分〇	三七弗八分七	三六弗八分七	三六弗四分一	三三弗四分三
英米クロス	三弗三仙十六分十三	三弗三仙四分一	三弗三仙三分一	三弗三仙十六分七	三弗三仙十六分十五	三弗三仙三分一
米日爲替	二一弗三仙	二一弗〇六仙	二〇弗七五仙	二〇弗六二仙	二〇弗六一仙	二〇弗六〇仙
日米爲替	二一弗十六分三	二〇弗四分三	二〇弗八分三	二〇弗八分三	二〇弗八分三	二〇弗八分一
米支爲替	二九弗十六分十五	二九弗八分七	二九弗八分七	二九弗八分七	二九弗四分三	二九弗三分一
上海標金	七三〇兩三	七三三兩〇	七四七兩四	七三二兩四	七三二兩二	—
滙申	七三兩八〇〇	七二兩九五〇	七四兩一五〇	七四兩〇五〇	七四兩一七五	七四兩一〇〇
鈔票	一〇二圓七五	一〇六圓四〇	一〇八圓一五	一一〇圓〇〇	一〇九圓四〇	一〇九圓五五
大豆	五圓一三〇	五圓一三〇	五圓一三〇	五圓一六〇	五圓一六〇	五圓一二〇
豆粕	一圓六七五	一圓六九〇	一圓六〇〇	一圓六二〇	一圓六三〇	一圓六三〇
豆油	—	—	一四圓〇五	一四圓〇〇	一四圓〇〇	一四圓〇〇
東新	一七九圓〇〇	一八二圓八〇	一八〇圓九〇	一八〇圓九〇	一八〇圓九〇	一八〇圓五〇
滿鐵新	四〇圓〇〇	四〇圓一〇	四〇圓四〇	四〇圓一〇	四四圓一〇	四二圓〇〇
五品	二七圓〇〇	二七圓〇〇	二七圓八〇	二七圓三〇	二六圓一〇	二七圓七〇
橫濱生糸	九四圓〇〇	九五圓九〇	九五圓五〇	九五圓八〇	九五圓八〇	九五圓九〇
大阪綿糸	—	一九七圓五〇	二〇〇圓一〇	二〇一圓三〇	二〇三圓九〇	二〇二圓七〇

東支南線經由貨物 最近頓に激增
年内十五萬噸南下豫想

東支南部線經由特産南下貨物はその後ますく順調に進み二十日の如きは新京驛引受車數は三百三車に達し廿一日は更に三百六、七十車の引受を見る豫定である而してかく南下貨物が激增したことは東支南部線の出廻りが漸く最盛期に入つたことを物語るもので、即ち最近南部線一帶の匪賊一掃により奥地から驛までの馬車輸送が安全となり、かく持込の激增を來したのであるが最近南部線の持込は一日平均百二十乃至百五十車の多數でその中心は三岔河および双城堡である、なほ南部線經由の南下貨物は今後ますく增加するものと豫想され今後一ケ月間に約十五萬噸の南下は可能と見られてゐる、因に昨年度一ケ年を通じての南下貨物は約三十萬噸にすぎなかつた

市場市營單一制 第一歩を踏出す
豫定通り廿一日から

永らく揉んだ揉んだ揉み續けた中央卸賣市場も遂に落着くところに落着いて内地ではあまり類例を見ない市直營市場に改組されたが、愈々二十一日より更生の第一歩を踏出した、市場建物や設備には別に變りはないが、未明から地物の蔬菜や果實が續々と引込まれる、地物出廻りは既に終末に近づいてゐるが、それでも二千圓には上らう何分にも種類と荷主が夥しい數に上るので、かれての計畫に依つて大連農會農産物販賣斡旋組合が大童になつて荷受、分類をなした上で市場規則にある立賣人制度、つまり行商人らに直接賣捌く商内が景氣よく開始された、一方市の初せりは午前七時より行はれ、型の如く三聲主義のせりを續つて新規仲買人(目下のところ全部で四十四名)がせり上げ、せり落したところで記帳されて行く、出來た商内は精算係に廻され三日以内に市から直接荷主に代金を送附する一方、市は十日毎に仲買人から取立てることになる、かくて午前中、地物につき約八百圓のせり商内あり、二十數名の吏員も多くは新顔で轉手古舞の恰好だつたが滯りなく終つた、午後一時からは前日着荷した二、三千圓に上る蜜柑のせりがあるが、なほ午後三時からは開場式が擧行される筈

卸賣市場 係員數增加

別項大連市中央卸賣市場市營單一制はいよく二十一日から實施されたが、これに伴ふ人事も二十一日中に發令される事になり業務も二十二日より開始される事になつたが、市ではこの實施に當り午後三時より同市場に於て各關係方面四百餘名を招待し盛大な開場式を行ふことになつた、因に市場定員は從來日本人五名、滿洲人二名、計七名であつたが今度はソレに日本人十四名、滿洲人六名、計二十名加はることゝなり大に市場機能の發揮に努めることゝなつた

市場組合組織

大連市中央卸賣市場の市營單一制實施に伴ひ從來の卸賣人は全部仲買人となつたがその仲買人等は屢々會合の上補償金の分配方法その他の殘務整理も完了したので今度は仲買人双互の親睦と福利增進を圖り市場機能の發達を計る目的を以て仲買人組合を組織したが今の處組合員は十名(日本人)滿部章太郎氏が組合長に就任した、尚滿洲人側仲買人も同一目的の下に別個の仲買人組合を組織の筈である

大連錢鈔市場の 投機抑制對策 (五)
證據金增徴を原則とせよ

最後に投機取引があまりに熱狂してくると往々相場を極端に動かすから何とか方法はなからうかといふことであれば充分考究の餘地があらう、つまり投機の抑制であつて大連錢鈔市場に對する内地方面の議論も具體的にせんじつめて問題になるものがあるとすれば、結局これより外になからうと記者は考へる

◇

一時的ではあるが衆愚が人氣により相場を作ることは往々あるもんで、誰が見てもひど過ぎると思はれる位、マバラが熱狂して相場を實勢以上に釣り上げたり引下げたりするのは危い、茲に取引の危險が釀され場合によつては取引所を窮地に陷いれることすらあるかくの如き傾向は日本爲替安たりリードする場合があるといふ見地からだけでなく、一般に健全な市場發達のため豫じめ警戒せねばならぬことはいふまでもない

◇

さて、この投機抑制の方策としては大連銀市場に於ても内地市場と同樣に結局一番無理がなくて一番效果的なのは相場が熱狂し又は熱狂を豫想される證據金をウント增徴するにある(信託會社は現行規程によると取引高一萬圓につき三千圓まで徴收出來る)それは亂暴な思惑を擊肘する取引所の定石であつて當然これに依るべきである、或は場合によつては官營取引所なるが故に、高値安値を豫じめ指定してその値巾においてのみ賣買を許すといふ方法、つまり門を入れることも奥地市場で先例も相當あるのだから出來ないことはなからう、然しそれよりは寧ろ取引人中比較的に取引高の多過ぎて危險を感ぜさせられる向に對して納を行はしめ以てその取引を擊肘するといふが如き方法を先に採るべきであらう、要するに證據金增徴により取引を抑へ熱狂人氣を冷靜に導くことを原則とするべきだと信ずる

◇

次に投機抑制に關聯して銀行方面の自制といふことを論ずる向もないでもない、なるほど銀行筋では大連と各地間乃至大連市場の定期現物間又は定期の近期遠期間につなぎ鞘取り稼ぎを相當行つてゐる、僅に年利一割以上に廻るからである、また大手筋に融通される資金にして投機資金に流用される場合もあらう、だから銀行方面では銀市場にあまりタッチせぬやう自制して欲しいといふ趣旨らしい

◇

ところで第一の鞘取りについていへば右の議論は的をはづれてゐる、なぜならそれは市場に殆ど惡い影響を與へず、寧ろ鞘取りの性質上、相場の調節をなす場合さへあるからだ、また鞘取りをして儲けるのに銀行だつて遠慮は要らぬ筈だ、例へ監督權ある官廳と雖も取締り得る性質のものではなからう、然るに第二の資金融通については左の見地に準ずる意味において多少考慮の餘地があらう、卽ち一般銀行方面に希望すべき最も賢明なことは證據金を著しく增徴しても依然として思惑に浮頭する比較的に資力のある投機者流に對しては仕方がないから、彼らが市場で銀を買ふべく銀行に金資融通を申出た場合——それは謂ふれば大體分る——銀行において融通を差控へるやうにして貰ふことである、それは無理がなくて効果がある、而も銀行の自衞上並に市場安全のため望ましいことであるから銀行で自發的にかくの如き方針を採ると共に官廳でも銀行の協力を期待してよからう

◇

最後にマバラ筋としても、いふまでもないことだが、相場大變動の際は特に冷靜を持すると共に、さなきだに大連銀高(金安)上海銀安(金高)の傾向があるのに大連銀が益々上鞘うてばアタラ大連マーチャントをして乘ぜしむることになることや、マバラの損切は出しつぱなしであるのに、その他のつなぎや實需筋はこつちに轉んでも土つかず、而も落着いてゐるのでマバラは持久戰に步が惡く、まかり間違へばひどい目にあうといふことを氣にとめて欲しい(終)

高率關税に 惱さるゝ華商
支那向貨物は杜絶狀態

上海海關に於ては去る十日附を以て安東及牛莊より到着し外國品と見做さるべき總ての貨物及大連より到着する總ての貨物は積換申告書又は保税申告書の有無に拘らず輸入税を徴收すべきことを告示し大連經由貨物に對しては徹底的に外國品としての報復關税を課する旨を明かにしたが、これによつて最も打撃を蒙つてゐるのは支那向滿洲特産物を取扱つてゐる大連及上海方面の支那側當業者であつて是等の貨物が輸入地に於ける從價の從價税を徴收さる結果、從前に比し何れも五、六倍の高率關税となり去る九月二十五日以來大連よりの支那向貨物は全く杜絶の姿に陥り今に至る迄何等打開の方法さへ講ぜられてゐない、元來滿洲特産物にとり支那本土は最も重要視すべき市場であり、就中豆油は全輸出額の七割、大豆は二割三分、豆粕二割七分となつて居り、而もその殆ど悉くが大連輸出であつた關係上支那側當業者の困惑は豫想以上であると觀られて居り、大連及上海、南支各地の支那側當業者が今後如何なる對策を執るかは最も重要視さるゝところであつて延いては大連油房業の盛衰に關することとて非常な關心を持たれてゐる

歐洲轉向運賃 引下げ要求

大連より到着する總ての貨物に對し支那側が輸入税を徴收する結果は別項の如く支那本土を最も重要なる市場とする特産物の取引に異常の打撃を與へ九月下旬以來輸出の杜絶を見て居り就中全輸出額の七割を支那向とする豆油の販路打開策については油房側も輸出商側も共に腐心するところであるが輸出不振に伴ふ滯貨の激增及これによつて生ずる市價の低落が豫期されるので歐洲筋との引合成立の傾向が濃厚となつて居る、然るに一方運賃率を見るに昨年上半迄四十志であつた豆油運賃率はイギリスの金本位離脱による磅爲替の低落のため同十月中旬四十四志に引上げられたが同十二月に於ては豆油取引には何等の變動なく、而も磅價の恢復をみたに拘らず更に四志方引上げ四十八志となつて居り、不自然に高率運賃が維持されてゐるので荷主方面に於ては豆油の對歐取引を復活せしむるには市價の低下も勿論必要だが、船運賃の引下げが先決問題であるとして、歐航同盟側に對しその引下げを要望してゐる

借入金低利借換 順調に進捗
北鮮航路は將來有望
大汽増田專務の歸來談

借入金の借換及日滿航路の改善に資すべき要務を帶び先月上旬以來東上中であつた大汽專務增田義勇氏は二十日海路歸連したが左の如く語る

借入金一千三百萬圓の低利借換については主として滿鐵東京支社に於て盡力して頂いたので、都合よく運んだ、大汽としては高利による借入金の利拂ひに困窮してゐるので、この際速かに低利に借換へることが必要であつた、從つて今回東上の主たる要務も右低利借換にあつたが、從來二錢のものが今回は一錢一厘見當に借換へることが出來た次第だ、内地財界の景氣もその曙光を見出した結果海運界も漸次活氣つきつゝあることは事實である、昨日も申上げたやうに羅津から門司を經由阪神地方へ貨物船を廻したいと思つてゐるが、これは甚だ有利だと考へる、その理由はこれまで裏日本への北滿貨物は浦鹽を經由したものだが吉會線が開通すれば自然貨物は北鮮へ流入するは明かであり、北滿油房生産の豆粕その他の穀類は同經路を辿ることになるう、然しながら何といつても裏日本は市場が狹いし、農産物の大市場は阪神を主として名古屋、橫濱方面でなければならぬから羅津から門司阪神を繋ぐ貨物船の配置は充分有利だと痛切に考へた次第だ、況んや北滿への輸入雜貨の捷徑なのだから採算の見込みさへつけばいつでも配船可能なわけである

各府縣出品 展示卽賣會盛況
廿二日關係者の懇談會開催

帝國農會門司販賣斡旋所主催、農林省並に各道府縣農會後援の内地農家生産品展示卽賣會は屢報の如く十九日より大連三越三階で開催初日は市中代表的商店並に關係者一般を招待内展示し二十日の日曜日より一般に公開、北は北海道青森より南は鹿兒島、沖繩各道府縣の農家の生産品並に副業製品郷土藝術品等各地方色に富んだお國自慢の出品物數千點が所狹き迄に會場に展示されて在滿邦人並に滿洲國人を迎へてゐた、公開第一日の二十日は日曜と快晴に入場者殺到し入場者五千餘名といふ盛況ぶりを示し翌廿一日も引續き婦人連の入場夥しく場内は非常な雜沓を極めてゐる、右展示會は二十三日まで續開され引續き奉天、新京、ハルビンの各地で一般職人に展示される筈である、尚同一行は二十二日午後五時より三越に於て當地各當業者並に關係者を招待懇談會を開き内地農産品の滿洲進出に關し腹臟なき意見の交換を遂げると

社外貸出貨車 回收良好

滿鐵々道部の貸出貨車回收成績はその後順調に進捗し最多數の貸出を見てゐる四洮、洮昂、齊克線について見れば十一月一日現在一、五〇一車の貸出を見てゐたものが廿日現在では一、二三五車に減じ卽ち二百六十六車の回收を見た

内地麥粉 輸入激增豫想

滿洲國成立後滿洲へ輸入する内地産麥粉は漸次增加の傾向を示し從來の輸入數量は年額約三百六十萬袋程度であつたが將來は少くも一千萬袋に達するだらうと豫想されてゐる、現在相場は原料高と銀高關係で一袋に付十錢高を唱へてゐる【安東】

黄塵

◇…滿洲の治安維持に伴つて文化施設の先驅を承る電氣事業が、昨今滿洲國政府當局や、南滿の電氣業者主體たる滿電の當事者によつて着々計畫されその中滿洲國の分は大阪筋の某電機メーカーへ發電機の見積りを發したとさへ傳へられてゐる

◇…風聞によると、滿洲國の分は吉林省方面の水利で容量五萬キロの發電所を建設し、十五萬四千ボルトの電壓で新京方面一帶に送電の計畫であり、滿電の方は事變後著るしく擴張した南滿方面の需要增に應ずる爲めこれ又出力五萬キロの火力發電所を新設するにあるらしいが。

◇…この二つの計畫實現によつて地方住民と産業開發にどれだけの潤澤を與へるか知れない近頃氣持ちのよい話ではある。

市況 (廿一日)

特産
邦商の賣に 大豆軟調

今朝の定期は大豆は邦商の賣に軟調を辿り豆粕、豆油は相伴ひて軟弱を示し高粱は邦商の賣物多く軟調を呈した

◇定期前場 (銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五一〇〇	五一〇〇	五〇八〇	五〇八〇
十二月末	五一三〇	五一三〇	五一一〇	五一一〇
一月末	五一六〇	五一六〇	五一四〇	五一四〇
二月末	五二一〇	五二一〇	五二〇〇	五二〇〇
三月末	五二八〇	五二八〇	五二六〇	五二七〇

出來高 二百車

▲豆粕(軟調)單位厘 普通大豆出來不申

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一六四〇	一六四〇	一六四〇	一六四〇
二月限	一六五〇	一六五〇	一六五〇	一六五〇
三月限	一六六五	一六六五	一六六五	一六六五

出來高 三萬一千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一四二五	一四二五	一四二五	一四二五

出來高 一千五百箱

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	二四八〇	二四八〇	二四八〇	二四八〇
二月末	二五七〇	二五七〇	二五七〇	二五七〇
三月末	二六八〇	二六八〇	二六八〇	二六八〇

出來高 二十車

▲包米 出來不申

◇現物前場 (銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	五一一〇	五一〇〇
出來高	六十車	
普通(袋物)大豆(裸物)	五一〇〇	五〇七〇
出來高	二十車	
豆粕	一六三〇	一六二五
出來高	二萬五千枚	
豆油	一四二五	一四二〇
出來高	一千箱	
高粱(上もの)	二四七〇	二四七〇
出來高	一車	
包・米	二九〇〇	二九〇〇
出來高	一車	

定期喰合高 (十九日帳入)

		前日對比較△印減
大豆	五三八一車	八八車
高粱	八七四車	△四車
豆粕	九六八千枚	一四六千枚
豆油	七八〇百箱	四〇百箱

錢鈔
爲替睨り 當市大巾保合

今朝日米爲替第一回八分の一高の二十弗四分の一、第二回同事、米日七仙高の二十弗二十五仙を入れしも當市大巾保合に終り人氣相當強し、銀塊は倫敦十六分の一安、紐育同事、孟買十六分の五安にて標金强保合、滙申七十三兩九五〇、滙烟七十一兩八五〇、大洋九十八圓七十錢

◇定期前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	一〇九二五	一一〇三〇	一〇八〇〇	一〇九〇〇
遠期	一〇九四〇	一一〇四〇	一〇九一〇	一〇九三〇

出來高 (近期七百八萬圓 遠期一千百七十九萬圓)

◇現物前場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一〇九〇〇	一一九二〇	一一〇〇
十時	—	一一九一〇	—
十一時	一〇九二五	一一九八〇	一一八一〇
十二時	一〇九〇〇	一一九六五	一一八三〇

出來高 (銀對金十八萬六千圓 銀對洋五萬六千圓)

株式
内地株低落 當市軟調

休日明けの北濱定期の前場寄は大株一圓九十錢安、大新二圓十錢安、鐘紡二圓六十錢安、鐘新二圓四十錢安と低落し引は大株九十錢安、大新七十錢安、鐘紡三十錢安、鐘新十錢安と下押し東京短期の東新は百七十七圓臺と續落を入れ當市もこれにつれて五品定期延共三、五十錢安を初め諸株軟調を辿り東新は二圓二十安に引け商内閑散

◇定期前場

銘柄	當限	先限
新豆 (寄)	二五五	二五二
新豆 (引)	二五五	二五二
五品 (寄)	二六六	二六五
五品 (中)	二六一	二六五
五品 (引)	二六二	二六五

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
錢鈔	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
永新	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇
大新	一七〇	一七〇	一七〇	一七〇
東新	一七五	一七五	一七五	一七五
鐘新	二一五	二一五	二一五	二一五
滿鐵新	四〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇

株式出來高(十九日) 定期 二、九九〇枚 延 二、三八〇枚 羅 三六〇枚

銀

今朝日米は第一二回とも二十弗四分の一高で休日前止値より八分の一高だつた▲米日も七仙高、銀塊標金にしてもやゝ弱材料だつた▲從つて當市一般に小緩んだが高値は相當強く十圓臺に乘せた▲聯盟總會も愈々けふより開かれるし大したことはなからうと思はれるものゝ▲問題が問題さて相場にさつては相當强材料が提供されるかも知れぬと見込むのは無理からぬ▲人氣と相俟つて目先き強しと見る向が多いやうだ

株

株一圓九十錢安、大新二圓十錢安、鐘紡二圓六十錢安、大けさの北濱市場は大株一圓九十錢安、大新二圓十錢安、鐘紡二圓六十錢安、新二圓十錢安と休日前に引續き崩れ引は更に大新九十錢安外一齊續落を報じ▲東京短期の東新は十錢高と寄つたが氣配弱く當市の五品三五十錢安を首め一齊軟調を辿つた▲連日好調を持續してゐた株式市場も前週土曜から下り坂に向つた、國際聯盟もいよく今日から始まるにつけて帝國の決意も固くどうせ一紛糾は免れざるところ▲株界も一時的にせよ頭重いものと見なければなるまい

糸

米棉の産地情報に依れば市況は初め南部筋の繋ぎ賣りと強氣筋の肩すかしで軟弱であつたが其後空賣屋の買ひ埋めで稍見直した▲現物十仙安、先物近期九仙安、遠期十一仙安と續落、米日同事乍ら▲三品は寄り軟調乍ら引けは當限二圓高と反撥、先限は二十錢乃至一圓六十錢安と區々に引けた▲内地の纖維工業は爲替景氣で素晴らしい繁榮を現出してゐるがこの好況が何日まで續くか一時的の花火線香に終る懸念なきや否や

豆

けさ大豆は三泰瓜店日清系邦商の賣に軟弱を辿り▲豆粕は邦商及南支筋の買物あつたが大豆安に從ひ豆油と共に軟調を示し高粱もまた三井三菱の賣で軟調▲硫安の暴騰に業を煮やした帝國農會邊りでは不當に高價な硫安は購入せずといひ▲これがため豆粕の引合は漸次恢復し大豆穀類等弗々内地景氣の上向きと共に商談があるやうだ▲株價の昂騰で豆信今期の業績は有價證券償却の必要がなくなり繰越金もあつて多少は增配も出來るらしい

商品
麻袋保合 綿糸區々

●麻袋 産地情報鐵同事、靑四分の一安、日印爲替二分の一安、米日不變地場鈔票保合當市は鼓動機待の風情にて氣配さ保合商狀である現物四十四錢五厘、當限四十四錢、十二月四十三錢五厘、一月四十錢、二月三十九錢五厘、三月三十九錢、四月三十九錢見當

銘柄	約定期	約定値段	枚數
鐵筋	十一月限	四四八〇	二〇
同	十二月限	四三五〇	二〇
同	一月限	四〇五〇	一〇

出來高 五萬枚

●綿糸 米棉現物十安、先限九乃至十一ポイント安、米日不變、大阪三品は當限八十錢安、先限二圓摑み安と低落に寄付き引けは當限二圓高なるさ先限二十錢乃至一圓六十錢安と區々に引けた當市は氣乘薄である

銘柄	約定期	約定値段	梱數
福助	三月限	二〇四〇	一〇
同	四月限	二〇二三〇	一〇

出來高 四十梱

爲替相場

上海標金 運着

鮮銀

倫敦向電信(一圓)	一志三片三分一
紐育向電信(金百圓)	二〇弗〇分〇
上海向電信(同)	六〇兩〇〇
同 賣(銀百圓)	七三兩八〇
日本向電信(同)	一〇八圓〇〇
同 五日拂貿(同)	一一〇圓〇〇

奥地市況

錢鈔

奉天(奉票) 現物	五一〇〇	—
奉天 先物	一〇八八〇	一〇八八〇
大洋票 現物 先物	九一一〇	九一二〇
開原(大洋) 當限 先限	一〇九一〇〇	一〇九一一〇
安東 鎭平銀 當限 先限	一一三〇九 一一三三	—
哈爾濱(大洋) 現物	八九〇〇	八九〇〇

特産

▲大豆

	寄値	大引
哈爾濱 十一月限	一〇四〇	一〇一〇〇
同 十二月限	一〇四〇	一〇四〇
同 一月限	一〇四〇	一〇四〇

▲小麥

	寄値	大引
哈爾濱 十一月限	一四一〇〇	一四一〇〇
同 十二月限	一四二〇〇	一四二〇〇
同 一月限	一四二〇〇	一四二〇〇

各地特産發送高

	▲開原	▲公主嶺	▲四平街	▲新京
大豆	六車	二車	九〇車	一八八車
高粱	二車	二〇車	—	—
豆粕	—	—	—	一五車
雜穀	六車	五車	四車	四七車

市場電報 (廿一日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一八片十六分一
同 先物	一八片八分一
紐育銀塊	二六仙四分三
孟買銀塊	—
スチール	三六弗四分三
アナコンダ	九弗八分五
英米爲替	三弗二六仙十六分十五
米日爲替	二〇弗二五仙
米支爲替	二九弗八分五

神戸日米

第一回	二〇弗四分一
第二回	二〇弗四分一
第三回	二〇弗四分一

棉花 ●米棉

現物	六仙三五
十二月	六仙二二
一月	六仙一九
三月	六仙二九
五月	六仙四〇
七月	六仙四八
十月	六仙六二

●印棉

ベンゴール	—
ブローチ	—
オムラ	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	八二三〇	八一四〇
大新	六七九〇	六八一〇
鐘紡	二二八九〇	二二八〇〇
鐘新	一一〇一〇	一〇九九〇
日糖	七一九〇	—
郵船	四七〇〇	—
滿鐵	五六九〇	—
東株	—	—
東新	一七八四〇	一七八一〇
(短期)大新 寄値	六七四〇	一七七二〇
引値	六八〇〇	一七六九〇
高値	六八〇〇	一七六九〇
安値	六七九〇	一七七四〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
鐘新 寄値	一一〇〇〇	五七四〇
引値	一一〇八〇	五七三〇
高値	一一〇八〇	五七四〇
安値	一〇九六〇	五七一〇

	東新	五品 當/中/先	豆新 當/中/先
前場寄	一七六〇〇	二三四〇〇 二三三〇〇 二三〇〇〇	二四八〇 二四五〇 二四四〇
前場引	一七六〇〇	二三四〇〇 — 二三〇〇〇	二三四〇〇 二三七〇 二三〇〇

(短期)東新 滿鐵新: 寄値 一七七九〇 四〇九〇／引値 一七六八〇 四〇〇〇／高値 一七九〇〇 四一〇〇／安値 一七七〇〇 四〇九〇

▲爲替及受渡日步

	爲替	受渡	代引代渡	日步
五品	二六〇	二六〇	二五九	二五九
新豆	—	二五七	二五六	—
大新	一七〇	一七五	一七五	一七七
東新	一七五	一七五	一七五	一七五
鐘新	一一五	一一五	一一五	一一五
五品	二六〇	三〇	〇	三
新豆	二六〇	一二〇	—	無

滿鐵株

東短前場	
滿鐵新株	四十圓九十錢
大阪現物	
滿鐵舊株	五七圓三十錢

合計	五、七三〇枚
早受	一一〇枚
金額	二、八二五圓
早渡	二、四四〇枚
金額	五七、二二〇圓

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二三八九	二三八四
中限	二三三七	二三三〇
先限	二三九〇	二三八七

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二三〇一	二三〇五
中限	二三三〇	二三三一
先限	二三八五	二三九一

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二三九七	二三九一
中限	二三三〇	二三三七

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
十一月	二〇三〇〇	二〇三〇〇
十二月	二〇六〇	二〇六〇
一月	二〇四〇〇	二〇四〇〇
二月	二〇三五〇	二〇三五〇
三月	二〇二一〇	二〇二一〇
四月	二〇二〇〇	二〇二〇〇
五月	二〇一九〇	二〇一四〇
先限	二〇〇〇	二〇九〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	五二五	五二七
先限	五四八五	五四九五

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十一月	九五〇〇	九五三〇
十二月	九五〇〇	九五七〇
一月	九五三〇	九四四〇
二月	九五三〇	九五六〇
三月	九五三〇	九五六〇
四月	九六六〇	九四〇〇

印度麻袋

鐵筋直積	一六留比八分七
靑筋直積	一九留比四分三
爲替相場	八二留比三分一

大連埠頭到着高

大豆	二六三車
高粱	八車
豆粕	九車
雜穀	三七車

(日刊) 滿洲日報 (明治四十八年十二月十五日第三種郵便物認可) 昭和七年十一月二十二日 (火曜日) 第九千五百五十一號 (一)

『滿洲』を檢討する國際聯盟理事會開く

『眞實は唯一つ』の信念

意見書に基く 松岡全權の演說

【ジユネーヴ二十一日發】報告書檢討の聯盟第六十九理事會は聯盟退くか日本退くか世界の視聽を集めて二十一日午前十一時廿一分(日本時間午後七時二十一分)開會された、相變らず曇天で湖水は薄霧漂ひ黑褶の如き風景を見せてゐる、議場たる事務局硝子間の一段高き馬蹄型のテーブルには議長デ・ヴアレラ氏中椅子に座しドラモンド事務總長その右に座し議長を援く、この二人の左にボンクールアロイジ男(伊)フオン・ノイラート男(下)右側にサイモン英外相松岡代表並び非常任理事國九國代表は馬蹄の兩端に近く十字に流れ支那側は顧維鈞を代表とし顏惠慶輔佐役として控へた、側近者は二名を增し六名を置く、松岡代表は長岡大使に導かれ各國代表と握手を交し入場、全部揃ふや非公開會議が開かれ議事日程の承認、事務局關係の人事その他の事務事項の承認が濟み議長公開を宣するや守衞開扉し待ち兼ねた記者團傍聽者が入場し忽ち壽司詰滿員となつた、かくて議長は滿洲問題討議を宣し松岡代表の演說に移つた

松岡全權の演說大要

【ジユネーヴ二十一日發】デ・ヴアレラ議長の開會の辭に引續き議長は松岡代表を招く、松岡代表は悠々迫らず滿場固唾を呑む裡に期待された趣旨の演說は開始された大要左の如し

日本代表部はリツトン報告書に關し日本政府が適當と認むる意見書を理事會の前に提出してゐたが我等は報告書を以て記述的文章にして事件の推移に就き價値ある描寫を提供せるものと思惟する、而して報告書には日本が完全に同意し得る部分的又は全體的個所も存する我等は調査團がなしたる仕事に感謝するが支那の狀態に對し同調査團の有する樂觀的意見に同意し能はざるを遺憾とす、我等の見解を以てせば

支那の狀態は華府會議以來改善せられたりといふより寧ろ惡化したりと思惟す、我等は支那の地に過去三十年間に亘つて駐屯しつゝある外國軍隊の存在せる事實を指摘せんとす蓋し諸列強の承認せる支那政府に對する公使の派遣に引續き、直ちにその後へ公使の生命安全のため軍隊或は艦を送つた事實に顧み外國軍の駐在は決して異常な狀態でない、又余は國民黨の過激思想特にボイコット、學校に於ける排外プロパガンダに言及し列強が

國策遂行の手段としての戰爭を否定したが國策遂行の手段としてのボイコットを否定せんことを提議するものなり而して日本は寬容な態度を示したるがため諸列強中最も損害を蒙つたものであつて遂にボイコットは惡化し敵對行爲まで進展した、日本は支那に對し敵意惡意は全く無い、而して

日本政府は支那の民衆に非常に誤まられ恐怖に囚へられ又非常に誤り傳へられてゐるものと信ずる、次に滿洲の狀態を見るに張作霖や張學良治下特に國民黨便乘の下に滿洲の日本の權利を回收せんとする運動の下に於けるが如き狀態に立至るまで排外運動を許容したことはなかつた、非常に彈力性を有する日本人の忍耐も無限に伸長するを得るものでない、千九百三十一年九月十八日事件は餘りに張り過ぎたバンドが一片の藥のため破られたるに過ぎぬ、報告書は九月十八日の鐵道爆破事件の損害は軍事行動を正當化するに充分ならずと稱してゐるが、成る程事件その物は些々なるものたるも報告書は

事件の背景をなす重大事態に關し充分なる記述をしてゐない、卽ち日本軍隊は危險な事態に鑑み必然的に萬一の時の計畫を立てゝ居らればならなかつたもので事件當時の事態に鑑み當然危急の措置が執られたものである、國家自衞權に關する不戰條約提案者ケロッグ氏のアメリカ上院に宛てた所感、英國のチエンバーレン氏の所感フランスの聲明書は不戰條約が領土上の

主權の制限を越えても自衞權を行使し得ることを容認した事を證明してゐる、日本が滿洲問題を聯盟に訴へざりしは次の理由である、卽ち

一、**日本の國民的感情は滿洲問題に對し外國からの容喙を許さない**

二、若し聯盟に問題を提起し居る時は聯盟の煩瑣な手續のため荏苒時を過し滿洲に於ける日本の地位は深刻に脅へされるに至るであらうと思惟した

三、**日本人と西洋人の心理的差違に基くものであるから日本人は恐らく餘りに氣長く問題解決の希望を有するものでない**

四、しかも破壞點の豫期せざる時に來るや事件はたゞ自然的進路を辿つたに過ぎない日本は滿洲が完全な支那領土の一部なりとの調査團の主張は同意せぬが滿洲の現狀回復不可能とした點は同意す、滿洲國を存立せしむる以前の解決策が極東の全事態を重大な無秩序に陷らしめ

滿洲國民間に存する滿洲國政府信賴の念に動搖を來さしめ延いては支那から策動を助長し混亂無秩序の狀態を現出すべきことは明かでかくの如きは我等の全然考慮し得ざるところである、**報告書は滿洲國が日本の發意に依つて建設された如く述べてゐるが日本を誣ふるも甚だしきものである**、保境安民の叫びは數十年來滿洲に起つたものであつて、たゞ東洋に於けるこれ等運動の底の流れを察知することが西洋人に取つては困難であつたことは余も認める、時の日本外相幣原男、陸相南大將が九月二十六日滿蒙の

出先官憲に向つてその時既に滿洲に於て新政治組織建設のためになされつゝあつた各種の企圖に日本官吏はその文武官を問はず參與することを禁ずる旨を打電した事實を指摘せんと欲する、**余は調査團が滿洲官憲の言よりも學良一味の言を受容れるに偏したことを遺憾とする**、而して

滿洲の匪賊……

滿洲代表……

わが斷乎たる態度に大國代表對策を協議

重要なる論議の中心點

【ジユネーヴ廿日發】松岡代表との私的會談で豫想外に日本の決意の固きた知り本日午後四時我意見書發表で更に日本の一本槍的な斷乎たる態度を明瞭に悟つた結果、聯盟主要國代表等は廿一日理事會を前にして眞劍なる對策の協議にかゝり、廿日は日曜なるに拘らずドラモンド總長とサイモン、デヴアレラ、ボンクール、デヴイス、杉村氏等參集、會談が行はれた、論議の中心點は

一、聯盟の體面を損せざる程度に日本の主張を容れ日本の脫退を防ぐ

一、日本の輿論の冷却を俟つて徐ろに策を樹つべしとする遷延論

一、實質的に飽迄日本を押へんとする積極論であるが具體的手段の有力なるのは

一、英米佛の介入を條件として日支直接交涉に移さんとするの

一、一ケ年を限度として問題の審議を延期する

一、問題を聯盟より切り離し九國會議に移す

日本對聯盟の關係俄然緊張し來る

審議の根本方針對立

【東京二十一日發】理事會開會を前にしてジユネーヴ代表部から外務省に刻々その情勢を報告して來てゐるが、それによると日支紛爭を總會及理事會で審議すべしとの我主張と、問題を全部一括して臨時總會に移さんとする聯盟側多數の態度とが相對立し理事會開會を前に早くも日本對聯盟の關係俄然緊張するに至つた模樣である、我國としては本問題は聯盟規約第十一條に依る理事會で大體の意見を作るべしと爲し、聯盟側大國も之を支持してゐるが、大多數は既に支那の要求により聯盟規約十五條に依る總會で取扱ふべしだとし、大勢は之に傾き居るもの、如くである、我方は總會での討議を敢て恐れざるも滿洲問題は理事會が取扱つて來たもので、徒らに論議するよりも問題の實際的解決を圖るが世界平和のため盡すのが聯盟の本質なるに鑑みこの點飽く迄主張すべく理事會秘密會でも充分努力する筈だが、理事會中心主義と總會主義との對立は開會劈頭、日本對聯盟の間に猛烈なる論爭を展開するに至る形勢である

第二回會議まで數日休會か

第一日議事は三時間に亙らん

【ジユネーヴ二十一日發】理事會の開會は愈々今朝十一時と最初秘密會議とし先づ議事事務局內の人事問題を議了し少くもこれに二十分間要し議が始まるのは早くも十一時となる見込である、而して議實質審議すべく松岡代表から着席し居りデ・バレラ指名を俟つて第一聲を揚げるが、これは正午前後と定である、なほ理事會第一順序大體左の通りである

一、議長開會の挨拶……

陸相晚餐會

張景惠氏招待

【東京二十一日發】荒木陸相は二十一日午後六時から官邸に張景惠氏一行を招待して歡迎晚餐會を開き、陸軍側から首腦部四十餘名出席日滿陸軍交驩した

……狀態を經續するか、余は理事會に對し少しく忍耐を希望したい、西歐諸國にして彼等が支那に示した寬容の幾分の一を我に示せば我に依つて

感謝の意を以て迎へられるであらう、**我等は戰爭を欲せず領土をも欲するに非ず我は侵略者でない**、我等は深甚熱心の幸福を希求す最後に余は調査團諸氏に感謝の意を表す

午後再開

支那代表演說

【ジユネーヴ二十一日發】聯盟理事會は松岡代表の演說終るや午後零時三十二分一旦休憩したが午後四時(日本時間廿二日午前零時)再開支那代表顧維鈞の演說ある筈

議長の挨拶

【ジユネーヴ二十一日發】各國代表出揃ふや全員の寫眞を撮り議長米學者ハウラン氏に對する最近不慮の死を遂げた起つて先づ弔意を表する弔意を捧げた後滿洲問題討議を宣すると共に左の挨拶を述べた

余は理事會を代表して調査團に謝意を述べる、報告書は全會一致提案されたものである余は委員會組織に當り遲延した事を遺憾とす將來宜しく聯盟は遲延せず速かに行動せん事を望むとして昨年理事會が採つた議事方法を批評し今回の總會が日本の反對あつても報告書討議の適正なる意……

各國代表顏觸

【ジユネーヴ二十日發】第六十九回理事會の各國正式代表は左の如く決定二十一日の理事會に出席する

▲常任理事國
日本 松岡、長岡
英國 サイモン外相
フランス ボンクール陸相
獨逸 ノイラート外相
伊太利 アロイジシ

▲非常任理事國
支那 顧維鈞、顏惠慶
スペイン グルエタ外相、ガテ
ヒラマース前外相
メキシコ バニシ
パナマ ガレー前外相
ポーランド ベツク外相
チエツコ ベネシユ外相
アイルランド デヴアレラ首相

國府外交部緊張

代表部に刻々訓電

【南京二十一日發】國民政府外交部は理事會開會を前にジユネーヴ代表と打合せのため俄然緊張を呈してゐるが、宋子文、羅文幹を中心として組織されてゐる外交委員會は本日から毎日午後一定時間開會、代表部に刻々訓電を發するに決定した

リツトン卿

全世界に放送

【ジユネーヴ二十日發】リツトン卿は對米放送後午後十一時全世界に放送演說をなしたが特に日本新聞は報告書を不公平なるものとなすがその非難は當らぬ我等は日支兩國に同樣の同情を以て當り現地に於ける事實を基礎とせるものである而して新國家の組織に關する證據は主として之を日本側より取得せるものである と強調した

我代表部の重要會議

松岡代表再び對日放送

【東京二十一日發】廿一日午前の松岡代表の對日放送は成功したが本日午後四時二十分より五十分迄同樣ジユネーヴから理事會についての國際放送をなすことゝなつた右は廿五日迄繼續される

莊重な演說姿をトーキーに撮る

草稿完成の松岡代表

【ジユネーヴ二十日發】松岡代表は明日理事會劈頭、帝國政府の牢固たる決意を中外に闡明するため行ふ演說草案につき十九日東京政府から承認の回答を得たので、松岡代表一人で更に草稿に琢磨を加へ正午滿足を以て之を完成し、午後は最後の代表會議を開いた、夕刻パテー映畫會社がこの一體世界外交界の大立物となつた氏をトーキーに撮影に來たのでジエスチユアーよろしく例の莊重な演說をしながらフイルムに收まつた

日英同盟が現存せば

ブ博士の所見

【ロンドン二十一日發】……

長江に發電所建設計畫

滿洲の治安は順調に進捗

內地の國論統一は喜ばしい

小磯關東軍參謀長談

府中令を置く

執政府內改制

吉林の上空から林區を視察

滿鐵農務課 三隅秀雄氏談

內務省土木繼續費問題

健康週間 若さ明るさ健かさ

第一回水災賑濟彩票中獎號碼

滿洲國財政部

社說 我政府の意見書 報告書を補正して餘蘊なし

リットン報告書に對する我帝國政府の意見書は去る十八日國際聯盟に提出され、二十一日午前零時東京に於て發表された。其要領は本紙號外の記錄する所である。緖論以下五章を以て成り、丁寧にリットン報告書の不當の點を摘示してある。卽ち第一章は支那全體に關するもので先づ支那の現狀が統一的組織ある國家と見做すべからざる所以を陳べてゐる。元來リ報告書には、或場合には支那は統一的組織ある國家でないといふのを非難しながら、一方では支那の立て直しが必要で、しかも列國の援助(干涉)が必要だと說いてゐる頗る前後矛盾したものである。次に我意見書には支那の排外運動はボイコットと排外教育によつて行はれてゐることを陳べ、其の實相に關しても、其根本たる國民黨の思想に關しても、リ報告書の認識は不徹底であることを指摘した。實際ボイコット殊に日本に對するそれは、普通教育に於ける反日教科書と相須ちて、永久に日本を敵視し、日本を亡さずんば已まずと爲すもので、一時的の反省を求める爲めの經濟的又は軍事的打擊以上のもので、云ふまでもなく、戰爭の原因となる可きものである。然るに日本はそれすら辛棒した……

◇

第二章は、滿洲に關するものであるが、……

◇

第三章は、日本の軍事行動に關するもので、報告書は日本の自衞を否認してゐるのであつて報告書中の實に重大な誤謬である。意見の當不當は時に已むを得ざる場合もある。又事實の誤謬は之れを事實によりて訂正し得る。只斯くの如き臆斷により日本國家の行爲に惡名を被らせんとするものは斷じて許容す可きにあらず。吾人は此處に贅言を挾むの餘地なし。

◇

第四章は新國家に關するもので、之れに關しても報告書は重大な謬見を掲げてゐる。一は日本が無理に新國家を作成したといふ如き口吻を用ゐること、一は新國家の前途を悲觀する口吻を漏らすことである。新國家は日本の軍事行動が張政權を粉碎した爲めに生じたのである。隨つて日本軍隊が居た爲めに出來たのだとは云ひ得るが、それは日本が國家を作つたことにはならぬ。軍閥を離れた民衆の國家を作りたい氣分は支那全土にある。敢て滿洲に限つたわけではない。偶々滿洲で軍閥勢力が驅逐されたので民衆政權が樹立されたのである。何かの都合で、現在の支那本部の何處かの地方に、軍閥勢力が驅逐されたと假定せよ。そこには必ず民衆的政府が出來るに相違なく、それは必ず王道を立國の精神と爲すものに相違ない。滿洲に新國家が出來たのは日本が助けたとか助けぬとかの問題に由るにあらずして、もつと〳〵深い根底があるのだ。リットン報告書の作者は此事情を認識しないから、極めて淺薄な觀察によりて臆斷を下して憚らないのだ。又滿洲國の新政は着々其緖に就きつゝある。之れを其初めに當りて充分の觀察をも加へずして悲觀の結論を下すは、妄斷も甚しといふ可く、寧ろ惡意的感情に馳せたるの嫌みなしとせぬ。

◇

第五章は結論である。報告書が、滿洲を原狀に回復するは到底出來ないことだと斷じてゐるのは尤もだが、現在の滿洲國をも承認することが出來ぬといふのに對して反駁を加へ、寧ろ滿洲國を列國が承認するにあらざれば東洋の平和は保つことは出來ない。之れこそ唯一の滿洲問題解決法だと論斷してゐる。故に日本が率先して滿洲國を承認したのであつて、支那も歐米列國も我れに倣ふことが東洋平和の唯一最善方法だと說くのである。

◇

以上は我政府意見書の大要で詳細は此處に引用する必要もない。而して其大部分は從來、我官民の時に應じ折りに觸れて論議し盡したもので、吾人も亦屢々論及した所のものであるが、今度國際聯盟にリットン報告書の討議さるゝに當りて、取り纏めて帝國の意見を提出したのである。元來調查團は去年十二月十日の理事會の決議によりて組織されたもので、その當時の事情に卽する解決法を作る目的であつた。その後本年三月一日には新國家成り、九月十五日には日滿議定書の交換あり、事實は流轉進步して已まず。此轉變を無視して作成された報告書が、既に時世後れなるは聯盟中にありても感知する人が尠しとはないであらう。且つ一年間の硏究の結果東洋の事情を深く察知し得た人もあるだらう。又歐洲の事情、歐米間の關係も昨年よりは異なるものあり、かた〴〵リットン報告書に疑問を抱く各國代表も多からんと思はる。隨つて討議の際には、リットン報告書と立場を異にして、其の誤謬を補正せる我政府の意見書は代表者間に極めて重要視さるゝに相違ない。而して我代表部の活躍す可き地步は卽ち其處にある。

鞍山銑の內地移出 明年は五十萬噸か 近來稀に銑鋼界の好況

鞍山銑鐵の明年度內地への移出數量は例年の例により今年中に決定を見る筈であるが、鐵鋼界は近年稀に見る好況時代を現出してゐるので如何なる數量に落着くか注目されてゐる、しかして銑鐵は今夏銑鐵共販賣會社設立に際し各社の比率を協定し滿鐵は三八%を占めて第一位にあるが、明年も當然この比率による筈で從つて問題は共販會社の全販賣數量を如何に協定するかにある、これに對し一部業界には增產をしてこの好調に乘るべしとの議論もあるが、現在でもなほ相當のストックを擁し生產增加は直に價格低下を呼ぶ虞ありとして大多數は好まざるを以て恐らく今年度の總協定數量四十五萬噸より多少增加した五十萬噸邊に落着くものと見られてゐる、なほ滿鐵では本問題その他のため商事部銑鐵課計畫係主任岸一郞氏を內地に派遣、共販會社方面との折衝に當らせてゐたが、同主任は二十日歸任左のごとく語つた

東京滯在中に今度の銑鐵大暴騰が始まり三十五、六圓の呼値がつき一時賣止めする有樣に前途の見込みがつかず、從つて明年の販賣數量も共販會社自身が見當つかぬと言明する有樣で、從つてほとんどこの問題には觸れずに歸つて來た內地の鐵鋼界では眞實の好況時代が來たやうに見て非常な勢ひであるが我々生產者の立場からすればどうしても思惑から來た景氣のやうに見えた、しかし騰勢停止することを知らぬので遂に政府が頭を押へるに至つたが、三十八圓邊まで騰貴すれば印度銑も輸入さるべく又裁助金交附の理由もなくなるので自ら限界があり、現在の値段がまづ頂上と思はれる

上海から鮮人團 埠頭にて

山崎領事の手記 滿洲里事件經過日誌(三)

十月五日 當館貯藏の食料品追々缺乏を來し居留民各々の貯藏米も全部掠奪され且つ市中は白米拂底せるも彭副官の盡力により漸く小豆二十プール、白米三十三プール及び蔬菜類を購入し得たり 監獄に留置中の警察隊員全部に依賴食料品の差入れをなすべく司令部に交涉を開始す、領事館現金缺乏しソ聯領事に向け第二回の借款をなすべく司令部に交涉す、午後五時居留民宮本熊平の身柄を交涉し來る、宮本歸來により監獄に拘禁中の居留民數名の消息も明瞭となつたれば早速引渡し方を司令部に交涉す

十月六日 午前十時半ソ聯領事より當館訪問のため司令部の許可を受けつゝある旨電話ありたり、ソ聯、司令部との電話も本月一日以來司令部より監視者を出し一通話毎に司令部の許可を要し、加ふるに談話中監視者が任意に時々切斷し一通話の呼出より完濟するまでに二時間を要する拘束狀態に陷りたり 警察隊員の第一回差し入れ物としてタオル百五十筋、キヤラメル五箱、ちり紙三十枚を購入し

十月八日 吳司令に面會の督促、警察隊員にタオル、菓子、チリ紙の差入れをなす、吳司令より公文を以て本官會見の件は近來同司令は多忙のため餘裕なきにつき、必要事項を當館出張の彭副官を經て傳達せしめられたし、又當館內に銃器隱匿の風評專らなるにより梁中佐及び郭特區署長を派遣檢查し、一般商民の誤解を解きたき旨申込みたるを以て本官は直に應諾の旨回答を發したり、司令部より被拘禁中の在留邦人は取調べの上何分の回答をなすべき旨申越しありたり

十月九日 午前零時當館出張の彭副官が左腕に黑、赤、黃の腕章に救血救國の四文字を白布に記して縫ひつけ革命か復興かの意氣を示すかの如き態度なり、籠城日數加はるに伴ひ收容家屋の不完全なるため罹病者續出し百五十八名(內一名は十月四日出生)中十八名の患者出來たるも衞生材料缺乏し治療愈々困難となる、幸に警察隊員夫人中看護婦出身者二名あり、醫師の手助けとなること多大なり

十月十日 民國の記念日なるも市內は別段の催しなし、司令部にて將卒一同簡單なる祝賀式を舉行したる模樣なり、彭副官立會にて支那商人を當館に呼び、監獄拘禁中の警察隊員及び特警隊濱綏在監中の居留民などに對する全部に對する支那服、綿入れ上下百三十六着(一着大洋十一元六角)分を向ふ一週間に仕立て上ぐべくその見本一着は翌日提供すべく契約す本日司令部に對し文書にて居留民引揚げ承諾を督促す、ソ聯領事に對し第三回借款の申し込みをなす

十月十一日 本官の吳司令訪問に對し督促せるところ吳は近日不快なると家屋の修繕を口實にし兩三日中當館に訪問すべしとて態よく斷り來りたるを以て顧問書記生領事代理として吳司令を訪問すべきにつき都合問合せの書面を發す、本日彭副官を通じ全市の穀物店に對し白米の有無を調査したるも入手し難く、漸くウドン粉二十プードを購入し得た、本日午後よりソ聯領事に借款の督促をなす

十月十二日 領事館使用馬匹も事件發生以來露支兩國人共巡查より飼養せられたるも事務多忙と追々馬糧に缺乏を來したるため使用人は全部逃亡し本日まで石島以て吳司令に飼育方を依賴し馬匹も司令部に送附す、吳司令より顧問書記生訪問問合せに對し公私事務多忙にて餘暇なきにつき何れ近日中事務終了せし上會見日を豫じめ通知すべし云々と回答し再び面會を謝絕せり、ソ聯領事より哈大洋拂底につき略相當額の米金四百ドルを送附し來る、受領す、吳司令に對し當市拘禁中の居留民引渡方を書面にて督促す、逐日寒氣加はり收容者は寢具不足なるより羊草を買込み蒲團代用材料として取敢ず羊草百プード、粗布六匹の購入に着手す

十月十三日 午前中蒲團用の羊草三十五プード購入、冬期防寒手入れとして事務室及び各舍の銃眼のため破損せるところ修繕、調查をなす、午後ジヤイノールの小島留吉より居留民六名無事なる旨當館避難中の實子(小學生)に宛てたる名刺を司令部側より屆け來つた

滿鐵々道部職制 十二月中に發表 首腦部準備を急ぐ

滿鐵々道部營業擴張に伴ふ諸問題は過般村上理事等の新京行によつて決定を見、その後鐵道部內では各關係者參集最後の細部的問題を打合せてゐたが、今は重役會議で承認を求むべき二、三の問題を殘すのみになつたので、石原鐵道部所參事、穗積技師、佐々木秘書は重役會議で說明の村上理事に先立ち二十二日大連出帆のばいかる丸で出發、東京に直行することゝなつた、而して一行は二十六日朝東京着の筈で、一方村上理事は二十二日の重役會議を終り二十四日大連發の旅客機で上京東京で一行と落合ひ更に二十日以來滯京中の後宮大佐と協力各關係方面に說明を始めることゝなつた、なほ村上理事一行は大體十二月十日ごろ歸連の豫定であるが、石原參事のみは職制問題についての具體案作成を急ぐ關係上一行に先だち職制改正の說明を終り次第飛行機で歸連の筈で目下なほ最後的決定を見ない新設職制の人事については同參事が村上理事の意を受けて編成に着手、出來得る限り十二月中に發表し得るやう準備を急ぐことになつてゐる

滿鐵重役會議 硫安問題未決

滿鐵重役會議は二十一日午後一時五十分再開、林、八田正副總裁、村上、竹中、山崎各理事、斯波、水谷兩顧問及び各問題に應じて富永製鐵所次長、右近同庶務課長、穗積鐵道部技師等を交へ、硫安工場問題、鞍澤セメント工場問題、鐵道問題等を議し、午後四時十五分散會した、尙同日決定を見るものと思はれてゐた硫安工場問題は決定に至らず二十二日の定例會議に持越された

斯波滿鐵顧問 二三日中新京へ

滿鐵斯波顧問は重役會議における硫安問題の決定をまち、二、三日中に根橋技術局次長を伴ひ新京へ赴き關係筋に本問題を說明今後の方針についても打合せすることゝなつたが、兩氏は更に奉天における飛行機修繕工場をも視察の筈である、なほ斯波顧問は奧地出張後現在技術局にて調查中の諸種の問題について各關係者から詳細な說明を聞き東京における交涉の資料を集めることゝなつてをり、その上京期は十二月初旬と豫定されてゐる

東支鐵從業員の一割減俸を決定 商業部代辦所も一部廢止か

東支鐵道では長期に亘る東部線の不通に加へ、更に最近は匪賊の跳梁によつて西部線も不通となり歐亞連絡列車も杜絕して極度の收入減に遭遇し、かれて昭和八年度豫算決定について開催の理事會においても社員淘汰、社員減俸が議題に上されたが最近いよ〳〵應急手段として取敢ず從業員の一割減俸を決定したものゝ如く、更に經費節約上東支が情報、連絡、宣傳のために設置してゐる商業部代辦所のうち大連、奉天、營口の三箇所を廢止すべしとの說が東支局內滿洲國側理事の間に強硬に唱へらるゝに至つたがこの點に關してはソウエート側に強硬反對意見があり成行を注目されてゐる

滿蒙資源館 華々しく開館

【東京二十一日發】產業風土その他各方面からみた滿蒙を眞に紹介するため日比谷公園市政會館講堂內に常設された滿蒙資源館では廿一日午前十時から外相、陸相、拓相、林、井上各大將、鮑觀澄氏等日滿兩國名士九百餘名その他來賓多數の參會華々しく開館された

旅順 振興硏究會

在旅市民一部有志の間に唱へられてゐた旅順市政硏究會はその後着々協議の結果二十一日午前五時から食堂キムラに十數名の有志會合發會式を擧げ幹事に福永新七、西野菊次郎、森原陽三、澤豐太郞、萬代啓吉の五氏を擧げ常任幹事に西野、福永兩氏を推薦し名稱は「旅順振興硏究會」として將來年一回の總會を開催し、其他は必要に應じ會合を行ふ事と定め歡談の後散會したが因に會員は每月の會費不要なるも入會費として當初一回一圓を納める事と定めた尙同硏究會では來る二十七日乃木町旅順語學校に於て第一回總會を開催する筈である

奉山四洮兩線 經費節約

奉山鐵路及び四洮鐵路とも現在營業成績不良で收支償はず既に數回に亙つて人員整理、經費節減を行つてゐるが現在闞鐸氏が奉山、四洮鐵局長を兼任してゐるのを機會に四洮鐵路局を奉山鐵路局に合併して徹底的經費節約を圖るべく目下準備中である【奉天電話】

普蘭店港浮標

關東州普蘭店港は結氷期の近づくと共に從來の浮標を廿日より撤去しその代りとして圓柱浮標を同位置に冬期の間のみ設置することになつた、海務局では直に各方面に通達した

坂西中將天津へ向ふ

去る十八日來連以來ヤマトホテルに滯在中であつた貴族院議員坂西利八郞中將は二十一日午後一時大連埠頭出帆長平丸にて天津へ向つたが埠頭には目下來連中の奉天特務機關長板垣征四郞少將を始め多田駿少將、男裝の川島芳子孃その他多數の見送りがあつたが、坂西氏は語る

滿洲は他の人々も視察して步いてゐるので、今度は何處へも行かなかつた、これから天津北平を廻つて青島に出て、上海に渡り議會までに歸京するがどうせ行けば友人も多いから誰彼なしに會ふ、然し別に任務を持つてゐる譯ではないから衝突を濕める程度に過ぎない

西山財務局長活動

【東京特電廿一日發】西山關東廳財務局長は十九日上京、松崎經理課長と共に豫算問題につき拓務、大藏兩省に接觸し且つ低利資金融通問題についても引き續き大藏省當局に交涉、これが融資の一日も早からんことを期してゐる、なほ西山局長は年末か正月早々一應歸任し事務の打合せをなし更に通常議會に政府委員として臨むことになる豫定である

大觀小觀

松岡代表の第一放送「眞實と誠意は必ず通ると確信する」國民全部も此の確信全世界を敵にしてもビクともしないのは此の信念からだ▲リットン卿「報告書は日支兩國其他全部の支持を受けると確信してゐた」と云ふ▲隨分虫のよい確信といふ可し「日本で惡評を買つたのは意外だ」といふ、さればこそ認識不足▲日本ばかりでない、支那にも不滿がある、歐米にだつて其の矛盾偏見を指摘してゐる者がある▲何事にも先に出たがる支那、今度はバカに控へ目で、意見書も出さず日本のを見た上でとは、どうした風の吹き廻しやら▲國際聯盟諸國、我政府意見書を見て、今更ながら日本の一本槍的強硬態度に驚いたとは、どこまでも認識不足▲日本は事實に卽した正義一點張り、後にも前にも、右にも左にも動かぬ所を、始めからさらけ出してゐるのだ▲まさかの時は脫退といふのも、驅引だなどと夢にも思ふべからず▲滿洲國は謝外交總長の名で、此の事實を見よ、此の治績を見よと聯盟に呼びかけた、聯盟は前にはめくら、今度はつんぼになるか。

投書歡迎 五十行以內 中傷はさらす

路傍の不潔 瑞雪

◇滿洲の一大都市且又國際都市として誇る大連市に然も人通りの餘りに少くない電氣遊園下の電車道路に面した「小梯子行キ」崖の根元は多分支那人でせう、約十ケ所位每日同じ所に小便をたらすと見えてその部分だけ土が腐敗して惡臭を發散してをります。

◇殊にお天氣の良い日なんか蒸し返つてくるやうです、電園下を每日お通りになる人は御承知の方も多々有る事でせう、私はあの電氣遊園の崖の下を通る每に小便所の傍を通るやうな厭な感じが致します。

◇市役所の衞生課では糞芥から便所の汲取り迄市の衞生作業に御盡力なされて居ますのにその甲斐もないやうな氣が致します。

◇惡臭ばかりならばともかくも小便したのが通り迄流れ出て交通するのにどうも氣持が惡いです あの繁華な連鎖街の隣の電園下の不潔は眞に不快な感じを與へます、警察の御力でなんとかならないものでせうか。

讀書子の救濟を B讀書子

◇大連の書肆が定價五分增とすることには私も大に憤慨して居る一人である、然しいくら何をいつても彼等は自分の儲けばかり考へて居るから我々の言ふことには馬耳東風である。

◇こんな理窟を言つて爭つて居るよりは我等の間に不買同盟を作つて我々は一切彼等から買はないことにした方がいゝと思ふ。

◇何故滿鐵の消費組合とか文化協會がこれに乘り出して一般讀書子の救濟につとめないのであるか、我々讀書子は結束して橫暴な書肆に當るべきだらうと思ふ。

書肆とサービス 書肆憤慨生

◇大連の書肆の橫暴については私も大に憤慨して居る定價の五分增は勿論橫暴であるがその上店員の橫柄不禮なのにはいつも僕は憤慨して居る。

◇僕はいつでも我慢して買つて居る、これは店員がいつでも代つて居るからだ、またこれは店主が威張つて居るからだらうと思ふ。

◇もう少しサービスをよくしてもらひたいものだ。

辭令【東京二十一日發】

領事兼關東廳事務官　森島守人
任總領事(四)命哈爾濱在勤
關東廳警視　加藤庄七
兼任外務省警視(七)
關東廳警視兼外務省警視　靑木昇
免兼官

滿鐵辭令(十月一日附)

鄭家屯公所長心得　事務員　小島憲市
鄭家屯公所長を命ず
撫順炭礦經理課長心得　事務員　藤飯三郞右衞門
撫順炭礦經理課長を命ず

上海爲替情報

【上海二十一日發】各地銀弱含みのため標金高寄したるも外字新聞にアメリカの金銀兩本位說を傳へ高値買警戒の大連筋が利喰賣りに出でしため下押す外貨は滙豐砂賣り弗買ひ白耳義花旗は弗賣り圓買のクロス商內を盛んに行ひ砂は外商サッスンの輸入出廻り近物砂九片二分の一弗二片十六分の七賣手に始まり砂淺くなり砂九片八分の五弗二九片八分の五十二月物賣買出來値となる圓は大連筋の賣物に一月物六七%迄ありしも弗の振當に外銀買ひ消化されて跡六八%賣手保合

上海標金

寄値	七六〇兩八
高値	七六二兩
安値	七五六兩一
引値	七五七兩四

人事

▲殷桐聲氏(魯大公司重役) 廿一日入港奉天丸にて來連
▲大塚令三氏(滿鐵北平公所調查員) 二十一日午後一時出帆長平丸にて歸任
▲多田駿氏(陸軍少將關東軍顧問) 二十一日午後四時半發列車で新京へ
▲常野富二氏(東京大倉組社員) 二十一日午後七時五十分着列車で來連
▲川島芳子孃 同上
▲河本大作氏(滿鐵理事) 二十一日午後七時五十分着特急「鳩」で奉天から歸連

市況(二十日)

株式 內地株小反撥 當市强保合

內地株後場小反撥を入れて當市の定期十錢高、延三十錢高新豆同事新東一圓高と强保合に引けた

◇定期(單位十錢) [illegible]

◇延取引 [illegible]

東京株式(長期) [illegible]

東京株式(短期) [illegible]

大阪株式(長期) [illegible]

大阪株式(短期) [illegible]

特產 大豆軟調 一般氣迷ひ

後場の定期は大豆は聯盟案じに一般氣迷ひ軟調を辿り豆粕豆油は添はず弱含を示し高粱は引續き邦商の賣物ありて軟調を呈した

◇定期後場(銀建) ▲大豆(軟調)單位厘 [illegible]

錢鈔 鈔票弱保合

錢鈔後場は日米同事に氣配弱く結局各三十錢安と弱保合に引けた

◇定期後場(單位錢) [illegible]

出來高　期近百五萬圓　遠期三百二萬圓

◇現物後場(單位錢) [illegible]

出來高　銀對金五萬圓　銀對洋一萬四千圓

商品 綿糸強調 麻袋變らず

大阪三品後場は各限一二圓方反撥を傳へたが當市は氣乘薄に見送り麻袋は變らず保合ふ

▲綿布

銘柄	約定期	値段	俵數
五枚三友	十二月限	二六五	五
寶球	二月限	二八五	五
軍人	二月限	七七〇	五

▲麻袋

銘柄	約定期	値段	俵數
鐘筋	一月限	四〇〇	一〇
同	同	三九九	一〇

市場電報 神戶特產

大豆現物	六七五
先物	五五〇
豆粕現物	一八八
先物	四〇三

けんかう週間

衛生的生活の實行に一層の努力を望む

關東廳衛生課長　山口倭太郎

今回關東廳、旅大兩市役所、滿鐵その他公共團體、滿洲日報社等の共同主催によつて第二回健康週間が開催されてゐますが、健康週間の目的は衛生思想の向上普及により此の滿蒙の地を立派な健康的樂土となし吾人の生活をよりよく衛生的に仕向けて健康を保持増進して行こうといふのであります

◇

惟ふに人生に於ける福祉の礎は健康にあります、財寶も地位も榮譽も身體が丈夫であつて始めて其の意義を爲すものであります、而して人の健康を保持増進するは保健衛生の根帶をなすものでありまして其の目的を達成するには如何にすればよいか、如何なる方法を以てすれば其の成績を擧げ得るかこれは吾々に課せられた最も重要なる問題であります

◇

人動もすれば衛生の職分を疾病の豫防治療の範圍に止まるものと解し健康の保持増進、卽ち體力の増進といふ方面を閑却してゐる憾みがあります、勿論疾病を豫防し治療する事は衛生の根幹であつて決して之を忽にする事は出來ないが、單にそれだけが衛生の職分だと考へるのは餘りに輕率であり又短見であると思ひます、卽ち今少し眼界を大きくし苟くも人體の健康に關係ある社會百般の事柄は凡て衛生の範圍に屬するものとし、もつともつと積極的に活動し仕向けて行かなければならないと思ふのであります、近時識者の間に積極衛生といふことが熾に高調せられるに至りました、それは吾人の生活様式を改善し積極的に健康増進を圖るといふことで換言すれば社會施設を完整し公衆をして衛生的生活を營ましめ心身を强壯ならしめ而して健康を脅かす危害を排除しようといふのであります、これを傳染病に就いて考へれば病毒の侵入を防止し或は患者を診療する方面でなくて對抗力の増强を圖ることによつて例令病原體が體内侵入しても之を征服して發病の餘地なからしめると云ふのであります

◇

およそ病原體が人體に侵入し生理機能を障害する迄には種々の條件が備はらなければならぬもので卽ち病原體の侵入、生存、繁殖、活躍といつた樣な相當の徑路を辿るものであります、ところで人體が健康であつて病原體に對する抵抗力が旺盛であれば體内の抗菌素は病原體を驅逐し折角侵入した病原隊も打負かされて遂に死滅するのであるから發病に至らずして濟む譯であります、故に吾々は疾病の豫防治療に力を注ぐと同時に、平素より身體を强壯にして病毒に對する抵抗力を養ひ、體内に侵入した病原體を速かに征服し排除する樣努むることが最も肝要であります

◇

吾人の健康狀態が十分でなく始終病魔の脅威を受けて居るのは何故であるか、それには氣候風土の關係、衛生諸施設の不完備、異民族との雜居等環境の關係も大いにありませうが、一面現在の生活樣式に幾多の缺陷があり無理があるものと見なければならない、然らば積極的に健康を増進し疾病を征服するには如何なる方途を講ずべきか、此の問題に就て關係各機關が相倚りて衛生百般の實想を研討してこの地に卽した衛生體系を確立し而して其の結果を廣く社會公衆に宣傳普及し、健康の保持増進に努めたいといふ趣旨から茲に健康週間開催の運びに至つた次第であります、然るに斯くの如き事業は如何しても公衆の理解と協力がなければ其の成果を納め得るものではありませぬ、保健衛生問題の成否は一に公衆の理解と實行にかゝつて居ります、今や滿蒙の情勢は一新し民力の伸張を要する秋であります、滿蒙問題の解決、東洋平和の基それは實に民族の健康を礎として現れ得る問題であります、此の機會に於て一般の協力援助を要望すると共に衛生的生活の實行に一層の努力を希ふものであります

荒れ性の方は斯うなさい

一寸外出にも手袋は離すな

ベルツ水の拵へ方

三寒四溫が次第に强く感じられるやうになりました、骨身に達するやうな冷氣のために一寸外出しても手足が荒れがちとなります、でなくても、一日お炊事場で水仕事したりストーヴの手入れをしたりする主婦の手は隨分荒らされます殊に荒れ性の婦人と來たら氣の毒なほどです、勿論これは一寸した手入れを加へますと豫防できます冷氣に加へて煤煙や埃が强い風に吹き捲くられる滿洲で手袋もはめないで外出すると屹度手は荒されますから荒れ性でなくとも手袋は使用することです、それに水仕事後は必ず面倒でも一々手拭で水を充分拭きとり、その後にベルツ水を使用します、また入浴後手が溫かい中にこれを使用します、入浴しない場合は必ず溫湯で手を溫めて後使用しますと色々の仕事でみにくゝ荒れた手も翌朝は綺麗に滑らかになります、次にベルツ水の製法を日本齒藥會社の隱岐淸氏に敎へて戴きましたから家庭で簡單に拵へて下さい

調合法　これは各人の體質によつて加減されたらよいでせう

▼…ベルツ氏の處方＝苛性加里一、グリセリン五〇、アルコール五〇、薔薇油一滴、水一〇〇瓦

▼…グリセリン加里液＝苛性加里一、グリセリン四〇、酒精五〇、ベルガモツト油適宜、水一〇九瓦の割

▼…化粧用＝苛性加里〇・五、グリセリン三〇、酒精五〇、硼酸ナトリウム一・〇、水一〇〇瓦

これに各人の好みの香料例へば薔薇油、ウインターグリユーン油、ベルガモツト油等一二滴を加へ着色料として好みの色素例へばメチーレンブラウ、スカーレツト、メチールグリユーン、その他「アクリヂン」系色素を少量加へられますと色が着き見た目にも大へん感じのよいものです

凍傷の豫防治療藥

次にこれから多く小兒たちがなやまされる凍傷ですが、豫防又は治療藥としては次のやうなものがよいでせう、先づ手近のものとしてはワセリン、メンソレータム、樟腦軟膏、チユール、デシチン、ピクタス凍傷膏、凍傷膏などがよいでせう、家庭でできて、しかも效能のある樟腦軟膏は樟腦一、胡麻油一四、牛脂三五を混合して拵へ局部に塗布します

家庭顧問

物もらひの痕がとれず女の子故になやむ

【問】今年十二歳になる女の子ですが五六歳頃目いぼが出來て一時治りましたが、九歳頃又出來ました、その時は通學中のことなので充分の養生が出來なかつた爲めか下まぶたが少し缺けたやうになりました、そのうちになほるだらうと放つて置きましたが今日に至るまで少しも痕がなほりません、女の子のことですし、ことにもうすぐ女學校ですからせめて女學校へ入るまでになほし度いと存じます、何か適當な治療法はございますまいか（煙臺ふみ子）

整形術を施せば目立たぬ程度に治ります

三根辰一

【答】目いぼ（物貰ひ）は醫學上霰粒腫と稱する病氣で眼瞼の病氣があるか又は内科的に體質の虚弱な人、腺病質の人によく出來ます貴女のは發病當時に完全の治療を加へなかつた爲に組織の缺損、卽ち眼瞼の畸形を來したのですから今完全に治癒することは出來ませんが專門醫に依つて整形術を施せば大して目立たない程度にはなります

一寸輕便なお臺所用品

寒さに向ふこのごろどこの家庭にもよろこばれさうな新案お臺所用品を御紹介しませう

▲**御飯蒸し**　形は在來のと大した相違ありませんが細かい部分にまで新しい工夫が加へてあります、第一中底が二重費になつてゐること、これで沸騰しても矢鱈に湯が中底の上へあがりません、第二に底に水準線が出來たことです、この線まで水を入れさへすれば、ふつくらと美味しく蒸せて、水が多すぎて下の方がヂクヂクになつたり鮎すぎて焦げ付いたりする憂ひは全くありません、そのほか釣手が倒れて燒けたり火傷をしたりする心配もなく、また何よりうれしいのはニユームの質が素晴らしく改善されたことです、價格は直經十八糎物が七十七錢、二十糎八十七錢、二十二糎九十七錢の三種です

▲**天ぷら鍋**　分厚のアルミニユーム製品で鍋底の一部が更にフライパンの樣に深くなつてゐて其底で揚物をするのです、周圍の高いところに油切り用の仕切りを取附け、揚げ終つたものをこの中へ置きますと油も完全に切れて無駄にならず、揚げるのに手間がかゝつても先に揚げたものがちつとも冷めないといふ一擧兩得のものしかもピカピカ光つて綺麗ですから親いものばかりなら食卓の上に置いて揚げながら頂けば一層美味しいでせう、網杓子まで揃つて二圓です

▲**湯豆腐鍋**　同じくニユーム製でオリーヴに朱線の漆塗の蓋をした風雅なもの、その蓋が二分されてゐて片方にはおしだし入れが附いてをり、もう一方の蓋を開けて網杓子で中の豆腐を掬ひ上げる仕組になつてゐます、網杓子共で値段は八十錢です（船塚洋行調べ）

小兒の食物（下）

＝或母に訊ねられて＝

大連醫院小兒科　松浦豊

飲料

問「宅は晩酌のとき此の子に時々酒やビールを飲ますんですが、どうでせうか」

答「勿論こんな小さな子にたとひ少量でも飲ませるなんて實に罪惡です。殺すやうなものですぞ。葡萄酒、正月の屠蘇、節句の白酒など幼兒には與へないやうにしませう酒は大人にとつてさへ有害なる物です。まして心身共に未だ固まり切らぬ所か、觸れば忽ち壞れて了ひさうな幼兒に害なくして濟みませうか。實に恐ろしくて膚に粟を生じます。冗談ぢやございません」

問「さうですか。早速主人にさう申しませう。兄の方はコーヒーをとても好むのですが、やつて差支へありませんか」

答「コーヒーや紅茶それにチヨコレートなどの刺戟の强いものは五歳以下の子にはいけませんが、上のお子さん位でしたら少々は差支へありません。しかしお宅の兄さんは可成り神經質の樣ですから、やはり成るべく控へるやうにしませう。

話のついでに幼兒の飲料について申しませう。幼兒は身體の表面積が大人に比べて體重の割合に廣いためよく咽喉を乾かします。が子供の云ふまゝにサイダー、ラムネ、氷水などを決して與へてはいけません。水道から汲み立ての水殊によいのは薄い番茶とか麥湯等であります。薄い番茶さへやつておけば決して間違ひは無いし、飲み過ぎて腹をこはすこともありません」

刺戟性の食物

問「色々有難うございました。長くなりましたが、もう一つお訊ねしたうございます。兄の方は菜の好き嫌ひが多くて近頃では香の物か鹽辛でなくては食事をいたしませんが」

答「幼い子供にとつて辛子漬、唐辛子、鹽辛のやうな刺戟性の嗜好品は有害であります。殊にお子さんのやうに虚弱な腺病質の方に此のやうな刺戟の强い物を與へると他の菜を食べぬやうになり勝ちです。

大人とか老人のやうに子供に比べてホンの僅かの熱量で足りるものにはそういふ物で食事して濟さへ眼らせば濟みませうが、發育盛りの子や弱い子などはそれで足らう筈はありません。

香の物ばかり食べて他の菜などうしても食べない子供を滿洲に甚だ多く見受けます。これを矯正するには兩親が一緒になつて食卓から此等の物を全く外して了ふ位に努力せねば到底目的を達することは出來ません。腺病質の子が多い當地では、この點について特に親御さんの一考を促したいと思ひます」

答「ほんとうに私達もよく考へて徹底的に今迄誤つてゐた所を改めて行きたいと存じます。結構なお話を承つて本當に何とお禮を申していゝものやら。おや、患者さんが來られたやうですわ。それでは失禮いたします。さよなら」

勅題詠進の初心者を指導

新春をことほぎまつる詠進歌は毎年三萬首以上も宮内省御歌所に屆くさうですが例年滿洲からの詠進歌はごく少數にすぎないので、津田彦六氏を會長とする眞萩會ではこれを遺憾として極力同好者に詠進の勸誘に努める一方、初心者を親切に指導するさうですから希望の方は返信料として二錢切手を添へて詠草を左記へ送られたいとのことです

大連市鳴鶴臺一二〇　津田彦六

滿日各地版

日滿兩國双務的に 教育體系確立

滿洲には滿洲の高等教育機關 公學堂長會議に列した 安藤中學堂長談

【奉天】滿洲國人の教育機關である關東州內外の公學堂長會議に出席した安藤中學堂長は十九日新京から歸奉語る

奉天からは同文學院長宮谷兵次郎君と公學堂長荒木弼君が出席した、滿洲における日滿教育の體系は勿論確立する必要あるが體系と經營は別である、日本では官公私立學校が存在してゐるが其等の經營とは別に體系は確立してゐるが如く滿洲にも體系は整つてゐるが今後如何に經營するかゞ問題である、小、中の日本側學校と初等中等學校の滿洲國側の

教育 を受けたものが專門學校以上の高等教育を受ける場合滿洲では土地に卽した教育をしてゐるため內地の如く英語とか數學に力を注ぐ譯に行かず從つて高等教育を希望する者は試驗を受けるに非常な困難を負はされるのである、これは滿洲國が今日の如く成立した秋であるから滿洲に專門學校又は大學を設け滿洲の土地に必要な教育をするとか先決問題である、其れには旅順に工大があり、大連に工專あり、奉天に醫大があるから滿洲國側としては日滿兩國人の就學し得るやう奉天の東北、吉林の吉林、ハルビンの法政大學等を復活し日本側にない法、文、理の單科大學を各地に設けられるならば大した

經費 を要さず日滿兩國人が共學することができる、又專門學校では大連に工專があるのだから滿洲國側は高等農林を設立するとか日滿兩國が双務的に體系を立てることも一つの案ではないかと思ふてゐる、今回の新京における會議には

一、關東州、滿鐵沿線及滿洲國における滿洲國人教育の連絡提攜方法如何(關東州公學堂長提出)

二、滿洲國人教育制度確立のために關東廳、滿鐵及滿洲國聯合の教育審議會を設置せしめるやう建議の件

三、日滿聯合教育會組織提唱

四、滿洲國建國精神の普及徹底に關し如何なる方法を取るべきや

の四點目につき協議し第一項は第二三と關係ある點ある爲委員附托となつたが其の意見中には教科書とか生徒の讀物、教育研究會等のものによつてはとの說があつた、第二項も委員附托となつたが文教部西山總務司長の意見は教育の

制度 ばかりでなく調査研究機關の設置を希望してゐるが豫算がないので現在は實施不可能なるも廣く意見を求め滿洲に卽した生きた教育を施行したい、日本の行詰りは歐米の飜譯間に合せの教育であつたからで愼重に研究し教育體系の確立をしたいと述べ第二項には贊成であつた、第三項については趣旨には贊成で異存はないが方法の問題につき中央では教育會と教育會が連絡し各地には分會を設け分會相互に連絡さしてはとの說、地方地方の連絡を遂げた後一括した大會として連絡をする方がよいとの逆の意見があつたが委員附托として具體案を決定することになり第四項は教師の養成、教科書の修身の如きもの又は各學科目に建國精神を織込むや編纂せしめてはとの申合せであつた、意見としては建國精神を普及すると共に日滿の親密關係

東洋 の實狀をも教科書に採用し教育勅語の發布又は執政の肖像下附といふが如き問題もあり新京において開催された教員講習會へも建國精神を採り容れることの說もあつたが第一回の會議としては文教部司長其他各關係者が臨席し實際家の意見を尊重する態度と熱誠に各地からの代表者は非常に滿足してゐた、特に丁總長が二十有餘年間公學堂教育について或は政權回收を要求され或ひは教育廢止論さへ出て各方面から壓迫を受けたにも拘らず毅然として其素志を曲げず奮闘されたので今月の如き秋に際して人材が得られたのであると感謝的の挨拶を受けたことは參會者中には廿五年一日の如く滿洲國人の教育に

盡瘁 した山口金州堂長、富谷同文學堂長等ありいづれも感激な辭に感謝した十八日は執政に拜謁鄭國務總理と記念撮影をなした

滿洲國童子團赴日

滿洲國童子團一行は團長[illegible]氏に引率され廿日奉天赴日した、その際奉天驛に於て奉天童子團と交驩しヤマトホテルにて開かれた午餐會に臨んだ【寫眞は奉天に着いた童子團】

鞍山中學軍 全滿の覇權確立

中等ラグビー 全滿豫選決勝

【鞍山】全日本中等學校ラグビー大會滿洲豫選大會は既報の如く撫順中學校に於て州外の覇權を獲得した鞍山中學校と州內の勝者大連の育成學校と二十日午後二時から鞍山中學校々庭に於て全滿の覇權を決する戰ひが開催された、日曜と小春日和の快晴に惠まれ大連育成の應援團並に鞍山中學の應援團を始め小野寺所長、隈崎大尉、久留島陸上部長等父兄一般數百名の觀衆は定刻前早くも周圍を埋めた定刻兩軍の選手入場式あり、君ケ代合唱裡に國旗掲揚式に次ぎ昨年優勝校鞍山中學校より優勝旗並に優勝盾返還式あり、矢澤校長から開會の挨拶ありて二時半より圓藤主審、樋口、熊川兩線審の審判により育成キックオフにて開始したが先づ鞍山軍トライし鞍山應援團は割れる許りの聲援を爲し兩軍共に熱狂し猛烈なる勢ひを以つて鬪ひいよ〳〵白熱化した時又も鞍山軍トライし前半にて六點を獲得した、五分間休憩して後半を開始したが育成軍は前半に勝る猛襲を試みたが其の甲斐なく又々鞍山軍にトライされ結局九對零にて鞍山軍大勝し大每寄贈の優勝旗並に優勝盾は再び鞍山軍に授與された

全滿中等學校を全部壓倒し全日本中等學校ラグビー大會に全滿中等學校を代表出場する榮譽を擔ひ喜びに充ち鞍山神社に參拜し凱歌を奏し市中を練り歩き萬歲を三唱して散會した兩軍のメンバー左の如し

鞍山軍 FW鈴木康隆、伊藤敏夫、山口豐、岡島正、大竹功、淺野虎龍、齋藤定明、中村勇、HB櫻澤龍明、本田弘、TB池田俊彥、宮野哲、池內悅雄、吉田義雄、FB岩吉讓

育成軍 FW今野、森、莊、中村、小野、大島、岩元、HB西ケ原、羽入田、森岡、TB曾根、永見、濱口、松目、FB高鍋

邊防も歸順

二十日海城に出て 條件の指示を受く

【大石橋】二十日午前八時牛莊を出發したる匪首邊防は午後一時半海城々內安升棧に到着晝食の後直に海城憲兵分遣隊に佐久間三郎隊長を訪問した、牛莊治安維持會會長李子芳及邊防事林顧數は手兵五人を携へて午後二時半より四時迄歸順に關する諸條件に付き親切叮嚀なる指示を受けた後城內縣長に招致せられた、佐久間隊長は語る

邊防は誠心誠意既往を悔い改悛の情を如實に現はし爾後は滿洲國のため後半世を献奉し日滿治安維持に努むべきを宣明し居り滿洲國の歸順に對しての諸要求が備へば其の率ゆる部下と共に正式に歸順を許さるものなるべく現在に於ては邊防の歸順は只時間の問題として殘され居るのみ今日は部下を第一、二、三の各分隊に分ち歸順部下の名簿を提出に出海したるものでさしも海城縣下牛莊方面を根據に猛威をほしいまゝにし良民を苦しめたる邊防も善人に還り眞に轉向して見れば可愛いものだ[illegible]して歸した

打天下歸順

【遼陽】事變以來[illegible]

順を申し出てゐたところ十九日許されたので近く部下百二三十名と共に目下滯在中の開原縣大小灣屯に於て歸順式を擧行するはずである

警察隊意氣宣揚

凌海城縣警察大隊長表彰方を 憲兵隊長から推薦

【大石橋】海城縣警察大隊長凌秉勳氏が去る十二月二十三日海城縣第四區大感王寨に於て匪賊兼天の一味を包圍攻擊し滿洲國警察隊の意氣を宣揚し以て縣下各所に蟠居する匪賊をして一率に戰慄せしめ警察權威力を以て彼等の蠢動を抑壓せるは當時本紙の詳細報道せる所なるが佐久間海城憲兵分遣隊長は凌大隊長の威勳を警察隊の模範なりとして省警務司宛之れが表彰方推選する處あつた即ち推選文左の如し

當時凌大隊長は手兵騎馬隊五十名歩隊約二百名の小數を以て攻擊したるが一方兼天は四百有餘の老巧馬匪賊を率ゐ兵器彈藥馬匹等を整備し大感王寨を中心に附近部落に蟠踞其の部下は何れも猛威を振ひ掠奪暴行の聞え高くこれが爲め良民は勿論隣區に脅威を與へたる[illegible]蟠踞地中央に突入し大感王寨を包圍一齊に攻擊したり、之れが爲め兼天は警備稍薄なりし南門に向け死力を盡して突破し西方蓮花泡子に逃走したる爲め遂に其の頭物を逸したりと雖も其意氣慨々たるものありて當時日本軍に於て[illegible]揚激讚せし所なり依つて之れが賞を爲し將來益々大隊の志氣振作に資し度きものと思料す

昭和七年十一月海城憲兵分遣隊長佐久間三郎

滿鐵から遼陽へ救濟金支出

土着者受領を協議

【遼陽】遼陽驛官町內會では樣て機關區及び列車區移轉に伴ひ土着在住邦人の窮狀救濟方地方事務所を經て滿鐵本社に嘆願し或は正副總裁に直接窮狀を訴へて居たが滿鐵本社に於ても在住者の約三分の一が他に奪はれた事實と土着民の窮狀とに同情し近日中に救濟金を交付することになつたと云ふので十九日午後七時から公會堂に於て土着者總會を開き安達氏司會者となり谷田川氏から之迄の經過を詳細報告し尙救濟金受領後の心得等に付熟議に指示する處があり八時半散會したが昭和通りのやまき吳服店木下梅之助、陸軍用達の土井國太郎、驛前居住陸軍用達谷口嘉一、城內特產商高木儀三郎の四名は救濟金の分配辭退を申出でたと報告に敬服したが之等辭退者の分は他の一般需給者に增額されることゝなると

歸宅の途上 射殺さる

【奉天】十九日午後六時五十分頃日吉町三番地零賣商同春茂方店員閻玉芬(二七)が主人の命を受け零賣[illegible]十一袋を馬車に積み苦力崔瑞祥と共に皇姑屯三合店に屆け苦力は先に歸つたが彼のみ遲く歸宅の途中毛織會社に通ずる道路上に於て何者かのためにモーゼル拳銃を以て射殺された、彼は懷中に大洋卅二元と金票七圓を所持し居り犯人は遺恨か強盜か判明せず目下嚴探中である

撫順防火週間

【撫順】寒さと共に例年このごろより漸く火災を起し數十萬の財產を燒土と化し烏有に歸せしめてゐるが撫順警察署及消防隊にては協力之が防火宣傳にカこぶを入れることゝなり十一月より翌年四月まで每月一日より七日までを防火週間とし本月は二十一日より二十七日まで實施す防火週間中は每朝六時より七時まで新舊市街を消火自動車にてサイレンを鳴らして巡り乘用馬車、洋車に宣傳小旗を揭げ外勤非番警察員消防隊員協力して各戶に煙突、溫突等の設備の一齊檢査なし火災豫防上の注意指導に至るまで丁寧親切に亦市街の要所にポスターを揭げ一般に注意を喚起することゝなつた

奉天各方面の景氣 下り坂の傾向顯著

一般的に收入三割減

【奉天】全權部、軍司令部の新京移駐から恰度廿日目、奉天市街の自動車交通が激減したやうに一流旅館、ホテルの宿泊客は激減し收入の上において一割五分の減退を示し二流以下旅館兼下宿の如きも三割方の收入減となり房柳花街の方面も亦三割五分、カフエー、飲食店に至つては人影が薄く一般日本人向商店の賣揚高にも一割五分乃至二割方の減退を示して來た、今のところで行けば全般的にみて三割平均の收入減は各方面ともに免れぬ狀態でありヤマトホテルの如きですら既に前月と本月の收入差額は約二千圓內外の減少を示した模樣である

報告書に異議

【鞍山】鞍山時局委員會では十九日の幹事會に於てリットン報告の認識不足に對し市民大會の名を以て聯盟並に我國同代表に異議の電報を發した

遼陽の奉告祭

【遼陽】遼陽在住者中近く幹部候補生として入營する北川武德(步四六)深川博(步四六)小高清(步七八)杉田周一(入營先未定)安藤昌次(同上)以上五名の入營奉告祭が十九日午後一時から社前に於て擧行された當日在鄉軍人分會長以下會員、坂井大尉、新井署長代理米澤校長、吉田地方事務所代理其の他の有志が參列あり式後入營者は千賀名譽に署名平井神職から供物や神饌神符を授與され一同神酒を受けて散會した

沿線南部選手の 弓道大會大盛況

二十日熊岳城で擧行

【熊岳城】滿鐵沿線南部選手(自遼陽至瓦房店)の弓道大會は二十日午後一時より熊岳城弓道場に於て開催されたがさすが各支部えりぬき選手とて何れも甲乙なき射的振を示しそゞろ古武士の風情も偲ばれて我が武士道鼓吹の上よりも體育向上の方面よりも今後大に獎勵すべき武道たる事を痛感せしめた開會第一番矢演式に次ぎ各支部代表の總射續いて各部の競射に入つたが何れ劣らぬ剛の者揃ひにて案外得點數も高くさすがに日頃の鍛錬もしのばれた、納射に引續き賞品授與に移つたが其の賞に與つた者は七等迄で以下成績左の通りであつた、因に本會は南部選手の優勝旗爭奪戰であつたが鞍山、營口、大石橋等參加支部の止むを得ざる事情上今回に限り不參加の爲め之を見合せ個人優勝大會に止めたが非常なる盛況裡に午後四時終了した

一等賞鈴木(熊岳城)二等賞加川(瓦房店)三等賞大岩(瓦房店)四等賞稻葉(瓦房店)五等賞森(遼陽)六等賞牛田(瓦房店)七等賞白石(瓦房店)

入營奉告祭

【撫順】本年度入營者の入營奉告祭は十九日午後三時より撫順神社で執行せられ、入營者四十名、來賓として川上守備隊長、前田警察署長、山縣兵事主任、大橋、土生ら在鄉軍人正副會長、伊藤地方係主任列席、神官修祓、祝詞、玉串奉奠ありて嚴肅に式を終り次いで社務所樓上にて守備隊長、警察署長の訓示あり四時散會した

倉橋巡查快癒

【遼陽】さきに鐵嶺縣大甸子東方の鐵道現地保護出動中、匪賊と激戰負傷した[illegible]倉橋巡查は

鮮人救濟の 製繩事業は有望

大石橋の成績良好

【大石橋】大石橋朝鮮人民會に於ては先に救濟資金として牛莊領事館より金參百圓を下賜されたが民會長並龍外有力者二三名協首協議の結果此の有難き下賜金を現金として分配するに忍びず救濟事業として有效に意義あらしむべく京城より製繩器械二十一臺を購入し避難民四十二戶に按分就業せしめて居るが一日の製繩高平均二千斤に及び藁及機械を無料貸與し製繩百斤につき五十錢宛を口實として支拂つて居る、昨今は機械にも慣れたので成績好きものは二百斤以上を製繩し得るものあり且つ製繩は鐵山方面の俵造り用として南滿工業會社、吉林洋行、大倉公司、福元公司、屋元鑛業所、海城滑石鑛業所、有田鑛業所等競爭購入の狀態にして此の分にして藁の購入さへ意のまゝとならば東成學校の經費も捻出に難なかるべしと民會長松在龍は專心事業の經營に鋭意研究中である

當地滿鐵病院で療養中であつたが快癒して十九日退院した近く再び第一線の警備に就くことゝなつた

蜜柑の初荷

【安東】正月を控へ且つ滿洲國稅關の課稅變更と共に例年に比し一層輸入激增するものと觀測されてゐる蜜柑の初荷……嬉しいみかんの本場津久見、靑江、下浦地方產の優良品二百五十箱(千五百貫)は十八日安東驛に到着した

熊岳城警察 廳舍完成

【熊岳城】市民の熱誠と願望とに依つて將來の發展を期し擴張せられた當地警察署はいよ〳〵その廳舍と一部の官舍とが出來上り二十日瓦房店本署より署長一行來熊神官の御祓と神々しき祝詞とに依つて淸められ且堅められ午後より引越し移轉を行つた、因に居住民の熱望は豫想以上の寄附獻金となつて表れたので官廳の敷地の基礎をかため彭々防備と威嚴の兩方面よりしても周壁或は石垣塀の必要を叫び遂に市長一同は此の工事をも援けて警備の完成に努むる事となつた、之等外廓殘成し廳舍、サイカー庫、馬小屋、道場、巡查巡捕官舍も完備し兵器充實した曉こそ市民の期待する青年熊岳城の完成と成り熊岳城の玄關口に嚴たる廳舍が屹立し之迄の骨折りが報いられる譯である

鞍山にチブス

【鞍山】鞍山北三條町二〇三の二松本十男(三六)は十八日發病十九日腸チブスと確診滿鐵醫院傳染病棟に收容されたが時候不順の折柄一般に注意されたいと

旅順放送

▲竣工した[illegible]派出所開所式は二十日午前十一時三十分から同派出所に於て開催青木署長以下各關係方面の來賓者多數參列盛大を極めた

▲旅順民政署稅務勤務片岡增夫氏と[illegible]三藏氏、四女梅子孃との婚儀披露宴は二十日午後六時から偕行社に於て開催米內山民政署長を始め知友多數の來賓あり盛會を極めた

▲中川第一小學校長は十一月中旬東京に於て開催の全國小學校長會議列席の爲め往復二十一日間の豫定を以て二十日上京歸途關西方面の各小學校を視察十二月十日歸旅する

▲吾妻町四ノ三宮永實太郎氏方では十日三男正大君が出生した

會と催し

▲奉天で兵制發布六十周年記念講演【奉天】來る廿八日は兵制發布六十周年記念日に相當するので內地では陸海軍に於て各種催しをなすが奉天でも徵兵制度の主旨を徹底せしめるため當日午後六時から春日小學校講堂に於て奉天署主催の下に講演會を盛大に開催することゝなつたが講演者は醫大教官秋川大佐外數氏で續いて餘興として映畫の夕を催す、上映寫眞は目下選定中であるが入場無料で多數來聽を歡迎するとの事

▲遼陽神社新嘗祭【遼陽】遼陽神社では恆例に依り二十三日午前十一時から新嘗祭の式典を執行するゆゑなるべく多數參拜されたしと

▲鞍山地方委員會【鞍山】鞍山地方委員會は二十一日午後一時から地方事務所會議室に於て茶話會を開き政治經濟調査委員會新設に關し意見の交換をなす所あつた

▲鞍山の東山吟句會【鞍山】鞍山の吟句同好者を以て組織されて居る東山吟句會は十九日午後七時から滿町俱樂部に於て開催されたが出席者は宮永生月さんを始め野尻雨石、野村頻年、佐藤花如、大倉しげる、宮地春日、志村冬樹其他數名出席し課題「湖」席題は「落穗」「暮秋」にして盛況裡午後十一時散會した

沿線往來

▲富永次長 十九日奉天往復
▲久留島秀三郎氏 同上
▲大久保讓學 十九日來鞍
▲阪元輸組理事 十九日急行赴連

皇軍の救護禮讃
剿匪肅靜慶祝大會
西豐縣外五縣聯合で　二十三日盛大に開催

【開原】東邊道の剿匪に續いて吉海瀋海滿鐵線間の兵匪大掃討を行ひ昨冬以來兵匪橫行に惱まされ居たる西安、東豐、西豐、清原、開原の各縣では久し振り春光に浴する如き平和の樂土に安業するを得たるを歡喜し公明正大なる皇軍の救護を禮讃する餘り茲に各縣聯合して剿匪肅靜縣慶祝大會を二十三日左の順序に依り西豐縣公署に於て擧行し、服部團長以下各校各縣日滿官民有志を招待する事に決し同會準備委員會より夫々案內狀を發した、會順序は

一、開會　廿三日午前十時
二、日軍戰歿者慰靈祭　同午後一時
三、大遊行　同　午後二時
四、祝宴　同　午後五時

丁雲鵬　歸順

【吉林】清源の西方に蟠居せる匪賊頭目五占事丁雲鵬以下七十七名は最近在英額に在り我が川上〇隊に歸順を申し込み自ら武裝を解除して誠意を示し縣長より證明書を受け各自歸鄕したが積雪の中に寒氣加り衣食武器缺乏より種々現在の非を悔い尙共に我が皇軍の威力に壓せられて殘る各匪も續々歸順する模樣である

匪首猛憲德　部下五百と歸順
目下拜泉附近に待命中

【チチハル】克東郵便局長の報告によれば通北に在りし孟憲德は部下五百を率ゐて歸順を希望し目下克東拜泉の中間にありて待命中である

三勝部下の　解散式

【鞍山】軋山鐵道西鞍馬場に於て上田大隊長指揮下に歸順した三勝部下の總員は實に三千三百六十二名の多數に達し其中一千名は歸順式に際し歸農したが後の二千三百六十二名は區管內各村落の自警團として警備の任に當ることとなつたが經費其他の都合により更に五百名を整理し修道隊に編入することとなり十九日午後一時から鞍西鞍馬場に於て上田大隊長以下守備隊幹部並に田中軍參謀、坂田顧問臨場し解除式を行ひ結局一千八百六十名が自警團となり遼海地區九十一主村十一萬七千天地の警備に當ることとなつた

匪賊に拉はれた　龍潭山廟の和尚
新開河會に救出さる

【吉林】當地近郊隨一の名刹である龍潭山廟の和尚は事變當時匪賊のため人質として拉致され其の後行方杳として判明せず匪賊のため慘殺されたものと思はれて居たが、過日突然前記お寺に姿を現し並みゐる坊さん達を驚かしたその話に依ると和尚は匪賊に捕はれて以來三家子で冷たい娑婆の風に當つてゐたが、偶々同地に新開河會の連中が匪賊を襲ひ匪賊は散亂して森林の中に逃走したので此の時とばかりと逃れ出て歸山したもので命拾ひをしたのは新開河會の御陰だと喜び感謝してゐる

岡原部隊の活躍
皇軍第一線、富拉爾基前面の壁壕

吉林西本願寺　新築落成
二十日より法要

【吉林】當地商埠地新開門外西本願寺では本堂新築のため信者一同援助のもとに工事を急ぎつゝあつたが此の程漸く完成を見たので二十日より向ふ三日間法要を營むべく初日の二十日は正午より入佛慶讃會法要をなし午後七時より報恩講法要など行つて可愛い稚兒の參列もあり大連よりは津村支部開敎總長なども參加ありて盛大に行はれた

吉敦沿線の森林　掃匪のため伐採
二百米乃至千五百米以內を

【吉林】吉敦沿線一帶の林場が匪賊の巢窟となり又交通の便甚だ支障を來すため今回吉林省當局は交通の便を計る意味より同沿線兩側の一定區域を限り森林の伐採を計畫し過日來實地踏査中だつたが此の程日滿當局の熟議を重ねた結果吉敦及び〇〇沿線の森林を完全に伐採する事となり匪賊の豫防其の他に當てる事にし、其の內容は鐵道の兩側二百米以內にして必要に應じ千五百米まで伐採する事に小團林及び風致上必要なる個所は留め置く事となし今年十二月限り完伐する由で近く各縣下に發令される筈となつて居る

銃を襤褸に換へ　變裝して逃走
打天下、金山好の部下

【開原】開原縣施家堡子附近に蟠居中であつた打天下金山好の部下合流の賊七百名は十七日夕暮開原縣大小灣屯に移動したが同賊團の中八十名は皇軍の威力に恐れ命よりも大切な長銃を農民に提供しその代りに農民の襤褸を貰ひ受けて巧に變裝して何處ともなく逃走したと

煙筒山の住民　工作班を歡迎
民衆敎化に努力

【吉林】煙筒山附近に派遣中の政治工作員一行は十五日匪害調査のため盤石に赴き內一人は同地方に留まり縣長などと種々協議する事となつたが他の一行は附近の有力者を集め本班の來煙使命につき詳細に說明し附近の村民に施療を行ふなど其の效果着々擧がり一般人は大いに好感を示し歡迎した由である同地の施療に於て十四日より三日間男女合計三十名を診療した同地の人口約二萬人で事變前は約三萬人と稱せられ土地柄戰人多く匪賊による被害甚大にして家財悉く掠奪され離家一軒に就き平均五百圓以上の被害を受けて居る模樣である、之れがため同地の住民は食糧に窮し困難を極めてゐる、工作員よりの報告に依れば當面を凌ぐ食糧品として粟一千石及び民衆敎化用として新聞を毎日二十部宛を要求して來つたので本部では直ちに之れが發送に着手し縣長の決裁を得て近く送附する事となつた尙其の後不通となつて居た煙筒山上[?]間の長距離電話も十五日午前十時修理完了した由で目下同地附近に活躍中の工作員は漸次好成績を擧げ、押し來る寒氣もいとはず大々的活動を續けて居るが一行は至極元氣であると

双陽に於ける　工作員一行

【吉林】双陽十五日發工作員の情報によれば一行は十二日煙筒山より我が皇軍と共に双陽に向け出發し三家子に於て小川中佐、小林顧問と會見、十三日夕無事双陽に到着し附近の概要を調査の結果匪賊の被害甚大にして同地は匪賊に占據されたることゝて車馬穀物など悉く掠奪され未だ農作物なども未收穫で慘憺たる狀態を示し附近の一般民は我が工作員の來るを大歡迎して狂喜の如く工作本部に馳せ集まつた由で附近は未だ安全の地とは言へず匪賊の一味登山好などが飯馬河附近五、六區方面に多集し双陽よりわづか十數里に過ぎざる事とて警戒嚴重を要し住民は擧つて工作員の留止を歎願して居る由である

北滿掃匪補充　部隊歡送迎

【安東】北滿掃匪の第一線に於て戰死傷を受けた皇軍の精銳一部補充の爲め今般派遣されることゝなつた第〇〇〇團の〇〇部隊將兵〇〇〇名は十九日午後七時五十五分着同八時四十五分發北行したが、驛頭には折柄の寒氣も物かは各團體學生、生徒一般市民の歡送迎あり湧き上る萬歲の聲を交しつゝ、例の如く聯合婦人會員の心からなる接待に將兵は大喜び、やがて定刻となれば再び起る萬歲の嵐、旗の波に送られて勇敢なる精銳は一路北上した

安東普通學校　新築落成式
明朗さを誇る諸設備

【安東】安東普通學校の增築並に新築講堂の落成式は十九日午前九時より喜びの色溢るゝ同校新築講堂で擧行された、先づ一同着席の後小野首席訓導の工事報告あり次いで多田地方事務所長より管理者としての告辭、中條校長の誨告あつて後岡本領事來賓を代表して一場の祝辭を述べ次いで保護者會代表崔忠元氏の祝辭あり校長の閉式の辭に午後十時半閉式、記念撮影の後引つゞいて落成祝賀の大學藝會を開催（午後一時よりは父兄母姉）したが、全種目三十三の唱歌、遊戲、對話など何れも立派な出來榮で拍手を浴びてゐた、尙この總工事費は三萬九千九百四十一圓で煉瓦造鐵筋コンクリートの講堂の收容人員は七百名乃至九百名、天井は國產セロテックスを用ひ通風、採光には最も留意してあり近代的明朗さを誇り得るものである又た增築した校舍は敎室二、地下室（煖房、機關室）其の他診療室湯呑所、宿直室、便所等で從來狹隘のため不自由をかこつてゐた同校もこれで漸く生徒の收容についても幾分か樂になつた譯である

大雪で　通行難

【吉林】過日來初めての大雪に五寸近き降雪を見、氣溫益々低下しつゝあつたが三寒四溫の滿洲氣候とてその後氣溫も稍高く降雪もないので道路その他の積雪がボツボツと解け初めこれがため通行の便甚だ惡く折角補修工事をなした甲斐もないので省會公安局では各市民に對し降雪の後は直に掃雪を行ふ樣との通告をなし今後往來の便をよくする樣努力してゐる

國境密輸者の　ブラツクリスト
犯人の寫眞を撮つて取締徹底

【安東】嚴重な官憲の眼を巧に潛つて常習的に密輸を敢行する輩は手を代へ品を替へて其の方法に腐心してゐるため取締官憲の勞も一通りでないが、國境警察隊ではこれ等密輸者を發見逮捕した場合は單に密輸品の沒收に止め身柄はその儘釋放してゐた、然しこれでは密輸取締りの徹底を期することは困難なので今後逮捕した者は全部寫眞を撮り且つ住所姓名を調べあげて密輸入者のブラツクリストを作製し「つい出來心で惡いとは知りつゝ初めてやりました」などと白々しい噓は斷然言はさぬこととし嚴重なる處罰を加へることとなつたので密輸團にとつては大脅威である、現在では大仕掛の密輸は困難なので嵩の小さいもの、主にシヤツ、綿布類が多くボロ着物の下に着たり捲いたり、或ひはチゲに積んだ白菜の下の二重底に隱したり一寸手がつけられぬのは月經帶を利用して股間にブラ下げたりする女の密輸位のものであるが、最近は取締官憲に對し多勢を賴みに暴行、投石しつゝ目的を達する所謂ギヤング張りの密輸團の外に、進行中の列車內からかねて諜し合せてあつた場所に品物を投落し相棒が拾ひ闇に紛れて逃げ出すと云ふ手が多く午後七時五十五分安東驛着の北行列車など俗に密輸列車と呼ばれてゐる程である、今や結氷期を間近に控へ鴨綠江の大鐵橋上に移され血みどろの爭鬪の幕が開かれんとしてゐるが、此の程江岸に見張りのボツクスも愈々新設されることゝなり取締官憲の數も增加される模樣なので密輸團の活躍も漸次下火になるものと見られてゐる

紅卍會　貧困者救濟

【安東】世界紅卍會安東分會では貧民救濟粥廠を後湖濟に設立して一般困窮者を救助することゝなつたが、縣公署よりは事務員を派遣し市警察よりは第一、二、三區長の應援を得て十七日より開始、每日朝夕二回に亘つて救濟を施行してゐる

安東時局市民　會基金募集

【安東】滿洲事變突發以來設置されある度にその機能を發揮しつゝある安東時局市民會の軍警慰問金は早くも一年を閱した今日に於て支出金五千四百三十四圓八十一錢を計上し殘金僅かに三百五十七圓五十二錢となり今後の活動に充分とは云へぬので安東市民會幹事各區長、地方委員議長、滿鐵各所屬箇所長は十八日午後一時半より地方事務所に會合、今後存續すべきか、打切るかについて協議したが、その結果現在滿洲國の狀勢から見ても尙當分の間繼續するを至當として午後四時散會した、尙この基金募集方法は豫じめ募集額を二千百圓と定め各區別にして募集に着手することゝなつた

臨時流通券發　行存續歎願

【吉林】省公署の發表に依れば双城縣に於て過般來附近の救濟に使用のため臨時流通券を發行して居たが過日中央銀行より右流通券の發行を禁止して來たつたため同地方代表は省公署に對し之れが差止められたる場合は縣內の融金通迫して困る故右發行の存續方を歎願して來つたので省當局も考慮中である

小磯參謀長　安東通過

【安東】北滿の情勢及び今後の對策、主に警備問題について急遽上京中の小磯關東軍參謀長は十八日午後九時半過安南行したが、驛頭には官民多數の送迎があつた

特產出廻增加で　國輸北滿に飛躍
齊々哈爾出張所の支店昇格

【チチハル】北滿に於ける匪賊討伐も日を追ふて其成功を見ると共に特產物の出廻りも次第に增加し齊克線方面の運輸狀態頗る多忙を極めてゐるので國際運輸會社では種々其對策を研究中であるが、今回ハルビン支店長岡崎虎雄氏の來齊を機とし從來ハルビン支店の管轄下に在りしチチハル出張所を支店に昇格せしめてハルビン支店と同格となし、昂々溪出張所は營業所に改めてチチハル支店に隷屬せしめる事に內定せる由であるが正式發表は何れ近々機を見て行ふ事となるであらう

舊省政府紙幣　百萬元火葬
物々しい警戒裡に

【チチハル】花咲く春もあつて一時は羽鳴かした事もあつたが時世時節と云ふ譯でもあるまいが天下の如何なるものも左右する事が出來た實の舊[?]紙幣と云ふものでも、天が定めた運命には抗する事が出來ず、黑龍江省政府の舊紙幣百餘萬元が十五日午前九時から中央銀行員稅務監督署員公安局員等々の物々しき立會警戒裡に龍沙公園裏で火葬の式を擧げたが、燒却紙幣の種類及金額は左の通りである
江錢一億九千八百五十四萬五千四百三十吊、江洋百四十一萬一千六百十二角、哈洋二萬四千百七十八角、黑[?]單債券三萬二千百五十三元で、國幣換算額百二十餘萬元で百五十五個の大箱に詰められ三十臺の荷馬車で運搬されて遂に北部荼毘の煙と消え去つて了つた

吉長線各驛で　混合保管を開始
特產出廻り促進策

【吉林】事變以來吉長沿線一帶は著るしき匪賊の被害を受け、爲に特產の出廻り例年に比して約四十日間の遲延を示し、出廻りの一部には期待はづれして居つたが沿線主要地に於ける警備最近漸く緩和し特產の出廻り漸く促進の運びとなり二十一日より吉長線下九驛即ち[?]孤店子吉林の各驛に於て混合保管の實施をする事となつた由であるが吉敦沿線[?]蛟河方面は未だ遲延するもの如く多分十二月初旬頃より開始するものと見られて居る、尙一般特產の出廻りに就ては匪賊による影響甚大にして折角收穫しても運ぶ車馬なくして益々遲延の模樣である、之れに就き本年は價格も例年より安價と見られ收穫も昨年より四割近き減收の見込である

洮南新京を中心に 中國共産黨策動

ソウエート區域建設を目標に 政治工作方針を決定

中國共産黨は中國滿洲兩國全體を五區に分ち、各區に局を設け、その運動續行中であることは、既報の如くであるが滿洲國内に於てはハルビンに滿洲局を設け各省各縣に至るまで完全なる統制下におき地下潜行運動を繼續しつゝあり、滿洲國人民はその殆ど政治的階級意識薄弱なるに鑑みこれ等に對し徹底的意識を授け滿洲國内に一大ソウエートを建設すべく企圖し殊に大連、ハルビン、奉天等の下等階級民の密集地に完全なる組織を成立せしめんとするものゝ如き形跡ありと報道されて居る、しかしながらこれ等の各地方においては官憲の警戒嚴重なるため到底短日月の間ではその目的を達する能はずこれがため先づその第一階梯として根本方針を極力洮南新京一帶に集中し大活動をすることゝなり最近特別委員會を開催左記事項を決議活動するに決した

一、排日兵士の軍事教練問題　兵士をして完全に軍事教練をなさしむるために中國共産黨中央總會に對し士官學校卒業生五名を要求し南方赤色軍の戰術に倣ひ洮南城に於て地盤を占據しソウエートを建設すること

二、常住地開拓問題　各區及支部に比例し支那人、鮮人十五名以上居留する常住地帶には武裝隊を組織し、組織部員を督促しつゝ反國民反帝國主義同盟を組織せしむ

三、共産青年會に關する問題　十七歳以上二十四歳未滿の青年は全部共産青年會に加入せしめ軍事訓練を施し第二世赤色軍たらしむ

四、兵事運動問題　從來滿洲人は兵事意識薄弱なるため第三インターに依頼し共産大學出身者三名をモスクワより招聘してこれが徹底的普及を圖る

五、走狗機關撲滅問題　帝國主義前衛の役割を敢行する民會地方官憲及直接責任者又は自衞團保安隊を完全に撲滅すること【新京電話】

日本新聞協會に 總裁宮殿下台臨

創立廿年記念祝賀會

【東京二十一日發】日本新聞協會創立二十年記念祝賀會は晩秋の氣爽かな十一月廿一日から三日間に亘つて東京に開催された、第一日の廿一日正午過ぎ

會場　に充てられた東京丸ノ内東京會館には會員二百餘名參集、特に御任地名古屋から御歸京遊ばされた東久邇總裁宮殿下には滿浦會長以下全員の奉迎裡に會場に着御遊ばされた、これよりさき午後零時半から評議員會を開いて諸般の打合せを了し午後一時から三階會場に於て臨時大會を開き名譽會員德富猪一郎氏座長席に就き光永理事長の開會の辭に次いで創立以來二十年間協會のため

盡瘁　した理事長光永星郎氏に對して滿浦會長から感謝狀を贈呈し續いて議事に入り

一、國際聯盟に帝國各新聞の意見打電の件
一、同帝國代表に激勵電報打電の件
一、新聞賞制定の件

を附議何れも滿場一致可決して臨時大會を終り午後二時半から創立二十年記念式に移つた東久邇總裁宮殿下には全會員の最敬禮を受けさせられて台臨鎌田理事開會を宣し滿浦會長は協會の事蹟より時局に對する協會の覺悟を述べて式辭となし總裁宮殿下より優渥なる

令旨　を賜ひ滿浦會長より奉答の辭を奉り次いで内務大臣山本達雄氏、遞信大臣南弘氏の祝辭あつて式を閉ぢ會員一同は殿下を中心に記念撮影をなした、午後五時半から三階餘興場の餘興に移り櫻間金太郎社中の舞囃子「山姥」に滋味のある日本古樂の粹を味はひ續いて坂東三津美社中の舞踊「新鹿の子」「聯姻」に日本舞踊の華を賞し愈々午後六時半から四階食堂に祝賀晩餐會が開かれた、この晩餐會には

來賓　として齋藤首相以下各閣僚、各國大使及び朝野の有力者二百五十名の出席あり總裁宮殿下の台臨を仰ぎデザート、コースに入り滿浦會長の挨拶に對し齋藤首相は來賓を代表して謝辭を述べ五百名に上る大晩餐會は午後九時過ぎ盛會裡に終りを告げた

聯盟代表激勵

【東京廿一日發】日本新聞協會は廿一日二十周年創立記念大會を開き滿浦會長の名を以てジユネーヴの聯盟帝國代表激勵電報を發する」ことを滿場一致可決した

列車事故の 被害輕微

萬家嶺において旅客列車追突事件には幸ひ負傷者は少く乘客の一滿洲國人（三七歳人名不明）が顏面に擦過傷を受け他に列車内賣子一名負傷しただけで他は全部無事であつた

愛國號五機

秋晴の空を飛翔して 二十日奉天に到着

秋晴れの碧空を飛翔して愛國號五機（一三五號青木少佐操縱、二號一騎操縱、六一和歌山號加藤中尉操縱）は二十日午後一時二十分銀翼を連ねて奉天東飛行場に到着した岡部大尉操縱、五三大和號寺西中尉操縱……飛行輸送の大任を無事果した操縱の五氏は直に飛行場事務室において祝盃を擧げた、飛行場にて青木少佐は語る

明野を十九日午前六時二十分出發廣島、太刀洗、蔚山を經て京城に一泊し翌朝八時同地を出發當地平壤に着陸して點檢と燃料の補給を行ひ午前十一時四十六分出發してこゝに僕の時計でキッチリ二時に着いた、機體は良くそれに非常な好天に惠まれコースはとても樂で羅針盤を使用して眞直ぐに飛んで來た【奉天電話】

盛大な開場式

市中央卸賣市場の 廿一日 市營單一制實施

食料品市場に一新紀元を劃すべき大連市中央卸賣市場の市營單一制はいよ〳〵二十一日を以て實施せられ同日午後三時三十分から同市場に於て盛大な開場式が擧行された、これより先場内には萬國旗が交叉され周圍には紅白の幔幕が張られて如何にも市營市場としての門出を祝福するものゝ如く裝飾された、來賓は日下關東廳内務局長、永井大連、米内山旅順兩民政署長、平井親子窩民政署長事務取扱ひ、岩井少將、武部滿鐵地方部次長、大内市會議長、瓜谷商工會議所副會頭、石井大連、三澤水上、大場小崗子、三浦沙河口各警察署長、張大連市商會長、許沙河口商會長各市會議員、區長その他約四百名定刻岡野市場長登壇開會の辭を述べ次いで小川市長の式辭あり、來賓として日下内務局長、林滿鐵總裁（武部地方部次長代讀）高田商工會議所會頭（瓜谷副會頭代讀）大内市會議長、滿部仲買業組合長その他の祝辭朗讀あつて閉宴となり三十餘名の美形が酌に周旋し永井民政署長の發聲で「中央卸賣市場」の萬歳を三唱し頗る和氣靄々裡に同四時三十分閉式した

中央卸賣市場披露宴

式辭　小川市長

市民多年の翹望でありまする中央卸賣市場の組織が改善せられ本日各位の御賁臨を得まして茲に開場式を擧行するに至りましたことは私の最も欣快とする所で市民各位と共に洵に御同慶に堪へない次第であります、惟ふに近代に於ける產業組織の發達と都市人口の集中とは幾多の社會經濟問題を惹起するに至りましたが就中都市に於ける食料品の配給を如何にすべきかと云ふことは最も緊切なる事項の一つであると信ずるものであります。本市に於ては夙に時勢の趨向を察し物資の配給機關を整備して食料品の供給を圓滑にすると同時にその取引制度を改善して價格の決定を公正ならしむるため……

昭和七年十一月二十一日　大連市長　小川順之助

祝辭　日下内務局長

本日大連市中央卸賣市場の開場式を擧行せらるゝに當り祝辭を陳ぶるは余の欣幸とする處なり抑々本市場は昭和三年の開設に係り爾來五ケ年間本市に於ける生鮮食料品の卸賣市場として配給の任に當り來れるも獨市場組織及び運用に於て遺憾の點尠しとせず之が改善は大連市多年の懸案なりし處今や關東州中央卸賣市場規則に基き新市場を開設し卸賣業務の市營組織を企圖せられたるは時に食料品市場に一新紀元を畫するものと謂ふべく……本市の爲洵に慶賀に堪へざる處なり

昭和七年十一月二十一日　關東廳内務局長　日下辰太

林總裁祝辭

本日茲に市營卸賣市場の開場式を擧行せらる、寔に欣懷に堪へざる所なり、謹んで祝意を表すると共に將來本施設が益々堅實なる發展を遂げ市民の福祉に貢獻せられん事を庶幾ふ、茲に蕪辭を呈して祝辭となす

昭和七年十一月二十一日　南滿洲鐵道株式會社　總裁伯爵　林博太郎

仲買組合長祝辭

大連市多年の懸案でありました中央卸賣市場の組織も茲に改善せられ本日其の開場式を擧行せらるゝに當り我々一同參列致しまする事は洵に光榮であります、申し上る迄もなく卸賣市場は公正なる價段を定め配給の圓滑を計るのが最大なる目的であり……否は生產者消費者は勿論我々仲買商人に取りまして重大なる影響がありますので之が改善は我々の常に希望致して居つた次第であります。我々は今後各位の御指導に依りまして改善されたる御主旨に依り市場本來の使命に向つて努力致したいと思ふのであります、茲に仲買人一同に代りまして一言を申述べまして御祝辭と致します

昭和七年十一月二十一日　大連市卸賣市場仲買人組合長　滿部章太郎

市場役員

書記以下任命

大連市役所では中央卸賣市場の市營單一制度實施に當り二十一日午後二時左の如く人事を發表した

書記　橋本一郎
同　高橋貞吉
書記補　伊澤眞興
同　塚本健一郎
同　高橋忠良
同　原田佐四郎
同　横尾千代松
同　里地德郎
同　津田宇一郎

大連中央卸賣市場勤務を命ず（各通）

なほこの外事務助手長尾一登ほか十名も同様勤務を命ぜられた

學生雄辯大會

南滿洲學生雄辯會主催第二十四回全滿商門學校及び大學雄辯大會は二十三日午後一時より敷島町青年會館において開催出演者及び演題左の如し

上海から滿洲へ わが鮮人團の移住

どんな勞働でも仕遂げますと 一行四十六名來連

廿一日入港の奉天丸で上海在住鮮人一行四十六名（内婦人子供二十三名）が懐しい上海に見切りをつけ新興滿洲國で働きしようと殊勝な心懸けで上海鮮人滿洲移民團と銘うつて賑やかに來連した、一行は去る八月上海で惹起した例のバス事件で馘首にあつたものでその後

上海　であんなみじめな生活をしてゐたことを思へば更新した氣持で働けますよ

一同は水上署員に細い取調を受け一先づ大連署に向つた

私達は決心して來たんですよ、今度は何でもやります、どんな勞働でもやります、大連各方面に紹介狀を貰つて來ました、大連に就職口が無かつたら奉天へ

警察面喰ふ

就職斡旋方の歎願に 分宿させて對策講究

鮮人移民團の一行は上陸した足で鄭曉法（三〇）外十餘名が大連署に石井署長、末光高等主任を訪れ上海日本總領事館の就職斡旋方依頼の添書を差出し身の振り方を歎願

願出　にどうすることも出來ず取敢ず一行四十六名を市内監部通九六番地朝鮮旅館、大黑町二十番地大同旅館の二ケ所に分宿させ處分方法に就いて考究中である何分一行中二十三名は上海で英人經營の乘合自動車會社のバス監督し二三日の籠城すら出來ぬ悲慘な有樣で所轄大連署では一行の處分に頗る頭を惱ましてゐる

旅費　に大部分の所持金を消費し……四十名のうち十七名は朝鮮へ歸國二十三名は家族二十三名を引連れて來連したものである、しかし一行は仕度料……

今夜六時から大劇 大檢秋の踊り

會費 一般一圓五十錢 讀者一圓

大連シャンソン發表會 讀者優待割引券 この券持參者に限り一圓に割引 主催 大檢女紅場 滿洲日報社

大連シャンソン發表會 讀者優待割引券 この券持參者に限り一圓に割引 主催 大檢女紅場 滿洲日報社

淋病胃腸病無料治療

……透過光線料本院主　ジビエル　荒川泰

車内の煙草檢査 金州から開始か

お客さんの迷惑を考へて 還元實施されん

酒、煙草の密輸入を防遏する爲め行はれてゐる列車内の檢査は從來金州民政署に於て執行してゐたが當局では州境の警備店から開始するを適當と認めた爲め今春以來この檢査を普蘭店民政署の方に移管して仕舞つた、然るにその結果を見ると早朝大連に到着する十八十四號列車が州境通過の際は長途の疲れも未だ癒へやらず夢まどろむほの暗き未明であるので檢査員は止むなく叩き起さなければならない破目に陷りこの間乘客から非常な不興を買ひ爲めに近頃では當局の遣口は誠に不親切であるとの聲さへも表面化するに至つてゐるので當局は熟議の末元通り金州から開始することに方針決定せしもの如くその時期は近日中の模様である【金州電話】

吉林附近の 歸順匪賊六千名

招撫宣傳の効果顯著

吉林省城を中心としてゐた匪賊は省公署の匪賊招撫の宣傳等に刺戟を受け或は前非を悔ゐ……吉林派遣招撫委員會に歸順を申出たものが漸次多くなつた、即ち

一、自衞團に編成せる者十三頭目九百八十五名
二、歸順確定の者五頭目八百六十五名
三、歸順申込みの者十頭目千二百名
四、……三千名

佳木斯の匪賊

【ハルビン特電二十日發】十七日佳木斯の匪賊はわが守備隊に追擊され頭目王蟒、張如邦、黄槍會長護國文は戰死、部下は四散し再起の望みなきに至つた

長平丸に怪盜

大連天津航路長平丸は事務長室……

慰問袋

【東京二十一日發】雪の滿洲に十萬の兵隊が不眠不休で討伐に當つてゐる我滿洲派遣軍隊にせめてお正月らしい情趣を味はせよと「第一線へ第一線へ」急送する事となつたが陸軍省では恤兵金を割いて正月用慰問袋を作成し棒海苔、昆布、勝栗のし烏賊の福袋を一杯積込んで第一線へ發送を始めた外戰日中にレコード三千枚、新年用軍事雜誌書百五十萬枚を急送する豫定である

ダイヤモンド 密輸にお灸

【神戸二十日發】神戸稅關監視係並に神戸水上署刑事係は本年四月神戸入港の長崎丸甲板天井裏に密輸入の目的で隱匿されて居たダイヤモンド五十個價格五六萬圓に就き直接密輸者船員某々二名を引致嚴重取調べた結果右は當時上海に在つた大阪船場貴金屬商三谷照三の依頼に依ること發覺本年夏三谷の歸國を俟つて召喚訊問三谷は密輸を否定したが嚴封された封筒に入れて嚴秘に匿されて居た點前記船員の陳述に依り密輸は明瞭なので右品を沒收の上四萬圓の罰金に處せられた

故檜崎氏追悼會

來る二十二日は元滿鐵埠頭事務所長故檜崎猪太郎氏の第一次命日に當るので同日午後六時より大連海員集會所樓上に於て海員協會出張所、海員組合支部、海務協會共同主催の下に追悼記念會を開催する

海と空と (34)

高杉晋一郎作
橋本清史畫

手紙(六)

裏は聲を聞いただけで不愉快な直感を受けると振返りもせず、眉をひそめて手紙へ歸らうとした。と
「兄さん」と百合の聲がした。
裏は變に思つて振返つた。そこに百合と瑞枝が並んで笑つてゐた。シユミーズの白いのや手足の肉色が透いて見える羅物のワンピースの服に鍔廣の帽を被りその深い帽の蔭で瑞枝の細い眼が媚に滿ちて笑つてゐた。
「何しに來た百合」
裏は少し怒氣を含んだ聲で百合に云つた。百合はそんな風に云はれた事が不滿さうであつた。
「だつて杉田さんが兄さんを訪れてらしたんだもの、私連れて來てあげたのよ」
充分ほめられる事をしたつもりの百合にそれ以上咎めだてする事も出來ず、裏は仕方なく瑞枝の方へ視線を向けて自分を抑へて輕く目禮した。
瑞枝は身をよぢるやうなお辭儀のし方をすると
「お邪魔ですわね、どうぞお讀みになつて下さいな、わたし此方で暫く涼んでゐますわ……暑かつたこと」
さう云つて洋服の襟へ手をかけて風を入れるやうに隙間をつくり遠く水平線の方へ眼を細めて大きく深呼吸をした。彼女は今日は何か肉感的な感じを持つてゐた。先夜あれだけ侮蔑的に扱つた女が尚彼を訪ふて來ると云ふ事は裏にとつて殆ど不可解だつた。變な女だ、さう思ひながら彼は、構はず手紙へ戻つて讀み始めた。手紙の中の靜かな谷の口調に引込まれて間もなく裏は再び思索のみの世界へ沒入して行つた。
暫く默つて涼んでゐた瑞枝はやがて百合を相手に何か喋り始めると、立上つて、岩傳ひに沖の方へ出掛ける氣配が手紙を讀んでゐる裏に感ぜられた。裏は放つて置いた。
「……君は少年の頃から極端より極端に走る性質を持つてゐた。多分それはやがて大きな完成を作りあげるまでの波動を意味してゐるのだらうが、君に於てはその波が甚だしく激しいので勢ひ餘つて岩壁に自ら身を打ちつけ粉碎しかねない危險が屢々ある。僞善を憎惡すると云つて全ての善から逃避する事は反つて故意に生活を歪め二重の虛僞に陷る事になりはしないだらうか」
そんな風に谷の手紙は續いてゐた。成程と思つた。確に自分には人間の眞實から出た行動までをも虛僞として取るやうな危險があるかも知れない。さう思ふ時、彼の本來善良な心は不安になるのだつた。どんなに善良な人々の純情を今迄傷つけて來たか知れない。然し彼は自分でそれを否定しやうとした。いや谷は未だ人間がどれほど虛僞で固まつてゐるものかを見得ないでゐるのだ、とさう思はふとした。然し谷の風貌を眼前に浮べて見る時、その秀でた額、少年の頃から精神的苦難を經驗してゐた事を如實に語る眉の表情、高い意志的な鼻などが、彼を威壓するやうに迫つて來た。彼は默然と考へ込んで行つた。
ふと、微な脈動性の響きを耳にして眼を上げると、小平島の沖合から星ケ浦海岸の方へ向つて此の沖を通過する白いモーターボートだつた、岩の方でもそれを見つけたらしく百合の大聲がした。間もなく意外に遠く深い方まで渡つて行つてゐた二人の影が一つの岩の上へ現れて來た。百合が沖の方を向いて、モーターボートへ手を振つて見せてゐる。それと並んで身動きもせず後姿を見せて立つてゐる瑞枝を、一寸美しいと裏は思つた。海風に吹かれて飛ぶやうに激しく一人のスカートが搖れてゐる。百合の時々風に抵抗し得ないやうに瑞枝の手に掴まつては聲だけはしやいで次第に岩間の間近へさしかゝるボートに合圖をした。誰か知つてゐる人が乘つてゐるのかな、と思つて裏はボートの方へ眼をやつた。ボートは丁度その時岩の蔭になつて見えなくなつて了つた。彼は再び視線を百合のゐる岩へ戻した。——同時だつた。百合の叫びと共に二人の影が變によろめいて、向ふへ崩れるやうに落ちて行くのが見えた。裏はすつくと立上つた。

お邪魔でさわね どうぞお讀み下さい わたし……

kiyo

けふの放送

大連 JQAK 十一月二十二日

▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時二十分 ニユース(以下內地中繼、六時三十分)
▲講演「青年記念日に際して青年團の實情を語る」大日本聯合青年團常任理事田澤義輔
▲運動競技(七時、日比谷公會堂より)帝國拳鬪俱樂部主催拳鬪試合狀況
▲フルート合奏と獨唱(八時)(一)フルート合奏、フルート三重奏曲よりアレグロ(ノイマン作曲)(二)獨唱フルート助奏附(イ)風よ我吹く調べ(チヤメクニツク作)(ロ)輝く湖(リユーランス作)(ハ)黎明(キヤドマン作)(ニ)ミネトンカの湖畔にて(リユーランス作)(三)フルート合奏(全員)埴生の宿變奏曲、岡村フルートアンサンブル、獨唱バイソンロイデン、フルート助奏及合奏指揮岡村雅雄、ピアノ伴奏萬澤恒、第一フルート岡村雅雄、同桑原りき子、第二フルート滑方新、同齋藤三藏、同奥平武、同平林弘
▲三曲「星の曉」(八時三十分)(以下大連放送局より)三絃編永大勾當、箏木次初榮、尺八草崎圭山
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報

第十二回 滿日特選碁戰

先相先 四段 長谷川章氏
先番 三段 渡邊英夫氏

●	○
一〇一 ヌ十七	一〇二 タ八
一〇三 ヨ八	一〇四 ヨ九
一〇五 カ九	一〇六 ヨ十
一〇七 カ八	一〇八 ヨ十二
一〇九 ト十	一一〇 ワ十五
一一一 ワ十四	一一二 ワ十二
一一三 ワ十三	一一四 ヌ十六
一一五 リ十七	一一六 ル十二
一一七 ル十三	一一八 ヌ十二
一一九 テ十六	一二〇 ワ十六

—【6】—

對局者の感想

黑曰く 百九は此所を捕られては負けですから左邊の石は如何なつても致方がありません
白曰く 百十以下の攻め方には種々あつて分らなかつた黑から百十九さのぞかれる手をうつかりしてゐたのでこれでいけません

満洲日報
十一月廿一日發行
大連市東公園町三十一番地 満洲日報社

愈々けふ開く理事會
日支代表演説後休會し次の公開會議迄私的交渉

【ジュネーヴ二十日發】理事會議長デ、ヴアレラ、聯盟事務局長ドラモンド兩氏は今朝打合せの結果

一、理事會は二十一日午前十一時(満洲時間午後六時)開會

一、先づ非公開會議を開き議事手續を協議す

一、公開會議は劈頭満洲問題を扱ひ松岡全權の演説を以て開始す

と決した、松岡全權に次いで支那代表も演説すべきも顧維鈞事故にて顔惠慶代らん

【ジュネーヴ二十日發】二十一日の理事會は公開會議で日支代表の演説聽取後暫く公開會議を休む段取になる筈だが次回の公開會議迄の期間における私的交渉こそ最も重大でわが代表部では萬善の用意を整へて居る

満洲問題の解決困難
報告書の一部を條件附で採擇か
理事會大國側の觀測

【ジュネーヴ二十日發】理事會は開會を前に暗雲に閉ざされて居り、大國筋の態度では理事會の手で紛糾せる満洲問題は解決困難と觀測されてゐる、日本が満洲の自治、満洲からの歩兵撤収に反對し満洲國獨立承認を固守せば、結局リツトン報告書を全部拒否することゝなると見らる、さればといつて聯盟側は支那の領土保全を國際義務において維持する途は日本を除外しては不可能と認め、又極東の平和維持はリツトン報告書よりも日本の提示する方法が有効なることを承認してゐる、斯くてヂレンマに陷つた聯盟理事會は結局報告書の第八章迄を日支兩國の意見書及び保留條項附きで採擇し第九、十、兩章共に總會の解決に廻すことになろう

我松岡代表の第一聲
卅分に亘り堂々所信開陳

【ジュネーヴ二十日發】我代表部は今朝九時半から佐藤大使議長となり、松岡、長岡、松平三代表を除く首腦者の參與會議を開催し、正午過ぎまで約三時間に亘り事務上の打合せを遂げた、代表部は何れも愼重一糸亂れざる統制の下に協調一致仕事に當つてゐる、松岡代表は誰よりも早く起床午前八時から十時過ぎまでレマン湖畔を散策しホテルに歸るや、演説の準備に着手したが二十一日の演説は我代表部の理事會における第一聲なるに鑑み特にこれを重視しリツトン報告書に對する政府の意見書を基礎とし堂々三十分餘に亘つて我所信を力説聲明する豫定である

正面衝突を覺悟して

【ジュネーヴ廿日發】我代表部の理事會に臨む根本方針は東京との打合せで

一、一時的遷延策に絶對反對し、

この寫眞は去る日リツトン卿一行が張學良の歡待を受けて北平北方の十三陵見物に出かけた時、調査團隨員の一人が撮つたもので、學良の最近の寫眞として御覧の通り全盛當時の面影はなく親讓りの大満洲を棒に振つて阿片で露命をつないでゐるその哀れな姿がそのまゝ寫つてゐる【寫眞は石像の前で仲よく並んだ學良とリツトン卿】

三國代表訪問

【ジュネーヴ二十日發】二十一日理事會に出席すべき英佛伊獨の三理事國代表は二十日夜又は二十一日早朝何れもジユネーヴ着の豫定で松岡代表は理事會開會前にこれ等代表を訪問する筈

今次會議中に總てが結末つける

一、理事會をして充分に報告書審議を遂げしむ

一、若し右方針と相容れぬ態度を執らるゝ場合日本は何時迄も之に拘つてゐる必要を認めず、自主的に斷乎たる處置を執るのみとの三根本方針を決定したが、その貫徹方針につき今朝九時半から參與會議を開き詳細研究を重ねた而して松岡全權が如何に努力するも聯盟側が主張通り満洲問題から手を引くことは期待し難く手續問題においても

一、我意見を無視し遮二無二總會に移す場合

一、我認め得ざる決議を附し總會に移す場合

は日本は到底理事會出席を繼續し得ざるは明かで、この場合正面衝

日支の支持を確信してゐた
リツトン卿語る

【ジュネーヴ二十日發】二十一日開會される聯盟理事會に出席すべきリツトン卿は今朝ジユネーヴに到着した、理事會には委員長としてリツトン卿のみが出席の模様で説明を求められゝばリツトン卿が答辯するが、重大問題に關しては他の諸委員と打合せの上答辯する模様だ

【ジュネーヴ二十日發】理事會出席のため二十日到着したリツトン卿は記者に語る

調査團は未だ解散された譯でないので、今回の理事會總會で報告書に關し疑義の生じた場合を考慮し調査團一同が召集された譯だ、余が報告書を起草する時は[illegible]し決心しその具體案一についても充分の研究を重ねた上は日支兩國は勿論凡ゆる部分の支持も受けるものと確信してゐた、日本で惡評を貰つたのは意外であつた、日本が満洲國を遠からず承認するといふ事は既に外相より明瞭に聞いて知つてゐたから満洲國承認によつて報告書の結論を修正しなければならぬとは考へない

記者が更に「日本の満洲國承認を取消されるつもりで結論を書いたのか」と突込むと

そんな明瞭な考へで書いたものではないと力む譯には行かぬだらう

と語つた

眞實と誠、必ず通る
けさ松岡全權放送要旨

【東京二十一日發】諏訪府からの松岡全權の放送は今朝六時半から行はれた、空電のため感度惡く聽取困難だつたが、その要旨左の如しラヂオを通じて故國の皆樣に御挨拶の出來る事は何さもいへぬ喜びです、私が北歐に來て毎日思ひ出す事は故國を出づるに臨み、國民から熱誠且つ熱烈な激勵と可憐な少年諸君の日の丸を振つて「しつかりやつて下さい」と後援を受けた光景でありますが如何なる決心で會議に臨み、如何にするかは出發前既に申した通りで、この決心と精神とは變りませぬ、然し眞實と誠は必ず通ると確信する、吾々は只神樣の前に立つて少しも恐れるところなく邁進するのみである

支那は條件附で報告書を受諾

【ジュネーヴ二十日發】支那全權顧維鈞は記者團に對し左の如く述べた

支那は聯盟規約の新條項に訴ふる餘儀なくされやう、支那はリツトン報告書を或る條件附で受諾した

【ジュネーヴ二十日發】支那側では今日迄リツトン報告書に對する意見書提出の模樣なく日本の意見書を見た上で提出する事になる模樣

理事國代表諸公の公正なる態度希望
謝外交部總長の聲明

満洲國政府は二十一日謝介石外交總長の名を以て内外に對し重大聲明を發した、右は日支紛爭解決が既に治安の回復し獨立國としての内容を整備し將來への永續性を確認された満洲國を無視しては不可能でありこれを認むる外東洋の平和を維持する道なきを確言した極めて重視さるべきものである、

今期の聯盟理事會において新たに満洲問題が討議の中心となるものと考へられるけれどもわが満洲國の獨立は嚴

聲明書の内容

然たる事實にして、國基は既に鞏固となり獨立國家としての機能を充分に發揮しつゝあり、百般の政治は堅實に進行しつゝあり、過去八ケ月間における治績はこれを雄辯に語り居る、我國は政治聲明せる如く空論を捨て、内國力の充實を圖り、一方對外的には王道による外交政策の完成を期し、外國と友好關係を結び、極東平和を確立するを以て唯一の途と信ず國政參與人員は熱意と鞏固なる決心を有し、國務に從事してゐる、然るにリツトン報告書は満洲國の獨立を否認するが如き提議をなしてゐるが、同氏の誤謬はこれに對し最近勃然として興つた我國民の反駁及び意思表示によるも顯然と立證せられ、國家に對する全國人民の熱誠には今更ながら我々も感激してゐる、賢明なる聯盟理事會代表諸公は單なる對面とか從來の行きがゝりに拘泥することなく、我國の堅實の歩みを正視し公正に我立場を理解し我等を信頼して正當且圓滿なる落着を期するやう努力せられるものと信ずる【新京電話】

各派の意見書批評

【東京二十一日發】リツトン報告書に對する帝國政府の意見書に對する各派の批評左の如し

政友 リツトン報告書の認識不足なる事は周知の事であるがわが意見書はこの認識不足の諸點を充分明瞭にし日本の盟主たるべき使命を宣示して餘す處がない、聯盟は誤謬だらけの報告書を審議するに當つて、充分わが意見書を尊重その責任を盡すべきである

民政 帝國政府の意見書はリツトン報告の認識不足を訂正し聯盟の審議を正しく導くことを目的とするもので誠に妥當なものである、わが根本方針については、これは當然の主張であるから兎や角言ふ必要はない、然し特にリツトン報告書の誤謬中最も甚だしい點、即ち

一、九・一八事件の日本軍の行動は自衞手段と認むるを得ずと附言せる事

二、満洲の獨立は日本の使嗾に基くとせる事

は満洲の實情を無視せる認識不足の報告である、從つて二十一日よりの聯盟理事會においては帝國としては此等の點を明かにする必要あり、その結果萬一日本全權と列國側との主張に相違來すやうな事があるも帝國としては飽く迄既定方針を以て邁進すべきのみである

國同 帝國が極めて穩健なる意見書を提出しリツトン報告の誤謬を指摘し支那とは何ぞや、満洲とは何ぞや、何故満洲國を承認せざるべからざるかを教へ斷乎たるわが決意を明かにしたるは當然であるが、更にわが全權が

一、支那自身の結べる日支條約の侵犯により九・一八事件の生じたこと

二、支那の排日言動は國民政府の背景に基くこと

三、満洲國獨立は東洋平和に不可缺にして聯盟規約九ケ國條約等に合致する事を特に力説して欲しい

貴院 貴族院は嚢にリツトン報告書の發表ありし時より之が斷乎たる排撃の必要を感じてゐたが、今回の政府の意見書は何れの部分について見るも帝國政府は當然いふべき事を記述したもので反駁的意見書といふには多少不足を感ずる位なるも誠に適切穩當なるものといふ外ない

硫安工場案審議
けふの満鐵重役會議

満鐵重役會議は二十一日午前十時より開會、林、八田正副總裁、村上、竹中、山崎の各在連理事に來連中の新渡、永谷兩顧問を加へ、緊急問題たる硫安工場案につき審議し正午休憩した、午後は更に同問題を上程討議の後八田副總裁、村上、山崎兩理事より新京訪問の報告および竹中理事より旅順訪問の報告がそれぐある筈、なほ硫安工場問題は既に政府と内地同業者側との諒解も濟んで居り満鐵の最終的意思表示をまつのみとなつてゐるので重役會議においても決定を急いで居り恐らく同日中には決定を見るものと見られてゐる

わが四代表祖國へ放送

【ジュネーヴ二十日發】松岡全權のジュネーヴ入り以來各國代表は意外に強硬なる日本の態度を知り驚愕困惑の色あり、殊に支那代表部は狼狽して緊急會議を開き日本の意見書に對抗して今晩中に支那の意見書をでつち上げ盛返しを圖ることを決定した模樣である

【ジュネーヴ二十日發】松岡、長岡、佐藤、松平の四代表は二十日より四日間故國に向け放送を行ふ事になつた、時間は午後五時半(満洲時間二十一日午前零時半)からで二十日は先づ松岡代表の第一聲が放送される

排日先鋒の西國代表
マ氏更迭決定

【ジュネーヴ二十日發】理事會スペイン代表は外相ヅルエッタ氏と決定し、從來排日の先鋒と見られてゐたマダリアガ氏は代理として臨時出席し得ること、なつた、ヅルエッタ氏は今朝當地に到着した

小磯參謀長けさ着京

【東京二十一日發】小磯關東軍參謀長は有富副官を隨へ二十一日午前八時三十五分着京した、同參謀長は午前九時參謀本部で閑院參謀總長宮殿下に拜謁、満洲國全般の狀況特に兵匪討伐の現況、満洲里邦人監禁事件、熱河問題その他につき詳細御説明申し上げた後、眞崎次長以下首腦部と會見、同樣報告協議更に午後一時より官邸で陸相、次官等陸軍省首腦者と會見報告する筈、滯京五六日の豫定

駐日通商代表更迭

【モスクワ二十日發】モスクワ政府は本日附駐日通商代表アスタキ氏を更迭しウラジミール、コーチエトフ氏を後任に任命した

有吉公使歸任

【東京廿一日發】有吉駐支公使は二十一日午後九時半東京驛發上海へ歸任の途に就いた

人事

ほんこん丸 二十二日午前八時半大連港外着豫定

▲富永能雄氏(満鐵鞍山製鐵所次長)二十一日午前七時着來連
▲右近又雄氏(同上庶務課長)同上
▲羽田彦四郎氏(前代議士)同日午前八時着來連
▲關鍾氏(四洮鐵路局長)同日午前九時發北行
▲高岡又一郎氏(高岡組常務取締役)同上
▲坂西利八郎氏(豫備陸軍中將)同日午後一時出帆長平丸にて天津へ
▲池田嚴氏(長崎毎日新聞社長)廿日入港のはるびん丸にて來連廿四日出發北方視察の由
▲奥山信夫氏(同上總務)同上

蛇角

◇リ報告に對するわが政府の意見書堂々公開、言ふことは言ふて凉しき男かな、の感あり。

◇リ報告の木ツ端微塵ぶり痛快。これで判らにや判らぬ奴が惡い。

◇それにしてもリツトン卿一派の感想は如何。

◇在ジュネーヴ聯合記者團ふて曰く「日本の満洲國承認を取消すつもりで結論を書いたのか」

◇リツトン曰く「そんな明瞭な考へで書いたものではない」

◇と辯解すると思ひきや「……とカむわけにも行かぬだらう」は一寸解せぬ言ひ分。

◇支那側、驚愕狼狽、一夜作りの意見書發表の説あり。

◇そのお粗末ぶり、われ等いづれ批評仕らん。

◇お次は松岡代表、いよく本舞臺の正面へ、聽かも欲し、その見舞大見得。

號外發行 廿日午前零時ジユネーヴにおいて發表した「リツトン報告書に對する帝國政府の意見書」を號外として本紙讀者に配布しました

満蒙の戰慄 (159)
直木三十五 作
淺枝次朗 畫

再生 (九ノ三)

(店をよした)

西城は、自分の立場を考へると、手を受けて待つてゐる。女はいい。すぐ、次の店が、――俺の方は――

と、思ふと、會計から、サラリーを前借して行かうと考へてゐたことが、躊躇されてきた。何かしら、それが、自分の首と關係してゐるやうに感じられた。

(首がとんだつて、今日、金なしに逢ひに行けるか)

「ちがふよ。あの給仕、人を欺しやがつて」

「麗から、やいのやいのだな」

席へ戻つてくると

「ではないでせう、ちやんと、こゝまで聞えてきてるよ」

「君、いくらか餘裕があるかい」

これを傷けざるは孝の始めなり、

身體髮膚はこれを親より受く、

トを受取つて、算盤をいぢりつゝ、

と、云つて、事務員から、ノー

「その傷か、そもく、その傷が、んぞ――」

「病院へ支拂ふんです」

かきつゝ、笑つた。

二人の事務員が、鉛筆で、頭をないか」

「嘘つけ、顔が赤くなつてるぢやないか」

「さうぢやないです」

あづかつてたらんぞ」

エへ入れ揚げる金なんぞ、俺は、カッフつとるといふぢやないか。カッフ

「近頃、カッフエへ出入して、困

「何がです」

「君か――君はいかんぞ」

をぢろつと見て

そう云つて顔を上げると、西城やないんだらう」

健康週間中の大催物 變裝者探しと寶探し
二十三日新嘗祭當日午後一時 電氣遊園内で開始

健康週間中の大催し物である戸外デーは既報の如く來る二十三日の新嘗祭當日に電氣遊園に於て擧行するが、當日の呼び物である變裝者探し並びに寶探しは何れも午後一時より五發の煙火を合圖に一齊に開始されることゝなつた

その方法は、先づ變裝者探しは合圖の煙火と同時に五名の變裝者が場内に現はれ、群集の人々の間に紛れ込むことになつてゐるが、右五名の變裝者は目下主催者側で適任者を物色中で、當日の朝刊に變裝者の素顔の寫眞を掲載して一般に知らしめることになつてゐる

變裝者發見の場合はこれを場内音樂堂の戸外デー事務所に連行して委員によつてその眞偽を決定し、眞物の場合左の如き賞金を授與することゝなつてゐる

▲第一番發見者 賞金十圓
▲第二番發見者 賞金八圓
▲第三番發見者 賞金七圓
▲第四番發見者 賞金六圓
▲第五番發見者 賞金五圓

右によつて五名とも發見されたる時には煙火二發を打上げて一般に知らせる筈である

又寶探しは會場内の歩行禁止區域、屋内、樹上等を除いた無邊歩行區域に二百の寶券を隱しておくが、この寶券が木であるか石であるか、又ひは紙、竹であるかは午後一時の合圖の煙火と共にその見本を場内音樂堂の戸外デー事務所に於て一般に發表することになつてゐるが、寶券は本社苦心のもので、婦女子にも解り易いものである

この寶券發見者はこれを戸外デー事務所に持參して抽籤券を引き賞品を受領することになつてゐるが二百名の幸運者に贈呈する寶は左の如くである

桐タンス一棹、粒ゼピア高級トランク、松坂屋製上等毛布、デワー新型腕時計、高級組合せ文房具、美活石鹸等二百點

尚當日は滿鐵地方部の好意によつて電園の人氣ものメリーゴーランドを七歳以下の子供さんに限り無料で解放することになつたが、この開放は整理上一人一回に限り無料である、ともかくも、寶探しと云ひ、變裝者探しと云ひ、又メリーゴーランドの無料開放と云ひ戸外デーにはいよ／＼興味を添へ當日の盛況は今より豫想されてゐる

健康診斷の受診者 物凄いほどに激增
本年は昨年とは一變

健康週間第三日の二十日は、日曜日ではあり、珍しい好天氣ではあり、健康診斷の受診者は俄然激增して、讀家屯の赤十字醫院だけでも僅か二時間の間に百七十九名の受診者があり、ほか當日の受診者總計大連市中だけで四百名以上と概算され物凄い激增ぶりは各醫院を驚かしてゐたが、この健康週間なる催しが如何に全市民の期待に副ふものであるかを實證せるものである、受診者は内科が最も多く小兒科、皮膚科之に次ぐが、内科に於ては既報の如く呼吸器病の早期發見が多く非常に注目されてゐる、又皮膚科は昨年の健康週間には受診者が非常に少かつたが本年は激增し、何れも病氣昂進する前に僅かな治療によつて全治され得ることを諭され受診者も大喜びで歸つて行つたが、健康週間の眞の目的を果すものとして有識者より多大の稱讃をうけるに至つた

全滿戸外デー 一週間延期
滿鐵社會主事會議

全滿戸外デーはさきに一月十五日に擧行することに決定したが、十九日の滿鐵社會主事打合會において一月二十二日に延期することに決し地方部次長の許可を得て近く發表を見ることゝなつた、延期の原因は十五日は奉天に全滿氷滑大會があり、戸外デーの花形たるスケート選手が奉天に集まるので戸外デーを淋しくする虞れあるのと奉天においても當日二つの催しが對立する結果共倒れになるとの意見が出たゝめである、これに對し氷滑大會を廿二日に延期すべしとの意見が出たが、同大會は二十九日に鴨綠江に開催される全日本氷滑大會の滿洲豫選をなすもので是非二週間前に開きたき旨體育主事よりの希望出で結局戸外デーの方を一週間延期して二十二日に全滿一齊に盛大に擧行することゝなつた

滿鐵地方部の社會主事會議

滿鐵地方部社會主事會議は十九日午前午後に亘り野尾地方課長、中根社會施設係主任以下地方課關係者、沿線各地社會主事全員出席のうへ開いたが、先づ十月から實施の御下賜金を基礎として貧困者に行つてゐる救療事業につき實行上の貫徹を期するため種々協議するところあり、各主事より實施狀況の報告あつて今後連絡を充分にすることを申し合せ次いで一月中旬打合せに移り、先づ地方部から實施決定の第二回全滿戸外デーの實施要項案を提示説明し社會主事から沿線の希望を具陳結局沿線から十五日の實施は奉天でのスケート大會に衝突するため廿二日に變更方を希望し結局地方課で再考慮することゝなつて散會した

伊勒克特の邦人 八名の行方
難を避け山中彷徨か

【チチハル廿一日發】廿日西部線から徒歩でチチハルに着いた一露人の話によれば伊勒克特にある札免採木公司の日本人男五人、女三人は今回の事變を知るや九月廿七日より同地を脱出して北方の山中に避難し雪深い大興安嶺中を山越え川越えにさ迷ひ歩き人生の最大悲慘をなめつゝ十月中旬ハイラル東北方の某村落まで辿り着いたことは分つてゐるがその後の行方は杳として不明になつた、尚右八名の日本人男女が難を避けた後の札免公司は暴兵のため掠奪された後燒き拂はれ同公司に使用されてゐたロシア人及ポーランド人等は日本人を逃がしたとて捕縛投獄されたが未だ生死不明であると

在滿の各義勇軍に 反學良熱擡頭
間隙に馮系部下活躍

【洮南二十一日發】熱河各地の義勇軍連絡員と稱する李某の談によれば滿洲各地に散在する義勇軍の間には最近學良排斥の熱が優勢になり義勇軍に對しては數ケ月軍費彈藥を支給されぬのみかこの寒季に向つて防寒具も與へられざるため現に各地の義勇軍は學良から前進の命令を受けてゐるが何れも馬鹿々々しいとして應ぜない有樣である、この空氣を見てとつて活動を開始したのが馮玉祥で腹臣の部下數名を熱河に潛入せしめ各義勇軍に反學良熱を煽動し既に學良を見棄て馮玉祥に寢返らんとしつゝある義勇軍も相當多く學良の威令は全く行はれない狀態である

永井署長歡迎會

實業同志會は來二十一日午後六時半よりヤマトホテルに新任の永井民政署長を招待し歡迎會を催すさ

日滿聯合賣出し
既に抽籤券二割四分を賣り 成績良好、當業者樂觀

建國記念日滿聯合賣出しは三千圓の福券付が人氣を呼んで市中の小賣商は本年掉尾の販賣戰に是を利用して景氣回復を期してゐるが輸入組合内事務所にては既に加盟商店、邦商三百三十店、滿商六十店計約四百店を數へ既に抽籤券十二萬枚を賣盡してゐる、賣上豫定數五十萬枚中二割四分を賣盡したわけであるが、この勢ひでは年末までに豫定數抽籤券賣上確實とみて組合事務所においては樂觀してゐる、たゞ市中邦商中三越、浪華洋行の如き大商店で形勢觀望中のものあり、中には獨自にて景品付賣出しを計畫する向もあるが是等は結局不可能にて組合に加盟するものとみられてゐる

蘇家屯驛表彰
二月來無事故

滿鐵々道部長は今回蘇家屯驛に對し左の無事故表彰狀を授與することゝなつた

昭和七年二月十三日以降場内走行粁十五萬粁に達しその間運輸責任事故皆無なりしは畢竟驛員一同常に克く職責を盡し協心戮力注意周到の致すところにして他の模範とするに足る仍て驛區無事故表彰内規に依りこれを表彰す

滿鐵旅客列車追突
けふ萬家嶺關子間で 乘客中にも負傷者

廿一日午前十時四十分ごろ旅客第一九列車（大連七時發大石橋行）が萬家嶺、關子間一四二キロ二〇〇附近に差掛つたとき折柄停車中の四五四列車（單機で八〇列車の後押をなし引返しの途同所に停車中のもの）に追尾衝突し機關車一輛脱線、客車機關車各一輛破損した、このため旅客第十一列車より同所は上線による單線運轉を行つてゐるが、乘客には打撲者がある模樣で目下取調中、なほ滿鐵々道部から係員直に原因調査のため現場に赴いた

交通訓練デー けふ第一日
市民の注意を喚起

大連四警察署聯合の交通訓練デー第一日、二十一日は午前九時から交通係員、非番警官がごつと繰出して繁華な街頭に立つて幼兒を道路で遊ばすな無暗に道路に飛出すな道路は綺麗に物捨てるな等々の標語を刷込んだ宣傳ビラを歩行者に配布する、別動隊はタクシー業者を中心に諸車取扱ひの方面へ

一、常にブレーキ檢査して規定速度の制限守れ
一、街角通過は音響器鳴らし徐行の習慣必ず付けよ
一、左小さく、右大廻り、路上停車は妨害するな

の交通安全標語の刷込みビラを撒布して廻る、かくて第一日は完全に宣傳の實を擧げ市民の注意を喚起した

昨夜來連の 川島芳子孃 突如大連署長に 嚴重抗議に及ぶ
聞いて見れば何のこと

二十一日午前八時すぎ出勤したばかりの石井大連署長の卓上電話のベルがけたゝましく鳴る——「モシ／＼私川島です」・艶福家ならざる石井署長へ朝ッぱらから女の聲、小首かしげた署長「一體貴女はどなたです」と相手の正體を確むれば鈴に艮つたやうな

◇…女聲 ながら急に「僕です」と男の言葉に變る、電話の主こそ二十日夜特急「はと」で多田少將と一緒に突然來連した川島芳子さんなんである、石井署長への用件は何んでもけさほど大連署の警官がサイドカーで芳子さんの宿所に乘りつけさきに芳子さんが上海から持つて來た自家用自動車を某所に預けて置いたところ所有者不在で秋期檢査も受けなかつた不都合なものらしい、そこで芳子さんが石井署長への抗議——「私は只今日滿兩國のため奔走してゐる身です

◇…些細 のことで文句を云はれるのは困ります」と厳しい抗議を申込まれた、石井署長面喰つて「早速調べて見ます」で保安主任に命じて各派出所に就いて調べて見たがどうも芳子さんに警告を發した形跡がない、よく／＼調べて見るとどうやら警備違ひらしく芳子さんに叱られた石井署長「何んだ僕が犠牲者になつた譯か」と苦笑、芳子さんと自動車とは特殊さの因念はさても深いものでかつては沙河口署でスピード違反で告發したこともあり、つい先日は齋藤朝の鳥居樣が來連の折檢査證明がなく大連交通係河原部長から油を絞られたことがある、その時も芳子さん

◇…柳眉 を逆立て廣石保安主任を電話で呼び出して「不都合な警官です、私に謝らせて下さい、私はいゝけれど皇后樣にすみません」との強談判—面目一方の廣石警部も敗けてたらず「いくら何んでも關東州には關東州の規則がある、それによつて取締つた警官を貴女に謝らせることは出來ぬ」とこゝで警官の謝罪問題はどうやらケリが付いたがこの調子だと自動車をめぐつてどんな事件が起きぬとも限らぬので警官連中「どうか芳子さんが自動車で蒙古旅行と出かけて吳れぬかなア……」

ロシア石油船
大連に入港

ロシア石油の滿洲市場へのダンピングは本春來注目すべきものがあり既に英、米物を壓倒せんとして船毎に多量輸入されてゐるが、中東鐵路扱ひキングベルト號は浦鹽より廿一日朝入港寺兒溝棧橋に繋留、同船は石油十萬五千箱を積卸する筈で曾て同船は今春約十八萬箱の石油をダンピング用として揚荷してスタンダード石油會社に脅威を與へたものである

哈市依蘭河一帶 賊影を見ず
楊の部下六千敗走

【ハルビン廿一日發】沈林附近に蟠居してゐた兵匪は自稱吉林自衞軍中路で楊耀鈞の指揮する第一軍曹慶林、第二軍李福亭、第三軍胡鳳林、總兵力約六千と傳へられたが先般甲村、松田兩枝隊の砲撃に遭つてその大部分は敗滅し

東方 の山地に逃げ込んだものは一千六七百なるが彼等は食糧彈藥缺乏のため士氣沮喪し胡は部下三百を率ゐて帽兒山南方の極子房附近に遁入し、他の一千餘は楊及李等が指揮して十二三日頃東部線を越え黑龍宮方面に遁れた、それがためハルビンから依蘭河に至る一帶の地區には賊の影を沒し自衞團の組織により著るしく平穩となり特產出廻り期によつて馬車の往復盛となり活氣を呈し來り住民は我軍の活動に心から

感謝 してゐる、なほ前記黑龍宮方面に逃げ込んだ楊軍敗殘兵討伐は先に寶熙で吉林軍に歸順せる李景福に屬する四千の兵力で徹底的に大掃除をなすことに決定した

抵當詐欺
告訴狀提出

市内監部通り丹野仁三郎氏は市内惠比須町一番地關口慶次（五二）を相手取つて小崗子署へ文書僞造詐欺の告訴を提起した、右は昭和四年關口は自己所有の市内惠比須町一番地家屋一棟が既に一番抵當に入り登記完了しあるものを民政署の登記證書公文書を破棄し抵當權順位は第一位であると稱して前記告訴人丹野氏を詐稱し右家屋を抵當として金一千五百圓を借りたのが最近に至り丹野氏は右家屋は既に前抵當者のため競賣に附され自己所有證書は二番抵當權であることが判明告訴に及んだものであるが關口は他にも同樣借用證僞造並に詐欺横領多數あるので同署で引續き取調べ中

奉天の工業用地 貸下は明春
眞實の企業家を選擇 土地政策確立も考慮

奉天鐵西の工業用地に對する土地貸下希望は奉天の工業熱に煽られて非常な盛況を呈しほとんど全面積に達するに至つたが今年は滿鐵側の準備が整はざると眞實の企業家を選擇する意味で遂に貸下げ行はれず一切

明春 に持ち越されるに至つた、しかし交通上および關稅上奉天は將來の工業中心地たるべくこの方針は大體關係各方面に一致してゐるので今後は同地に各種工業が族生するものと豫想されてゐる、殊に鐵西は過去においても工業用地に豫定されたゞけ最も適當な條件を備へ、交通上よりも動力水利等よりするもこれ以上の適地はなしとされてゐる、故に滿鐵ではさきに鐵西に隣接して約四十萬坪の土地を買收して將來の發展に添へるところがあつたが、他方邦人中にも將來を見越して滿鐵買收地に

接續 して土地を買ふ者續出するに至つた、かくてこれら土地買收者は滿鐵に對してこれら土地の買取方につき交涉を進めつゝあり、滿鐵も明春よりの起業熱を控へてこの冬中に奉天鐵西に對する土地政策を確立しておく必要に迫られてゐる、しかし本問題は單に滿鐵のみに關聯したものでなく滿洲國の產業計畫とも至大の關係があるので各方面で熱心に研究されてゐるが、第一に事變後附屬地の意義は著るしく變つて來たので必ずしも附屬地内にのみ工業用地を收容する要なく、むしろ隣接地として滿洲國において買收し

適當 な施設をなすべきであるとの議も起りつゝあり、滿鐵社内においても買收價格は第二として買收すべきか否かの根本問題について審議されんとする模樣で又たとひ買收するにしても現在の滿鐵買收地の境界の不整を整理する程度に止められるものと見られてゐる

德洋丸に注意

去る十八日渤海中に墜死した東川勇太郎（[illegible]）に對しては同人乘組の德洋丸より水上署に屆出あつたが肝心の監督官廳たる海務局には何等手續きがなかつたので廿一日同船主内山常吉に對し同局より注意を促すところあつた

山西丸復航

大汽會滬航路の第一船山西丸は目下復航につき大連に向つて航行中だが、同航路が成功した一證左として同船は天津向の生果六百噸を積載してゐる、今後は同航路を經て滬海、天津間の貿易に少からざる影響を與ふべく注目されてゐるが、同船は廿四日朝入港の豫定

天氣豫報 二十二日
北西の風 晴
滿潮（午前三時 午後三時三十分）
干潮（午前十時十分 午後九時四十五分）

各地溫度 廿一日午前十一時

大連	一三	奉天	九
旅順	一三	新京	五
營口	九		

けふの小洋相場（正午） 金百圓に一一八圓二〇錢

週間けんかう

衛生的生活の實行に一層の努力を望む

關東廳衛生課長　山口倭太郎

今回關東廳、旅大兩市役所、滿鐵その他公共團體、滿洲日報社等の共同主催によつて第二回健康週間が開催されてゐますが、健康週間の目的は衛生思想の向上普及により此の滿蒙の地を立派な健康的樂土となし吾人の生活をよりよく衛生的に仕向けて健康を保持増進して行こうといふのであります

◇

惟ふに人生に於ける福祉の礎は健康にあります、財貨も地位も榮譽も身體が丈夫であつて始めて其の意義を爲すものであります、而して人の健康を保持増進するは保健衛生の根帶をなすものでありまして其の目的を達成するには如何にすればよいか、如何なる方法を以てすれば其の成績を擧げ得るかこれは吾々に課せられた最も重要なる問題であります

◇

人動もすれば衛生の職分を疾病の豫防治療の範圍に止まるものと解し健康の保持増進、即ち體力の増進といふ方面を閑却してゐる憾みがあります、勿論疾病を豫防し治療する事は衛生の根幹であつて決して之を忽にする事は出來ないが、單にそれだけが衛生の職分だと考へるのは餘りに輕率であり又短見であると思ひます、即ち今少し眼界を大きくし苟くも人體の健康に關係ある社會百般の事柄は凡て衛生の範圍に屬するものとし、もつともつと積極的に活動し仕向けて行かなければならないと思ふのであります、近時識者の間に積極的衛生といふことが盛に高調せられるに至りました、それは吾人の生活樣式を改善し積極的に健康増進を圖るといふことで換言すれば社會施設を完整し公衆をして衛生的生活を營ましめ心身を強壯ならしめ而して健康を脅かす危害を排除しようといふのであります、これを傳染病に就いて考へれば病毒の侵入を防止し或は患者を診療する方面でなくて對抗力の増強を圖ることによつて例令病原體が體内に侵入しても之を征服して發病の餘地なからしめると云ふのであります

◇

およそ病原體が人體に侵入し生理機能を障害する迄には種々の條件が備はらなければならぬもので即ち病原體の侵入、生存、繁殖、活躍といつた樣な相當の經路を辿るものであります、ところで人體が健康であつて病原體に對する抵抗力が旺盛であれば體内の抗菌素は病原體を驅逐し折角侵入した病原隊も打負かされて遂に死滅するのであるから發病に至らずして濟む譯であります、故に吾々は疾病の豫防治療に力を注ぐと同時に、平素より身體を強壯にして病毒に對する抵抗力を養ひ、體内に侵入した病原體を速かに征服し排除する樣努むることが最も肝要であります

◇

吾人の健康狀態が十分でなく始終病魔の脅威を受けて居るのは何故であるか、それには氣候風土の關係、衛生諸施設の不完備、異民族との雜居等環境の關係も大いにありませうが、一面現在の生活樣式に幾多の缺陷があり無理があるものと見なければならない、然らば積極的に健康を増進し疾病を征服するには如何なる方途を講ずべきか、此の問題に就て關係各機關が相倚りて衛生百般の實想を研討してこの地に即した衛生體系を確立し而して其の結果を廣く社會公衆に宣傳普及し、健康の保持増進に努めたいといふ趣旨から茲に健康週間開催の運びに至つた次第であります、然るに斯くの如き事業は如何しても公衆の理解と協力とがなければ其の成果を納め得るものではありませぬ、保健衛生問題の成否は一に公衆の理解と實行にかゝつて居ります、今や滿蒙の情勢俄に一新し民力の伸張を要する秋であります、滿蒙問題の解決、東洋平和の基それは實に民族の健康を礎として現れ得る問題であります、此の機會に於て一般の協力援助を要望すると共に衛生的生活の實行に一層の努力を希ふものであります

荒れ性の方は斷うなさい

一寸外出にも手袋は離すな　ベルツ水の拵へ方

三寒四温が次第に強く感じられるやうになりました、骨身に達するやうな冷氣のために一寸外出しても手足が荒れがちとなります、でなくても、一日お炊事場で水仕事したりストーヴの手入れをしたりする主婦の手は隨分荒らされます殊に荒れ性の婦人と來たら氣の毒なほどです、勿論これは一寸した手入れを加へますと豫防できます冷氣に加へて煤煙や埃が強い風に吹き捲くられる滿洲で手袋もはめないで外出すると乾度手は荒されますから荒れ性でなくとも手袋は使用することです、それに水仕事後は必ず面倒でも一々手拭で水を充分拭きとり、その後にベルツ水を使用します、また入浴後手が溫かい中にこれを使用します、入浴しない場合は必ず溫湯で手を溫めて後使用しますと色々の仕事でみにくゝ荒れた手も翌朝は綺麗に滑らかになります、次にベルツ水の製法を日本賣藥會社の隱岐清氏に教へて戴きましたから家庭で簡單に拵へて下さい

調合法　これは各人の體質によつて加減されたらよいでせう

▼…ベルツ氏の處方＝苛性加里一、グリセリン五〇、アルコール五〇、薔薇油一滴、水一〇〇瓦

▼…グリセリン加里液＝苛性加里一、グリセリン四〇、酒精五〇ベルガモット油適宜、水一〇九瓦の割

▼…化粧用＝苛性加里〇・五、グリセリン三〇、酒精五〇、硼酸ナトリウム一・〇、水一〇〇瓦

これに各人の好みの香料例へば薔薇油、ウインターグリユーン油、ベルガモット油等一二滴を加へ着色劑として好みの色素例へばメチーレンブラウ、スカーレット、メチールグリユーン、その他「アクリヂン」系色素を少量加へられますと色が着き見た目にも大へん感じのよいものです

凍傷の豫防治療藥

次にこれから多く小兒たちがなやまされる凍傷ですが、豫防又は治療藥としては次のやうなものがよいでせう、先づ手近のものとしてはワセリン、メンソレータム、樟腦軟膏、チユール、デシチン、ヒクタス凍傷劑、凍傷膏などがよいでせう、家庭でできて、しかも效能のある樟腦軟膏は樟腦一、胡麻油一四、牛脂三五を混合して拵へ局部に塗布します

家庭顧問

物もらひの痕がとれず女の子故になやむ

【問】今年十二歳になる女の子ですが五六歳頃目いぼが出來て一時治りましたが、九歳頃又出來ました、その時は通學中のことなので充分の養生が出來なかつた爲めか下まぶたが少し缺けたやうになりました、そのうちになほるだらうと放つて置きましたが今日に至るまで少しも痕がなほりません、女の子のことですし、ことにもうすぐ女學校ですからせめて女學校へ入るまでになほし度いと存じます、何か適當な治療法はございますまいか（煙臺ふみ子）

整形術を施せば目立たぬ程度に治ります　三根辰一

【答】目いぼ（物貰ひ）は醫學上霰粒腫と稱する病氣で眼瞼の病氣があるか又は内科的に體質の虛弱な人、腺病質の人によく出來ます貴女のは發病當時に完全の治療を加へなかつた爲に組織の缺損、即ち眼瞼の畸形を來したのですから今完全に治癒することは出來ませんが專門醫に依つて整形術を施せば大して目立たない程度にはなります

一寸輕便なお臺所用品

寒さに向ふこのごろどこの家庭にもよろこばれさうな新案お臺所用品を御紹介しませう

▲**御飯蒸し**　形は在來のと大した相違ありませんが細かい部分にまで新しい工夫が加へてあります、第一中底が二重蓋になつてゐること、これで沸騰しても矢鱈に湯が中底の上へあがりません、第二に底に水準線が出來たことです、この線まで水を入れさへすれば、ふつくらと美味しく蒸せて、水が多すぎて下の方がヂクヾヽになつたり、少なすぎて焦げ付いたりする憂ひは全くありません、そのほか釣手が倒れて焼けたり火傷をしたりする心配もなく、また何よりうれしいのはニユームの質が素晴らしく改善されたことです、價格は直經十八糎物が七十七錢、二十糎八十七錢、二十二糎九十七錢の三種です

▲**天ぷら鍋**　分厚のアルミニユーム製品で鍋底の一部が更にフライパンの樣に深くなつてゐて其底で揚物をするのです、周圍の高いところに油切り用の仕切りを取附け、揚げ終つたものをこの中へ置きますと油も完全に切れて無駄にならず、揚げるのに手間がかゝつても先に揚げたものがちつとも冷めないといふ一擧兩得のもの、しかもピカピカ光つて綺麗ですから親いものばかりなら食卓の上に置いて揚げながら頂けば一層美味しいでせう、網杓子まで揃つて二圓です

▲**湯豆腐鍋**　同じくニユーム製でオリーヴに朱縁の漆塗の蓋をした風雅なもの、その蓋が二分されてゐて片方にはおしだし入れが附いてをり、もう一方の蓋を開けて網杓子で中の豆腐を掬ひ上げる仕組になつてゐます、網杓子共で値段は八十錢です（船塚洋行調べ）

小兒の食物（下）

或母に訊ねられて

大連醫院小兒科　松浦豐

飲料

問「宅は晩酌のとき此の子に時々酒やビールを飲ますんですが、どうでせうか」

答「勿論こんな小さな子にたとひ少量でも飲ませるなんて實に惡いです。殺すやうなものですぞ。葡萄酒、正月の煮酥、節句の白酒なども幼兒には與へないやうにしませう酒は大人にとつてさへ有害な物です。まして心身共に未だ固まり切らぬ所か、觸れば忽ち壞れて了ひさうな幼兒に害なくして濟みませうか。實に恐ろしくて膚に粟を生じます。冗談ぢやございません」

問「さうですか。早速主人にさう申しませう。兒の方はコーヒーなどとても好むのですが、やつて差支へありませんか」

答「コーヒーや紅茶それにチヨコレートなどの刺戟の強いものは五歳以下の子にはいけませんが、上のお子さん位でしたら少々は差支へありません。しかしお宅の兒さんは可成り神經質の樣ですから、やはり成るべく控へるやうにしませう。

話のついでに幼兒の飲料について申しませう。幼兒は身體の表面積が大人に比べて體重の割合に廣いためよく咽喉を乾かします。が子供の云ふまゝにサイダー、ラムネ、氷水などを決して與へてはいけません。水道から汲み立ての水、殊によいのは薄い番茶とか麥湯等であります。薄い番茶さへやつておけば決して間違ひは無いし、飲み過ぎて腹をこはすこともありません」

刺戟性の食物

問「色々有難うございました。similarly」

問「色々有難うございました。長くなりましたが、もう一つお訊ねしたうございます。兒の方は菜の好き嫌ひが多くて近頃では香の物か鹽辛でなくては食事をいたしません」

答「幼い子供にとつて辛子漬、唐辛子、鹽辛のやうな刺戟性の嗜好品は有害であります。殊にお子さんのやうに虛弱な腺病質の方に此のやうな刺戟の強い物を與へると他の菜を食べぬやうになり勝ちです。

大人とか老人のやうに子供に比べてホンの僅かの熱量で足りるものにはそういふ物で食事してゐつさへ膨らせば濟みませうが、發育盛りの子や弱い子などはそれで足らう筈はありません。

香の物ばかり食べて他の菜などうしても食べない子供を滿洲に甚だ多く見受けます。これを矯正するには兩親が一緒になつて食卓から此等の物を全く外して了ふ位に努力せねば到底目的を達することは出來ません。腺病質の子が多い當地では、この點について特に親御さんの一考を促したいと思ひます」

答「ほんとうに私達もよく考へて徹底的に今迄誤つてゐた所を改めて行きたいと存じます。結構なお話を承つて本當に何とお禮を申していゝものやら。おや、患者さんが來られたやうですわ。それでは失禮いたします。さよなら」

勅題詠進の初心者を指導

新春をことほぎまつる詠進歌は毎年三萬首以上も宮内省御歌所に届くさうですが例年滿洲からの詠進歌はごく少數にすぎないので、津田彦六氏を會長とする眞萩會ではこれを遺憾として極力同好者に詠進の勸誘に努める一方、初心者を親切に指導するさうですから希望の方は返信料として二錢切手を添へて詠草を左記へ送られたいとのことです

大連市鳴鶴臺一二〇　津田彦六

洮南新京を中心に 中國共産黨策動
ソウエート區域建設を目標に 政治工作方針を決定

中國共産黨は中國滿洲兩國全體を五區に分ち、各區に局を設け、その運動續行中であることは、既報の如くであるが滿洲國内に於てはハルビンに滿洲局を設け各省各縣に至るまで完全なる統制下におき地下潜行運動を繼續しつゝあり、滿洲國人民はその殆ど政治的階級意識薄弱なるに鑑みこれ等に對し徹底的意識を授け滿洲國内に一大ソウエートを建設すべく企圖し殊に大連、ハルビン、奉天等の下等階級民の密集地に完全なる組織網を成立せしめんとするもの、如き形跡ありと報道されて居る、しかしながらこれ等の各地方においては官憲の警戒嚴重なるため到底短日月の間ではその目的を達する能はずこれがため先づその第一階梯として根本方針を極力洮南新京一帶に集中し大活動をすることゝなり最近特別委員會を開催左記事項を決議活動することに決した

一、排日兵士の軍事教練問題● 兵士をして完全に軍事教練をなさしむるために中國共産黨中央總會に對し士官學校卒業生五名を要求し南方赤色軍の戰術に倣ひ洮南城に於て地盤を占據しソウエートを建設すること

二、常住地開拓問題● 各區及支部に比例し支那人、鮮人十五名以上居留する常住地帶には武裝隊を組織し、組織部員を督促しつゝ反國民反帝國主義同盟を組織せしむ

三、共産青年會に關する問題● 十七歲以上二十四歲未滿の青年は全部共産青年會に加入せしめ軍事訓練を施し第二世赤色軍たらしむ

四、兵事運動問題● 從來滿洲人は兵事意識薄弱なるため第三インターに依頼し共産大學出身者三名をモスクワより招聘してこれが徹底的普及を圖る

五、走狗機關撲滅問題● 帝國主義前衛の役割を敢行する民會地方官憲及直接責任者又は自衛團保安隊を完全に撲滅すること【新京電話】

治安維持は南から漸次北へ
時局後援會の招宴で 板垣奉天特務機關長が挨拶

二十日協和會館に於ける在滿日本人時局大會に關東軍を代表して出席一場の講演を試みた板垣少將の歡迎晩餐會は時局後援會主催で同日午後六時からヤマトホテルで開かれた、來會者の主なるものは森本地方法院長、山崎滿鐵理事小川市長、大内市會議長、高柳中將、岩井少將等二十餘名で、デザートコースに入るや小川市長主催者側を代表して歡迎の辭を述べたるに對し板垣少將は大要左の如き謝辭と所見を合せ開陳、八時盛會裡に式を閉ぢた

圖らずもこの如き盛宴を以て私を御歡迎下さいましたことに對して衷心より感激に堪へぬ私は昭和四年の五月に旅順に赴任して來まして今日迄屢々當地にも參り皆樣と御懇意を忝ふしてる關係からいはゞ旅大の地は私に取つて第二の故郷共申すべき處であります、按ふに滿洲の關門は御當地大連であり、しかも滿洲の頭腦共申すべき處であるから此地に住はるる皆さんは今後の滿洲問題に對しては一段の關心を持たるゝ譯、吾々に對しても何分の御鞭撻を希望します、序に申上げて置きたい一事は滿洲の治安問題であるが、これは軍の根本の方針として治安の維持は南部からといふのをモットーとして居る、卽ち御當地に近い處から漸次治安を進めて居ります、現に御承知の通り東邊道一帶掃匪に着手しました次第で、討伐後の政治工作等にも萬遺憾なきを期して居ます、そして掃匪後の地域には公安隊を分駐さして治安の維持を圖ることゝなつて居ります、恐らく明春迄には大部分片附くことゝなりませう この點皆さんに於ても特に銘記されて折角の事業計畫に資せられたい

列車事故の被害輕微

萬字嶺において旅客列車追突事件には幸ひ負傷者は少く乘客の一滿洲國人(三七歲人名不明)が額面に擦過傷を受け他に列車内賣子一名負傷しただけで他は全部無事であつた

上海から鮮人團 埠頭にて

日本新聞協會に總裁宮殿下台臨
創立廿年記念祝賀會

【東京二十一日發】日本新聞協會創立二十年記念祝賀會は晩秋の氣爽かな十一月廿一日から三日間に亙つて東京に開催された、第一日の廿一日正午過ぎ

會場 に充てられた東京丸ノ内東京會館には會員二百餘名參集、特に御任地名古屋から御歸京遊ばされた東久邇總裁宮殿下には淸浦會長以下全員の奉迎裡に會場に着御遊ばされた、これよりさき午後零時半から評議員會を開いて諸般の打合せを了し午後一時から三階會場に於て臨時大會を開き名譽會員德富猪一郎氏座長席に就き光永理事長の開會の辭に次いで創立以來二十年間協會のため

盡瘁 した理事長光永星郎氏に對して淸浦會長から感謝狀を贈呈し續いて議事に入り

一、國際聯盟に帝國各新聞の意見打電の件
一、同帝國代表に激勵電報打電の件
一、新聞賞制定の件

を附議何れも滿場一致可決して臨時大會を終り午後二時半から創立二十年記念式に移つた東久邇總裁宮殿下には全會員の最敬禮を受けさせられて台臨築田理事開會を宣し淸浦會長は協會の事蹟より時局に對する協會の覺悟を述べて式辭となし總裁宮殿下より優渥なる

令旨 を賜ひ淸浦會長より奉答の辭を奉り次いで内務大臣山本達雄氏、遞信大臣南弘氏の祝辭あつて式を閉ぢ會員一同は殿下を中心に記念撮影をなした、午後五時半から三階餘興場の餘興に移り櫻間金太郎社中の舞囃子「山姥」に續いて坂東三津実社中の舞踊「新鹿の子」「藤娘」に日本舞踊の華を賞し愈々午後六時半から四階食堂に祝賀晩餐會が開かれた、この晩餐會には

來賓 として齋藤首相以下各閣僚、各國大使及び朝野の有力者二百五十名の出席あり總裁宮殿下の台臨を仰ぎデザート、コースに入り淸浦會長の挨拶に對し齋藤首相は來賓を代表して謝辭を述べ五百名に上る大晩餐會は午後九時過ぎ盛會裡に終りを告げた

聯盟代表激勵

【東京廿一日發】日本新聞協會は廿一日二十周年創立記念大會を開き淸浦會長の名を以てジュネーヴの聯盟帝國代表激勵電報を發することを滿場一致可決した

中央卸賣市場披露宴

上海から滿洲へ わが鮮人團の移住
どんな勞働でも仕遂げますと 一行四十六名來連

廿一日入港奉天丸で上海在住鮮人一行四十六名(内婦人子供二十三名)が慌しい上海に見切りをつけ新興滿洲國で働きしようと殊勝な心掛けで上海鮮人滿洲移民團と銘うつて賑やかに來連した、一行は去る八月上海で惹起した例のバス事件で馘首にあつたものでその後

解決 の爲め今日迄延びくになつてゐたが上海總領事館警察の肝煎りで一人當り三十五弗の旅費を得て來連したものだと、代表者秦京錫、黃乙寬、李昌昊、金文濟の四名は交々語る

私達は決心して來たんですよ、どんな今度は何でもやります、どんな勞働でもやります、大連各方面に紹介狀を貰つて來ました、大連に就職口が無かつたら奉天へ

上海 であんなみじめな生活をしてゐたことを思へば更新した氣持で働けますよ

一同は水上署員に細い取調を受け一先づ大連署に向つた

警察面喰ふ
就職斡旋方の歎願に 分宿させて對策講究

鮮人移民團の一行は上陸した足で鄭晩海(二〇)外十餘名が大連署に石井署長、末光高等主任を訪れ上海日本總領事館の就職斡旋方依頼の添書を差出し身の振り方を歎願したが大連署でも突如の

願出 にどうすることも出來ず取敢ず一行四十六名を市内監部通九六番地朝鮮旅館、大黑町二十番地大同旅館の二ケ所に分宿させ處分方法に就いて考究中である何分一行中二十三名は上海で英人經營の乘合自動車會社のバス監督を勤めてゐたところ約一ケ月前支那人從業員が起したストライキの捲き添へを食つて鮮人四十名が馘首され三千圓の退職金を分配四十名のうち十七名は朝鮮へ歸國二十三名は家族二十三名を引連れ總領事館の添書をもつて來連したものである、しかし一行は仕度料

旅費 に大部分の所持金を消費し二三日の籠城すら出來ぬ惨憺な有樣で所轄大連署では一行の處分に頗る頭を惱ましてゐる

愛國號五機
秋晴の空を飛翔して 二十日奉天に到着

秋晴れの空を飛翔して愛國號五機(一三五號青木少佐操縱、二號岡部大尉操縱、五三大和號寺西中尉操縱、六一和歌山號加藤中尉操縱)は二十日午後一時二十分銀翼を連ねて奉天東飛行場に到着した操縱の五氏は直に飛行場事務室において飛行輸送の大任を無事果した祝盃を擧げた、飛行場にて青木少佐は語る

明野を十九日午前六時二十分出發廣島、大刀洗、蔚山を經て京城に一泊し翌朝八時同地を出發當地平壤に着陸して點檢と燃料の補給を行ひ午前十一時四十六分出發してこゝに機の時計でキッチリ二時に着いた、機體は良くそれに非常な好天に惠まれコースはとても樂で羅針盤を使用して眞直ぐに飛んで來た【奉天電話】

名譽の負傷だよと 繃帶姿の芳子孃
多田將軍と共に來連

海拉爾邦人の救出に關して令兄金壁東氏と共に非常な活躍をなし、遂に果し得なかつたが或は飛行機に乘り海拉爾に赴きパラシュートで蘇司令部へ降下蘇炳文と直接會見邦人釋放につき交渉ぜんとする等種々活動をなした川島芳子孃は多田將軍と共にひよつこり二十日午後七時大連驛着「はと」號の最後部展望車から降り立つた孃は防寒帽の額に左頰へ當てた繃帶から十文字にかけた繃帶をのぞかせて語る

この繃帶は名譽の負傷だ、何んだか嘘でも悪いんだらうよ、今度來たのは東京から南支視察に大連へ來てゐられる坂西將軍に一寸話をしたいと思つて多田將軍さ一緒に來たまでだよ、滿洲里事件の事なんか僕は何にも知らないよ、明日午後四時半の汽車で多田將軍と奉天へ歸る、後は何にもないよ

と直に多田將軍と共に自動車にてヤマトホテル投宿の坂西利八郎氏に面會に赴いた

車内の煙草檢査 金州から開始か
お客さんの迷惑を考へて 近く還元實されん

滿、煙草の密輸入を防壓する爲めに行はれてゐる列車内の檢査は從來金州民政署に於て執行してゐたが當局では州境の普蘭店から開始するを適當と認めた爲め今春以來この檢査を普蘭店民政署の方に移管して仕舞つた、然るにその結果を見ると早朝大連に到着する十八十四號列車が州境通過の際は長途の疲れも未だ癒へやらず夢まどろむほの暗き未明であるので檢査員は止むなく叩き起さなければならない役目に陷りこの間乘客から非常な不興を購ひ爲めに近頃では當局の遣口は無能であるとの聲さへも表面化するに至つてゐるので當局は熱議の末元通り金州から開始することに方針決定せしもの、如くその時機は近日中の模樣である【金州電話】

吉林附近の歸順匪賊六千名
招撫宣傳の効果顯著

吉林省城を中心としてゐた匪賊は省公署の匪賊招撫の宣傳等に刺戟を受或は向寒のため行動困難に陷り吉林剿匪委員會に歸順を申し出たものが漸次多くなつた、卽ち

一、自衛團に編成せる者十三頭目九百八十五名
二、歸順確定の者五頭目八百六十五名
三、歸順申込みの者十頭目千二百名
四、歸還せる者三千名の多きに達してゐる【新京電話】

ダイヤモンド密輸にお灸

【神戸二十日發】神戸稅關監視係並に神戸水上署刑事係は本年四月神戸入港の長崎丸中甲板天井裏に密輸入の目的で隱匿されて居たダイヤモンド五十個價格五六萬圓に就き直接密輸者船員某々二名を致嚴重取調べた結果右は當時上海に在つた大阪船場貴金屬商三谷照三の依頼に依ること發覺本年夏三谷の歸國を俟つて召喚審問三谷は密輸を否定したが密封された封筒に入れて嚴秘に匿されて居た點前記船員の陳述に依り密輸は明瞭なので右品を沒收の上四萬圓の罰金に處せられた

長平丸に怪盜

大汽天津線長平丸は每航海船員の盜難事件が頻發しその都度當地水上署に屆出があり同署でも嚴戒中廿日夜二十番バース繫留中同船事務長室に何者か侵入現金二百七十餘圓を盜んで逃走した机の錠をヤスリで切り取つた手口等からおして犯人は船のものと目星をつけてゐるが、同船事務長は今日迄既に三回盜難にあつてゐる、同署は最近珍しい怪盜として今度こそはと捜査網を嚴にして取調中

衛研集談會

滿鐵衛生研究所第五十六回學術集談會は二十四日午後一時より同所圖書室にて開催のはず、演題は左の通りである

一、大連市販の支那紙卷煙草の「ニコチン」含量に就て、小林正次、柴藤貞一郎
二、膠着反應並にKH反應の鼻疽診斷的價値に就て、岩下光之、坂本寬吉郎
三、鶏ペストの實驗的研究、兒玉誠、山極三郎
四、淋疾の重感染に就て、大槻滿次郎

黑住敎會新願祭

市内惠比須町大連黑住敎會では我國運の隆盛と併せて目下ジュネーヴに活躍する松岡全權を始め各全權の健康と成功を祈り、又新興滿洲國の前途を祝福するため來る二十三日神嘗祭當日午後六時より同敎會にて新願祭を執行するが終了後、津田彥之資性確高場瀬一氏等の時局講演會を開催するはず

關東廳警察官練習所では、十九日の殉職警察官招魂祭當日樓上三階の一室に、殉職警官の遺品や寫眞を陳列參列者一同の觀覽に供したが、泥と血にまみれた彈痕歷然たる制服と外套には、見るもの胸を痛くせざるはなかつた

……◇……

今、監察官として時めく久下警視が、一巡査の當時、全身數個所の重輕傷を負ひ乍ら匪賊と格鬪、美事逮捕せる際の制服や最近關東廳警察官練習所から名乘りを擧げ美事高點で市議に當選した佐藤警視が貔子窩馬賊討伐時代の外套など、奮戰の跡ありくと目の當りに浮ぶが、中にも今は既に亡き數に入つた人々のそれは只哀愁の念に胸ふさがるのみだ。

……◇……

佐賀縣神崎郡から招魂祭參列の爲め遙々來旅した荒木後治翁の如き公主嶺郊外で討匪中、名譽の最後を遂げた令息巡査部長喜藏君(二四)の血に染まつたカーキ服の前に動かぬこと小半時、午髮の振鈴鳴るとも低徊去りあへず「オ、倅、良く死んで呉れた俺はお前のこの姿を見て滿足じや」と兩眼には淚滂沱。

海と空と (34)
高杉晋一郎作
橋本清史畫

手紙 (六)

裏は聲を聞いただけで不快な直感を受けると振返りもせず、眉をひそめて手紙へ瞳をうつさうとした。と
「兄さん」と百合の聲がした。
裏は變に思つて振返つた。そこに百合と瑞枝が並んで笑つてゐた。シユミーズの白いのや手足の肉色が透いて見える羅物のワンピースの服に鍔廣の帽を被りその深い帽の蔭で瑞枝の細い眼が媚に滿ちて笑つてゐた。
「何しに來た百合」
裏は少し怒氣を含んだ聲で百合に云つた。百合はそんそ風に云はれた事が不滿さうであつた。
「だつて杉田さんが兄さんを訪ねてらしたんだもの、私連れて來てあげたのよ」
充分ほめられる事をしたつもりの百合にそれ以上咎めだてする事も出來ず、裏は仕方なく瑞枝の方へ視線を向けて自分を抑へて輕く目禮した。
瑞枝は身をよぢるやうなお辭儀のし方をすると
「お邪魔ですわれ、どうぞお讀みになつて下さいな、わたし此方で暫く涼んでゐますわ……暑かつたこと」
さう云つて洋服の襟へ手をかけて風を入れるやうに隙間をつくり遠く水平線の方へ眼を細めて大きく深呼吸をした。彼女は今日は何か肉感的な感じを持つてゐた。先夜あれだけ侮蔑的に扱つた女が彼を訪ふて來ると云ふ事は裏にとつて殆ど不可解だつた。變な女だ。さう思ひながら彼は、構はず手紙へ戻つて讀み始めた。手紙の中の靜かな谷の口調に引込まれて間もなく裏は再び思索のみの世界へ沒入して行つた。
暫く默つて涼んでゐた瑞枝はやがて百合を相手に何か喋り始めると、立上つて、岩傳ひに沖の方へ出掛ける氣配が手紙を讀んでゐる裏に感ぜられた。裏は放つて置いた。
「……君は少年の頃から極端より極端に走る性質を持つてゐた。多分それはやがて大きな完成を作りあげるまでの波動を意味してゐるのだらうが、君に於てはその波が甚だしく激しいので勢ひ餘つて岩壁に自ら身を打ちつけ粉碎しかねない危險が屢々ある。僞善を憎惡すると云つて全ての善から退避する事は反つて故意に生活を歪め二重の虛僞に陷る事になりはしないだらうか」
そんな風に谷の手紙は續いてゐた。成程と思つた。確に自分には人間の眞實から出た行動までをも虛僞として取るやうな危險があるかも知れない。さう思ふ時、彼の本來善良な心は不安になるのだつた。どんなに善良な人々の純情を今迄傷つけて來たか知れない。然し彼は自分でそれを否定しやうとした。いや谷は未だ人間がどれほど虛僞で固まつてゐるものかを見得ないでゐるのだ、とさう思はふとした。然し谷の風貌を眼前に浮べて見る時、その秀でた額、少年の頃から精神的苦難を經驗してゐた事を如實に語る眉の表情、高い意志的な鼻などが、彼を威壓するやうに迫つて來た。彼は默然と考へ込んで行つた。
ふと、微な脈動性の響きを耳にして眼を上げると、小平島の沖合から星ケ浦海岸の方へ向つて此の沖を通過する白いモーターボートだつた、岩の方でもそれを見つけたらしく百合の大聲がした。間もなく意外に遠く深い方まで渡つて行つてゐた二人の影が一つの岩の上へ現れて來た。百合が沖の方を向いて、モーターボートへ手を振つて見せてゐる。それと並んで身動きもせず後姿を見せて立つてゐる瑞枝を、一寸美しいと裏は思つた。海風に吹かれて飛ぶやうに激しく一人のスカートが搖れてゐる。百合の時々風に抵抗し得ないやうに瑞枝の手に摑まつては聲だけはしやいで次第に岩間の間近へさしかゝるボートに合圖をした。誰か知つてゐる人が乘つてゐるのかな、と思つて裏はボートの方へ眼をやつた。ボートは丁度その時岩の蔭になつて見えなくなつて了つた。彼は再び視線を百合のゐる岩へ戻した。――同時だつた。百合の叫びと共に二人の影が變によろめいて、向ふへ崩れるやうに落ちて行くのが見えた。裏はすつくと立上つた。

滿日特選碁戰
第十二回
先相先 先番 四段 長谷川章氏
三段 渡邊英夫氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

●一〇一 ヌ十七 ●一〇三 ヨ八 ●一〇五 カ九 ●一〇七 カ八 ●一〇九 ト十 ●一一一 ワ十四 ●一一三 ワ十三 ●一一五 リ十七 ●一一七 ル十三 ●一一九 テ十六
〇一〇二 タ八 〇一〇四 ヨ九 〇一〇六 ヨ十 〇一〇八 ヨ十二 〇一一〇 ワ十五 〇一一二 ワ十二 〇一一四 ヌ十六 〇一一六 ヌ十二 〇一一八 ヌ十二 〇一二〇 ワ十六

對局者の感想
黑曰く 百九は此所を掠れられては負けですから左邊の石は如何なつても致方がありません
白曰く 百十以下の攻め方には種々あつて分らなかつた黑から百十九とのぞかれる手をうつかりしてゐたのでこれでいけません

—【6】—

けふの放送
大連 JQAK 十一月二十二日
▲午前七時 ラヂオ體操
▲午後六時二十分 ニユース（以下内地中繼、六時三十分）
▲講演「青年記念日に際して青年團の實情を語る」大日本聯合青年團常任理事田澤義輔
▲運動競技（七時、日比谷公會堂より）帝國拳闘俱樂部主催拳闘試合狀況
▲フルート合奏と獨唱（八時）（一）フルート合奏、フルート三重奏曲よりアレグロ（ノイマン作曲）（二）獨唱フルート助奏附（イ）風よ我吹く調べ（デヤメクニツク作）（ロ）輝く湖（リユーランス作）（ハ）黎明（キヤドマン作）（三）ミネトンカの湖畔にて（リユーランス作）（四）フルート合奏（全員）埴生の宿變奏曲、岡村フルートアンサンブル、獨唱バイソンロイデン、フルート助奏及合奏指揮岡村雅雄、ピアノ伴奏萬澤恒、第一フルート岡村雅雄、同桑原りき子、第二フルート滑方新、同齋藤三藏、同奥平武、同平林弘
▲三曲「星の曉」（八時三十分）（以下大連放送局より）三絃福永大勾當、箏木次初榮、尺八草崎主山
▲職業紹介事項
▲ニユース
▲氣象通報

皇軍の救護禮讃
剿匪肅靖慶祝大會
西豐縣外五縣聯合で 二十三日盛大に開催

【開原】東邊道の剿匪に續いて吉海瀋海滿鐵線間の兵匪大掃討が行はれ昨冬以來兵匪横行に惱まされ居たる西安、東豐、西豐、淸原、開原の各縣では久し振り春光に浴する如き平和の樂土に安業するを得たるを歡喜し公明正大なる皇軍の救護を禮讃する餘り茲に各縣聯合して剿匪肅靖慶祝大會を二十三日左の順序に依り西豐縣公署に於て擧行し、服部團長以下各校各縣日滿官民有志を招待する事に決し同會準備委員會より夫々案内狀を發した、會順序は

一、開會　廿三日午前十時
二、日軍戰歿者慰靈祭　同午後一時
三、大遊行　同　午後二時
四、觀宴　同　午後五時

丁雲鵬歸順

【吉林】淸源の西方に蟠居せる匪賊頭目五占事丁雲鵬以下七十七名は最近在英額に在り我が川上〇隊に歸順を申し込み自ら武裝を解除して誠意を示し縣長より證明書を受け各自歸鄕したが積雪の中に寒氣加り衣食武器缺乏より種々現在の非を悔い倚共に我が皇軍の威力に壓せられて殘る各匪も續々歸順する模樣である

匪首猛憲德 部下五百と歸順
目下拜泉附近に待命中

【チチハル】克東警備局長の報告によれば通北に在りし猛憲德は部下五百を率ゐて歸順を希望し目下克東拜泉の中間にありて待命中である

三勝部下の解散式

【綏山】紅山鐵道西側馬場に於て上田大隊長指揮下に歸順した三勝部下の總員は實に三千三百六十二名の多數に達し其中一千名は歸順式に際し歸農したが後の二千三百六十二名は區管内各村落の自警團として警備の任に當ることとなつたが經費其他の都合により更に五百名を整理し修濟隊に編入することとなり十九日午後一時から鐵西競馬場に於て上田大隊長以下守備隊幹部並に田中軍參謀、坂田顧問臨場し解隊式を行ひ結局一千八百六十名が自警團となり遼海地區九十一ヶ村十一萬七千天地の警備に當ることとなつた

匪賊に拉はれた 龍潭山廟の和尚
新開河會に救出さる

【吉林】當地近郊龍潭山の名物である龍潭山廟の和尚は事變當時匪賊のため人質として拉致され其の後行方消息杳として判明せず匪賊のため慘殺されたものと思はれて居たが、過日突然前記お寺に姿を現し並みゐる坊さん達を驚かしたその話に依ると和尚は匪賊に捕はれて以來三家子で冷たい牢獄の風に當つてゐたが、偶々同地に新開河聯莊會の連中が匪賊を襲ひ匪賊は潰亂して森林の中に逃走したので此の時とばかりと逃れ出て歸山したもので命拾ひをしたのは新開河會の御陰だと喜び感謝してゐる

岡原部隊の活躍
皇軍第一線、富拉爾基前面の戰壕

吉林西本願寺 新築落成
二十日より法要

【吉林】當地敷島地新開門外西本願寺では本堂新築のため信者一同援助のもとに工事を急ぎつゝあつたが此の程漸く完成を見たので二十日より向ふ三日間法要を營むべく初日の二十日は正午より入佛慶讃會法要をなし午後七時より慰靈法要など行つて可愛い稚兒の參列もあり大連よりは津村支部開敎總長などの參加ありて盛大に行はれた

吉敦沿線の森林 掃匪のため伐採
二百米乃至千五百米以内を

【吉林】吉敦沿線一帶の林場が匪賊の巢窟となり又交通の便甚だ支障を來すため今回吉林省當局は交通の便を計る意味より同沿線兩側の一定區域を限り森林の伐採を計畫し過日來實地踏査中だつたが此の程日滿當局の熟議を重ねた結果吉敦及び〇〇沿線の森林を完全に伐採する事となり匪賊の豫防其の他に當てる事にし、其の內容は鐵道の兩側二百米以內にして必要に應じ千五百米まで伐採する事に小集團林及び風致上必要なる個所は留め置く事となし今年十二月限り完伐する由で近く各縣下に發令される筈となつて居る

銃を襤褸に換へ 變裝して逃走
打天下、金山好の部下

【開原】開原縣施家堡子附近に蟠居中であつた打天下金山好の部下合流の賊七百名は十七日夕開原縣大小灣屯に移動したが同賊團の中八十名は皇軍の威力に恐れ命よりも大切な長銃を農民に提供しその代りに農民の襤褸を貰ひ受けて巧に變裝して何處ともなく逃走したと

煙筒山の住民 工作班を歡迎
民衆敎化に努力

【吉林】煙筒山附近に派遣中の政治工作員一行は十五日匪害調査のため磐石に赴き内一人は同地方に留まり縣長などと種々協議する事となつたが他の一行は附近の有力者を集め本班の來煙使命につき詳細に說明し附近の村民に施療を行ふなど其の効果着々揚がり一般人は大いに好感を示し歡迎した由である同地の施療に於て十四日より三日間男女合計三十名を診察した同地の人口約二萬人で事變前は約三萬人と稱せられ土地柄敵人多く匪賊による被害甚大にして家財悉く掠奪され廃家一軒に就き平均五百圓以上の被害を受けて居る狀態である、之れがため同地の住民は食糧に窮し困難を極めてゐる、工作員よりの報告に依れば當面を凌ぐ食糧品として粟一千石及び民衆敎化用として新聞を毎日二十部宛要求して來つたので本部では直に之れが發送に着手し縣長の決意を得て近く巡廻する事となつた、其の後本部となつて居た煙筒山上崗間の長距離電話も十五日午前十時修理完了した由で目下同地に活躍中の工作員は漸次好成績を揚げ、押し來る寒氣もいとはず大々的活動を續けて居るが一行は至極元氣であると

双陽に於ける 工作員一行

【吉林】双陽十五日發工作員の情報によれば一行は十二日煙筒山より我が皇軍と共に双陽に向け出發し三家子に於て小川中佐、小磯顧問と會見、十三日夕無事双陽に到着し附近の概要な調査の結果匪賊の被害甚大にして同地は匪賊に占據されたることゝて車馬穀物など悉く掠奪され未だ農作物なども未收穫で慘憺たる狀態を示し附近の一般民は我が工作員の來るを大歡迎して狂喜の如く工作本部に馳せ集まつた由で附近は未だ安全の地とは言へず匪賊の一味登山好など約馬河附近五、六區方面に多集して双陽よりわづか十數里に過ぎざる事とて警戒嚴重を要し住民は寧ろ工作員の留止を歡願して居る由である

北滿掃匪補充 部隊歡送迎

【安東】北滿掃匪の第一線に於て敵死傷を受けた皇軍の補充の爲め今般派遣されることゝなつた第〇〇〇團の〇〇部隊將兵〇〇〇名は十九日午後七時五十五分着同八時四十五分發北行したが、驛頭には折柄の寒氣も物かは各團體學生、生徒一般市民の歡送迎あり湧き上る萬歲の聲を浴しつゝ、例の如く聯合婦人會員の心からなる接待に將兵は大喜び、やがて定刻となれば再び起る萬歲の嵐、旗の波に送られて勇敢なる將兵は一路北上した

舊省政府紙幣 百萬元火葬
物々しい警戒裡に

【チチハル】花咲く春もあつて一時は無鳴かした事もあつたが時世時節と云ふ譯でもあるまいが天下の如何なるものでも左右する事が出來た寶の觀音紙幣と云ふものでも、天が定めた運命には抗する事が出來ず、黑龍江省政府の紙幣百餘萬元が十五日午前九時から中央銀行員特務警察官公安局員等々の物々しき立會警戒裡に龍沙公園裏で火葬の式を擧げたが、燒却紙幣の種類及金額は左の通りである

江錢一億九千八百五十四萬五千四百三十吊、江洋百四十一萬一千六百十二角、哈洋二萬四千百七十八角、黑龍江廣信券三萬二千百五十三元で、國幣換算額百二十餘萬元で百五十五個の大箱に詰められ三十臺の荷馬車で運搬されて遂に北部荼毗の烟と消え去つて了つた

安東普通學校 新築落成式
明朗さを誇る諸設備

【安東】安東普通學校の增築並に新築講堂の落成式は十九日午前九時より喜びの色溢るゝ同校新講堂で擧行された、先づ一同着席の後小野首席訓導の工事報告あり次いで多田地方事務所長より管理者としての告辭、中條校長の挨拶あつて後岡本領事來賓を代表して一場の祝辭を述べ次いで保護者會代表崔忠元氏の祝辭あり校長の閉式の辭に午後十時半閉式、記念撮影の後引つゞいて落成祝賀の大學藝會を開催（午後一時よりは父兄姉妹）したが、全種目三十三の唱歌、遊戯、話など何れも立派な出來榮で拍手を浴びてゐた、尙この總工事費は三萬九千九百四十一圓で煉瓦造鐵筋コンクリートの講堂の收容人員は七百名乃至九百名、天井は國產セロテックスを用ひ通風、採光には最も留意してあり近代的明朗さを誇り得るものである

又た增築した校舍は教室二、地下室（燈房、機關室）其の他診療室、湯沸所、宿直室、便所等で從來狹隘のため不自由をかこつてゐた同校もこれで漸く生徒の收容についても幾分か樂になつた譯である

大雪で 通行難

【吉林】過日來初めての大雪に五寸近き降雪を見、氣溫漸く低下しつゝあつたが三寒四溫の滿洲氣候とてその後氣溫も稍高く降雪もポツポツと解け初めこれがため通行の便甚だ惡く折角補修工事をなした甲斐もないので道路その他の積雪が省會公安局では各市民に對し降雪の後は直に掃雪を行ふ樣との通告をなし今後往來の便をよくする樣努力してゐる

國境密輸者の ブラツクリスト
犯人の寫眞を撮つて取締徹底

【安東】嚴重な官憲の眼を巧に潜つて常習的に密輸を敢行する輩は手を代へ品を替へて其の方法に腐心してゐるため取締官憲の勞も一通りでないが、國境警察隊ではこれ等密輸者を發見逮捕した場合單に密輸品の沒收に止め身柄はその儘釋放してゐた、然しこれでは密輸取締りの徹底を期することは困難なので今後逮捕した者は全部寫眞を撮り且つ住所姓名を調べあげて密輸入者のブラツクリストを作製し「つい出來心で惡いとは知りつゝ、初めてやりました」などと白々しい噓は斷然言はさぬこととし嚴重なる處罰を加へることゝなつたので密輸團にとつては大痛手である、現在では大仕掛の密輸は困難なので品の小さいもの、主にシヤツ、綿布類が多くボロ着物の下に着たり捲いたり、或ひはチゲに積んだ白菜の下の二重底に隱したり一寸手がつけられぬのは月經帶を利用して股間にブラ下げたりする女の密輸位のものであるが、最近は取締官憲に對し多數を頼みに暴行、投石しつゝ目的を遂する所謂ギヤング張りの密輸團の外に、進行中の列車内からかねて諜し合せてあつた場所に品物を投落し相棒が拾ひ闇に紛れて逃げ出すと云ふ手が多く午後七時五十五分安東驛着の北行列車など俗に密輸列車と呼ばれてゐる程である、今や結氷期を間近に控へて密輸團の舞臺は鴨綠江の大鐵橋上に移され血みどろの爭闘の幾幕かは開かれんとしてゐるが、此の程江岸に見張りのボツクスも愈々新設されることゝなり取締官憲の數も增加される模樣なので密輸團の活躍も漸次下火になるものと見られてゐる

特產出廻增加で 國輸北滿に飛躍
齊々哈爾出張所の支店昇格

【チチハル】北滿に於ける匪賊討伐も日を追ふて其成功を見ると共に特產物の出廻りも次第に增加し齊克線方面の運輸狀態頗る多忙を極めてゐるので國際運輸會社では種々其對策を研究中であるが、今回ハルビン支店長野崎虎雄氏の來齊を機とし從來ハルビン支店の管轄下に在りしチチハル出張所を支店に昇格せしめてハルビン支店と同格となし、昂々溪出張所は營業所に改めてチチハル支店に隷屬せしめる事に內定せる由であるが正式發表は何れ近々機を見て行ふ事となるであらう

吉長線各驛で 混合保管を開始
特產出廻り促進策

【吉林】事變以來吉長沿線附近一帶は著るしき匪賊の被害を受け、殊に特產の出廻り例年に比して約四十日間の遲延を示し、出廻りの一部には漸く之が出廻つて居つたが、沿線主要地に於ける糧棧は漸く開店し特產の出廻り相當進捗を見るとなり二十一日より吉長線下九驛に於て混合保管の開始をする事となつた由であるが吉敦沿線敦化蛟河方面は未だ遲延するものゝ如く多分十二月初旬頃より開始するものと見られて居る、尙一般特產の出廻りに就ては匪賊による被害甚大にして折角收穫しても運ぶ車馬なくして續々遲延の模樣である、之れに依り本年は收穫も例年より減少を見られ輸送も昨年より四割位の減少見込である

紅卍會 貧困者救濟

【安東】世界紅卍會安東分會では貧民救濟會を新に後廠溝に設立して一般困窮者を救助することゝなつたが、縣公署よりは事務員を派遣し市警察よりは第一、二、三區長の應援を得て十七日より開始、毎日朝夕二回に亙つて救濟を施行してゐる

安東時局市民 會基金募集

【安東】滿洲事變突發以來設置されある安東時局市民會の軍警慰問事業は早くも一年を閲した今日に於て支出金五千四百三十四圓八十一錢を計上し殘金僅かに三百五十七圓五十二錢となり今後の活動に充分とは云へぬので安東市民會幹事、各區長、地方委員議長、滿鐵各所長は十八日午後一時半より地方事務所に會合、今後存續すべきか、打切るかについて協議したが、その結果現在滿洲國の狀勢から見ても尙當分の間繼續する必要ありとして午後四時散會した、尙この基金募集方法は廣く一般に募集額を二千百圓と定め各區別にして募集に着手することゝなつた

臨時流通券發 行存續歎願

【吉林】省公署の發表に依れば双陽縣に於て過般來附近の救濟に使用のため臨時流通券を發行して居たが過日中央銀行より右流通券の發行を禁止して來たのでそれがため同地方代表は省公署に對し之れが差止められたる場合は縣内の融金通道して困る故右發行の存續方を歎願して來つたので省當局も考慮中である

小磯參謀長 安東通過

【安東】北滿の情勢及び今後の對策、主に警備問題について急遽上京中の小磯關東軍參謀長は十八日午後九時半過安東通過下行したが、驛頭には官民多數の送迎があつた

婦人公論

今朝一齊発賣

この充実ぶりにて定價は五十銭

誰しもが魂をゆすられる眞剣な身の上相談必要讀

さあ、何を措いてもこの一冊を繙ひて、来る年の準備を整へませう。

（寫眞は顔の缺點を補ふ髪形の一）

愛妻が非處女の場合

この解決こそ、家庭の危機を救ふ救助網となるでせう。

若き妻の出發（新らしき妻の出發は新らしき家庭への出發。とする讀者か臺所にエプロン姿で颯爽く新妻に説く力強き言です。）土田杏村

◇若妻を歌ふ（散文詩）堀口大學

父島村抱月と母の思ひ出　島村敏子

不幸なる社會運動家の妻の死　鈴木茂三郎

嚀への抗議　有島行光氏と私の戀愛問題の誤傳につき　西村ユリ

チャンス物語　辰野九紫

ギャングの愛人美枝子の令兄長谷部文雄氏が寄せた愛情あふるゝ無比の名文……

實妹へ

その一節

「ギャング事件首謀者の情人」としての君は今後どう行動するか？檢擧されて以來、君の上に生じた諸々の事情は、母上の涙とともに君を轉向させるだらうか？その場合「世間」は必ずしも住みよくはない。だが僕たちは君が身心をいやす爲の寢床を溫くして待つ!! 妹よ自殺したり發狂したりしないで元氣であれ!!

母性悲劇

共産黨員福本和夫の妻と私の關係　尾崎士郎

男裝の麗人　村松梢風

田舍娘が都會娘になるまでの一週間

田舍娘がたった一週間で見違へるほど美しい都娘になる—そんなことはウソよと仰しやる方は舌をぬかれますよ。

実際役立つ本誌の口繪

◇いつまでも若さを保つマッサージ法
◇理想的なクリームの使ひ方と粉化粧法
◇顔の缺點を補ふ髪形
◇肥った人の瘦せるダンス
◇美しい眉の描き方
◇脊がのびる體操
◇髪の艶を増す洗髪法

父ムソリニーを語る　エダ・ムソリニー

【懸賞第一席當選小説】溫突に住む人々　松本八重子

南遞相にわれらの生活不安陳情の會

故國日本への思慕（佐藤美子）

養子を追ひ出したい家付娘の手記　白石清子

一人の父に苦しめられて死んだ男

天刑病者の妻の手記

公債か増税か（時評）内山（外評）菊川榮

天勝戀ざんげ（松旭齋天勝）

秋風の音に聴き入りながら、落葉の音に耳傾けながら、心靜かに讀むべき今月の小説欄

墓石の言葉　阿部ツヤ

青い寢室　林房雄

お千代傘　吉川英治

それを敢てした女　細田民樹

ダンサー　國枝史郎

惡華落人　白井喬二

五大博士の責任執筆　正木不如丘。鈴木甚吉。西川烈。福井正憑。保坂孝雄

★結婚前に治して置くべき病氣
★遺傳とはどんなものか
★性病の知識と其の豫防法
★月經不順の病理
★結婚式當日の衛生
★新婚時代にかかり易い病氣
★妊娠をさけるべき病氣
★初夜の知識
★人工受胎法
★新婚生活と神經衰弱
★惡阻の手當法
★避姙法一切の知識

若き妻の神秘

安くて、美味しい大根料理廿二種

□卸し大根のいろ／＼　□大根のグラテン煮　□大根の篠田巻煮　□大根の水炊き鍋　□大根のオボロアンカケ　□大根あんかけ　□大根のユズ巻煮　□大根のエゾ鱠　□大根の風呂吹き　□大根の鷄味噌かけ　□大根章魚巻煮　□大根龍田煮　□大根の吳汁　□大根の吹雪煮　□大根のアラ煮　□大根スープ煮　□大根みぞれ汁　□大根茶めし　□大根うま煮　□大根の共和へ　□大根磯べ煮　□大根小倉煮

上野揚出しの秘訣公開（湯豆腐の作り方）

女中さんの心得十ヶ條（女中さんの出世の道。道は決して遠くにありません。）

家庭料理のこつを研究する會

今年だけで止めたいこと

婦人服下着類の作り方（冬風に思ふ下着類の温かさ。貴女の衛生の爲にも。）

廢物利用の知識

新流行家具の座談會（見ただけで欲しくなる品が展覽されてゐます。）

瓦斯・木炭の使ひ方

お肌の荒れと中年の美容に特効あるオレーフ油の使ひ方

子供の不具は整形外科で必ず直る

◇生れつきのびっこ◇みつくち◇脊椎カリエス◇小兒痲痺◇足部畸形◇狗僂病◇斜頸◇口蓋破裂等

中央公論社発行

顔面と肌膚と毛髪の

ミツワ石鹼

質よく溶けよく　泡沫立ち殊によし

特殊の研究と、多年の經驗とで、特に邦人の整容美髪に適ふやうに、精製されてゐますから、洗料として十分の價値を有してゐます。

作用は緩和で除垢力は強くて
洗流して後に石鹼分を殘さず
芳香は溫雅で爽かな用ひ心地

肌膚を整へて化粧乘よく
中途に溶崩れぬ
經濟徳用品

鮮かに寫眞が撮る

先づ作用の緩和なミツワ石鹼で肌膚を整へ、それから、チタニウムを主剤に特殊の成分を配合したサーワ白粉を塗ると、白粉は特に良く附着伸びして綺麗に冴々したお化粧が出來て、驚く程永持ちします。寫眞を撮つて見ると、他の化粧の場合とは全く見違へる程、目鼻立ち鮮然と實に鮮やかな美しさに寫ります。サーワ白粉には、煉、固煉、固形、水、粉の各種があります。

不斷の品質向上の爲ミツワ化學研究所にて、日夜化學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏

理學博士　小平勳氏
藥學士　河村正義氏
工學博士　三雲次郎氏
工學士　野中正夫氏

本舗東京　丸見屋商店

國難日本刀 (161)

高桑義生 作
京極佳夕 畫

風雲けはし(八)

窓には、豪華なカーテンがひかれてあつた。外は、雨脚みだれるうるしの闇である。

その窓下に、うごめく者があつた。人間だ。怪しい人影である。恐らく室内の話をぬすみ聞かうとする者であらう。が、ぴつしり閉ぢた洋室のうちの、しめやかな話聲は、殆ど聞きとれないに違ひない。それで、聞かうとする努力と、カーテンのはしから中の二人の様子を、覗はうとするために、雨の闇にうごめくものだつた。

人影は覆面をしてゐた。足もとに何か積んで、その上に乘つて、それから、手に器具を持つて、何事かはじめた。

カリカリ……異様な音がきこえた、きはめてかすかではあるが——多分窓をこぢ開けようとするものに違ひない。大膽である。

室内では——淡路守が。

ホールも眼を上げた。二人が聲もなく、しいんとした沈黙裡に、依然として、怪しい物音は、聞える。

「何であらう?」

と淡路守はつぶやいた。

「鼠……」

とホールは答へた。さういへば鼠のやうである——と思ふと、淡路守はほツと安心した。

「しからば、その節、お伺ひいたさう。時に、貴下は小松について何かお心あたりはござらぬか?」

といふと、ホールは即座に首を振つて、

「ありません。わたしは何も知りません」

「貴下は、御自分では、全然捜索なさらぬ……」

「さうです。捜したところで何になりませう。むだなことです」

きつぱり答へた。

「フウム」

それほど小松に愛着をもつてゐながら、如何に他人の責任であるとはいへ、人情として、自分としても、多少は小松の行方を捜索しなくてはならないものだ。が、それについてホールは無關心である。まつたく放任してゐる。なるほど土地風俗になれない、むだな努力であるかも知れぬが——。

淡路守は少からぬ疑問を感じた。小松に對するホールの心理がわからなかつた。日本人の感情から、ホールの冷淡さを解釋することが出來なかつた。

「や!」

と淡路守はさけんだ。

「おゝ?」

とホールも振返つた。

「承知いたした。が、如何でござらう、その御希望は、大體さういふ筋のものか、なるべくならば、人交ぜせず、貴下と拙者と、二人だけで解決したい。只今お洩らし願へないものでござるか?」

「それは、まだ考へてゐないのです。あの人——サンダースンは御承知の人格者、どんな秘密も守る御安心なさい」

「それはさうだが……」

「わたしには、まだ決心がつかない。だから何ともいはれません。わたしは、わからぬ事が出來るとあの人に相談する、あの人の智恵を借り、教へを受ける」

「しかし、御心持の一端なりとも……」

淡路守はホールの野心をはかりかねた。小松にかはるべき條件は何か? 相當の事であらう。彼の希望が何であるか、彼一個人として言ふことが出來ない——淡路守は少からぬ不安を感じた。しかし、さういひ切るものを、どうする事が出來よう。淡路守は眼するほかはないのだつた。

カリカリカリ……

淡路守はその物音を聞きつけた彼はぎよつとして、おびえた眼を上げた。音は高い天井のあたりに聞えた……

異彩を放つ可愛い少女舞踊
大劇の大檢秋の踊り
本紙讀者は優待割引

大檢女紅場並に本社主催の「大檢秋の踊り」大連シャンソン發表はいよいよ廿二、三日兩夜六時から大連劇場にて開催、今シーズン最後の華やかな催しとして果然人氣沸騰してゐるが、既報のプログラムのうち可愛い演しものとして期待されてゐるものに新舞踊「花まつり」童謠舞踊「證城寺の狸囃子」小唄舞踊劇「貫夫次第で笑つて泣いて」がある「花まつり」は今までも藤間勘奏津師匠の會心の新舞踊として定評のある作品であり、出演者の顏觸れが興味を呼んでゐる「證城寺の狸囃子」も亦、童謠舞踊として既に好評の作品を更に出演者を増加して面白く振舞したもので、北村席高子吉田席花子八千久席幸子井藤雪子秋山常子の踊りはいよいよ圓熟して充實した舞臺を見せてゐる、また「貫夫次第で笑つて泣いて」は流行小唄「貫夫次第で……」を小唄舞踊劇化したもので少女舞踊家としてその天分を認められてゐる吉田席花子と北村席高子のコムビによるもので、その表情の巧なこと觀衆を魅了すべく可愛い呼び物として開演の曉は大喝采を博するであらうなほ入場料は一般一圓五十錢、本紙刷込優待券を持參すれば一圓である【寫眞は證城寺の狸囃子】

噂話

全滿日本人時局大會で開放した日曜日書間の各映畫館は果然物凄い入りで只ほど恐ろしいものはないと各館ともダアとなる常盤座に出演するマネキン女優はいよいよ本日からモギに立つて有難う御座いますとプロを渡し▲舞臺に立つて來連の挨拶をするが、興行價値百パーセントのビラを撒いて宣傳▲中央映畫館の「不如歸」に對抗して映樂館が「浪子」で再映大衆興行▲あちらの武男さんは北海へ、臺灣へ行く武男さんは居ないやら▲ミルトンの「靴屋の大將」に次いで今度はシュバリエの「君と×き」▲「陽氣な巴里ツ子」で人氣を呼んだミルトンと「陽氣な中尉さん」で騒がれたシュバリエの主演もの▲大檢秋の踊りの呼び物の一つ、高チヤンと花チヤンの名コムビで「貫夫次第で……」が上演されるので花チヤンのオトウサン吉田映樂館主、嬉しいやら忙しいやら愛娘のために小唄舞踊劇の解説を印刷して兩夜大劇で配る

ひろじ會納會

ひろじ會では二十一日午後六時から連鎖街事務所内ホールにて納會を開くが番組左の如し

▲御祝儀入登▲先代綱玉▲太十柳風▲酒屋圓菊▲合邦長門▲沼津國路▲先代仙龍▲忠四喜龜▲帝阪勇▲岸姫園子▲紙治松若▲布四五月▲布四松花三味線竹本廣治

本社特選 新棋戰(其一)

先 四段△塚田正夫
四段▲市川一郎

手 【圖は五四歩迄の局面】塚田氏 持駒ナシ

△七六歩 ▲三四歩
△二六歩 ▲四四歩
△二五歩 ▲三三角
△四八銀 ▲四二銀
△五六歩 ▲五四歩
△五八金右 ▲四三銀
△三六歩 ▲二二飛
△三七桂 ▲六二玉

【土居八段講評】兩君は現在棋界に於ける青年選手中での花形なれば定めし活氣ある局面を現出させるであらう、さて市川君の四三銀以下の手段は古風の向ふ飛車の戰法であるが、此の型は變化に乏しいから現在は餘り用ひられてゐない……

【荻原六段解説】市川氏の四四歩は變化激しき急戰の相懸り戰を避け兼力防戰して十分に力戰せんとする趣向である、次に四二銀は三二銀とより次に四二飛又は五二金右、四三金と機關ひにする趣向もあるので四二銀よりも三二銀の方が作戰が廣いのである、塚田氏の五六歩は敵の模樣により五筋の位を取る意味と次に七八銀七九角と引角模樣にする意味で五六歩と突いたのである、市川氏の四三銀は初め四二銀と上つたから四三金の構へにする方が古來より……には五三銀とより次に二二飛以下ろ方が種々の變化が多い。